

XLシリーズ

ソフトウェアガイド

ページプリンタ XL-4405

目次

このマニュアルの表記について	5
第 1 章 お使いになる前に	
1 添付 CD-ROM のご紹介	10
2 ソフトウェアの機能概要	12
XL-4405 プリンタドライバ	12
ネットワーク関連のソフトウェア	13
第 2 章 ネットワークを利用したプリンタの接続	
1 印刷方法と作業の流れについて	16
印刷方法	16
作業の流れ	17
2 IP アドレスを設定する	18
3 「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする	20
インストール	21
4 OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)	28
5 OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)	36
ドライバのインストールとポートを設定する	36
IPP 印刷を行うユーザーを制限する	42
第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続	
1 接続インターフェースについて	46
2 USB インターフェースで接続する	47
第 4 章 プリンタ共有の設定	
1 設定の概要	52
2 サーバ側を設定する	53
3 クライアント側を設定する	55
ネットワークインストール	55
CD-ROM からのインストール	56
第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法	
1 印刷するには	62
2 印刷を中止するには	64

3	プリンタドライバで設定できる内容	66
	プリンタの「印刷設定」または「プロパティ」を表示するには	66
	設定内容の概要	68
	「基本設定」タブの設定項目	69
	プリンタドライバの設定を保存する	73
	プリンタドライバの設定を管理する	74
	任意の用紙サイズを設定する	78
	複数ページを1枚にまとめて印刷する (N-up 印刷)	81
	「印刷オプション」タブの設定項目	83
	スタンプを印刷する	86
	「デバイスオプション」タブの設定項目	90
4	プリンタドライバを更新／削除するには	91
	更新する場合	91
	削除する場合	91
5	プリンタドライバのバージョンを確認するには	99

第6章 ネットワーク関連ソフトウェアの機能と利用方法

1	LPR 印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ)	102
	「FUJITSU LPR ユーティリティ」をインストールする	102
	「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能	107
	「FUJITSU LPR ユーティリティ」を削除する	117
2	プリンタ情報の管理 (Network Extension)	118
	「Network Extension」をインストールする	118
	「Network Extension」の機能	119
	「Network Extension」を削除する	120

第7章 Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)

1	Web サーバ機能の概要	122
	「FUJITSU Printer Internet Service」とは	122
	動作環境	122
2	Web サーバ機能の操作方法	123
	使用前の準備	123
	「FUJITSU Printer Internet Service」画面を起動する	123
	管理者モードとユーザーモードの切り替え	126
	情報の参照や設定の変更	129
	「FUJITSU Printer Internet Service」で設定できる項目と初期値	130
3	「FUJITSU Printer Internet Service」のカテゴリ選択画面	136

4 「装置情報」カテゴリの詳細	137
ステータス	138
給紙回数	141
消耗品情報	141
印刷集計（管理者モードのみ）	141
ネットワーク（ユーザーモード）	142
ネットワーク（管理者モード）	143
システム情報	146
5 「プリンタメニュー」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細	147
一般プリンタ設定	147
用紙メニュー	148
システム構成メニュー	149
6 「管理者設定」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細	151
ユーザー設定 / 編集	152
ネットワークメニュー	154
印刷メニュー	181
機器管理	182
7 「ジョブリスト」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細	185
ジョブリスト	185
8 「リンク」カテゴリの詳細	187
リンク	187
リンク編集メニュー（管理者モードのみ）	188

第8章 こんなときには

1 ソフトウェアに関するトラブルシューティング	190
セットアップ時のトラブルシューティング	190
運用時のトラブルシューティング	206
「FUJITSU LPR ユーティリティ」使用時のトラブルシューティング	210
「FUJITSU Printer Internet Service」使用時のトラブルシューティング	212
2 ソフトウェアに関する留意事項	217
Windows をアップグレードする場合	217
その他の留意事項	217
3 Citrix 製品および Windows ターミナルサービス環境での利用について	218
プリンタ接続形態	218
その他の留意事項	218

第9章 用語解説

1 用語解説	220
--------	-----

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

記号	内容
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号	内容
	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて

- ・このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- ・機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- ・このマニュアルに掲載されているイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

「サインイン」、「サインアウト」について

Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の場合、Windows やソフトウェアに「ログオン」することを「サインイン」、「ログオフ」することを「サインアウト」といいます。ただし、このマニュアルでは、Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の場合でも「ログオン」「ログオフ」と表記しています。

「スタート」メニューの「すべてのアプリ」について (Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合)

 をクリックしてアプリの一覧が表示されていない場合は、「すべてのアプリ」をクリックし、アプリの一覧を表示させてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	内容
	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows 11 Home	Windows 11	Windows
Windows 11 Pro		
Windows 11 Pro for Workstations		
Windows 11 Enterprise		
Windows 11 Education		
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard	Windows Server 2022	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows 10 Home	Windows 10	Windows
Windows 10 Pro		
Windows 10 Pro for Workstations		
Windows 10 Enterprise		
Windows 10 Education		
Windows 10 Enterprise LTSC 2021		
Windows 10 Enterprise LTSC 2019		
Windows 10 Enterprise LTSC 2016		
Windows 10 Enterprise LTSC 2015		
Windows 8.1	Windows 8.1	
Windows 8.1 Pro		
Windows 8.1 Enterprise		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation	Windows Server 2012 (R2 以外)	
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation		

商標および著作権について

Citrix、MetaFrame、Citrix Presentation Server、Citrix XenDesktop、Citrix XenApp は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2019-2025

1

第 1 章

お使いになる前に

この章では、添付 CD-ROM に格納されているソフトウェアの概要について説明します。

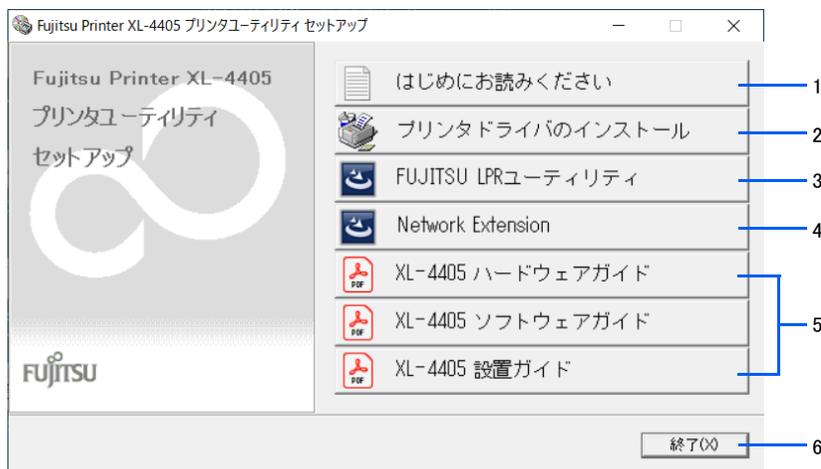
1 添付 CD-ROM のご紹介	10
2 ソフトウェアの機能概要	12

1 添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「FUJITSU Printerプリンタユーティリティ」CD-ROMが添付されています。このCD-ROMには、プリンタドライバ、ネットワークに接続して使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するためのソフトウェアが格納されています。

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」のメニュー

◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると、次の「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。ウィンドウのメニューから、ソフトウェアのインストールなどが行えます。



1 はじめにお読みください

CD-ROMに格納されているソフトウェアの留意事項が表示されます。

2 プリンタドライバのインストール

本製品を使い始めるための設定を、このメニューから行います（USB インターフェースでパソコンと直接接続し、プラグアンドプレイで設定を行う場合は除きます）。次の設定を行うことができます。

POINT

- ・本プリンタドライバはXL-4340と共通のため、すでにXL-4340のドライバがインストールされている場合は、そのドライバのバージョンも上がります。
- ・プリンタドライバのインストール
ネットワークプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用したプリンタの接続」（→P.15）をご覧ください。
ローカルプリンタとして使用する場合の設定やインストール方法については、「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（→P.45）をご覧ください。
更新方法については、「プリンタドライバを更新／削除するには」（→P.91）をご覧ください。
- ・共有プリンタの設定
設定方法やインストール方法については、「プリンタ共有の設定」（→P.51）をご覧ください。

3 FUJITSU LPR ユーティリティ

LPR印刷時に、プリンタの状態を確認したり、ジョブを管理したりするためのツールをインストールします。「FUJITSU LPR ユーティリティ」については、「LPR印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ)」(→P.102)をご覧ください。

4 Network Extension

本製品に取り付けられたオプションの情報やプリンタの情報を取得し、プリンタの「プロパティ」ウィンドウ内に反映するためのツールをインストールします。「Network Extension」については、「プリンタ情報の管理 (Network Extension)」(→P.118)をご覧ください。

5 XL-4405 ハードウェアガイド／XL-4405 ソフトウェアガイド／

XL-4405 設置ガイド

マニュアルを表示します。

ハードウェアガイド、設置ガイドは装置に添付の印刷マニュアル『ハードウェアガイド』『設置ガイド』と同じ内容です。

6 終了

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウを閉じます。

POINT

- ・「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用してCD-ROMを開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、次の「自動再生」ウィンドウが表示されません。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXEの実行」をクリックしてください。



2 ソフトウェアの機能概要

◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」には、XL-4405 プリンタドライバとネットワーク関連のソフトウェアが格納されています。

ここでは、XL-4405 プリンタドライバとネットワーク関連のソフトウェアの機能概要を説明します。

XL-4405 プリンタドライバ

動作環境

項目	内容
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/ Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
メモリ	OS が動作可能なメモリ
解像度	800×600 以上（1024×768 以上を推奨）
ハードディスク容量	空き容量 8MB (印刷時には、データ作成のため、さらに空き容量が必要です。)
サポートポート	・ USB ポート ・ FUJITSU LPR Port ・ Standard TCP/IP Port

機能

機能については、ヘルプまたは「プリンタドライバの機能と利用方法」(→ P.61) をご覧ください。

ネットワーク関連のソフトウェア

FUJITSU LPR ユーティリティ

プリントサーバを介さずに、直接ネットワーク上のプリンタに印刷できるユーティリティです。また、プリンタ検索、ジョブ転送、同報印刷も行えます。

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/ Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
パソコン	富士通製パソコンおよび PC/AT 互換機
メモリ	OS が動作可能なメモリ
解像度	800×600 以上
ハードディスク容量	5MB

■機能

機能	概要
LAN 直結印刷	プリントサーバを介さずに直接ネットワーク上のプリンタに印刷できます。 LAN (TCP/IP) 環境での印刷をサポートしています。
ポートの管理	プリンタ検索、ジョブ転送、同報印刷などが行えます。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」については、「LPR 印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ)」(→ P.102) をご覧ください。

■セットアップ

「プリンタドライバ」メニューでセットアップを行うと、同時にインストールされます(→ P.20)。

Network Extension

本製品に取り付けられたオプションの情報やプリンタの情報を取得し、プリンタの「プロパティ」ウィンドウ内に反映するためのツールをインストールします。

■動作環境

項目	内容
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/ Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
パソコン	富士通製パソコンおよびPC/AT 互換機
メモリ	OS が動作可能なメモリ
解像度	800×600 以上
ハードディスク容量	5MB

■機能

機能	概要
ステータス表示	本製品に取り付けたオプションなどの情報を取得し、プリンタの「プロパティ」ウィンドウ内に表示します。

「Network Extension」については、「プリンタ情報の管理 (Network Extension)」(→ P.118) をご覧ください。

■セットアップ

「プリンタドライバ」メニューでセットアップを行うと、同時にインストールされます(→ P.20)。

2

第 2 章

ネットワークを利用したプリンタの 接続

この章では、プリンタをネットワークに接続し、XL-4405 プリンタドライバをインストールする方法を説明します。

1 印刷方法と作業の流れについて	16
2 IP アドレスを設定する	18
3 「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする	20
4 OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)	28
5 OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)	36

1 印刷方法と作業の流れについて

プリンタを LAN ケーブルでネットワークに接続した場合、お使いの OS や印刷方法によりインストールや設定の方法などが異なります。
ここでは、印刷方法ごとの作業の流れを説明します。

印刷方法

プリンタに LAN ケーブルを直接接続して印刷する場合は、次の方法があります。

- RAW 印刷

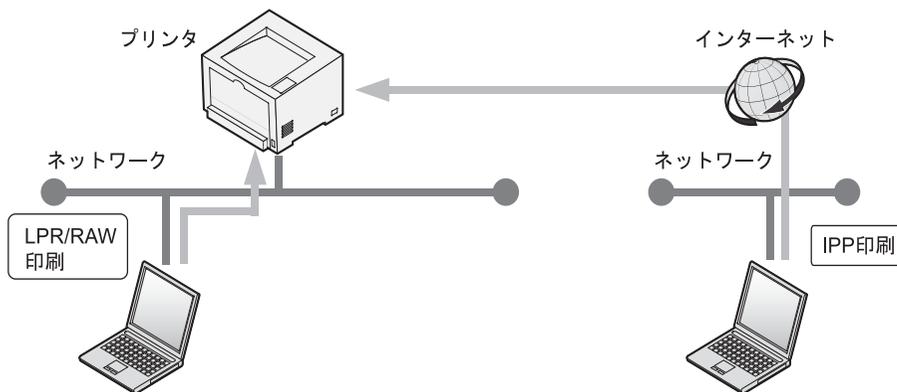
「RAW」と呼ばれるプロトコルを使用し、LAN (TCP/IP) に直接接続されたプリンタに印刷します。LPR 印刷と比較すると、一般的に RAW 印刷のほうが印刷速度は速くなります。「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」を使用してインストールする方法と、OS 標準のインストーラでインストールする方法があります。

- LPR 印刷

「LPR」と呼ばれるプロトコルを使用し、LAN (TCP/IP) に直接接続されたプリンタに印刷します。「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」を使用してインストールする方法と、OS 標準のインストーラでインストールする方法があります。

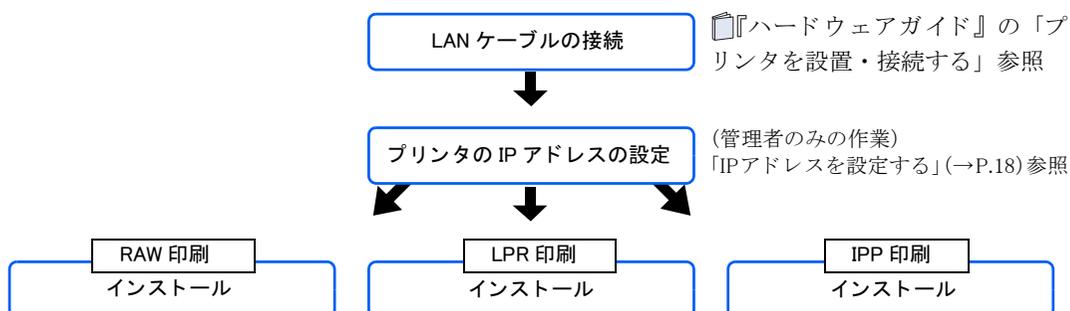
- IPP 印刷

インターネットを経由して、遠隔地のプリンタ（社外などプロキシサーバの先にあるプリンタ）に印刷することができます。
OS 標準のインストーラでインストールします。



作業の流れ

お使いの OS や印刷方法により、一部の作業が異なります。作業の流れをご確認のうえ、該当ページをご覧ください。



- ・プリンタドライバとネットワーク経由の印刷に必要なソフトウェアをインストールする場合: 「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする (→P.20) 参照
- ・プリンタドライバのみインストールする場合: 「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)」 (→P.28) 参照

「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)」 (→P.28) 参照

「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」 (→P.36) 参照

POINT

- ・ IPv6 アドレスで接続している場合、「FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ」を使用したインストールはできません。OS 標準のインストーラで、Standard TCP/IP ポートまたは IPP ポートでのインストールを行います。インストール方法については、それぞれ次をご覧ください。
 - ・ Standard TCP/IP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)」 (→P.28)
 - ・ IPP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」 (→P.36)

2 IP アドレスを設定する

プリンタに IP アドレスを設定する方法を説明します。設定方法は、IPv4 アドレス環境か、IPv6 アドレス環境かにより異なります。

なお、IP アドレスの設定はプリンタの管理者が 1 回行えば良く、一般ユーザーの作業は必要ありません。

IPv4 アドレスの設定方法

IPv4 アドレスを設定する方法には、次の 2 種類があります。

- ・ 手動設定

固定の IP アドレスをプリンタに直接設定します。

パソコン側が次の方法でプリンタドライバをインストールする場合は、手動設定で、固定の IP アドレスを設定してください。

- 「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)」 (→ P.28)
- 「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」 (→ P.36)

- ・ 自動取得設定

ネットワークが DHCP で運用されている場合は、プリンタの電源を入れたときに、DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得するように設定します。

ご使用の環境に合わせて、いずれかの方法を選択してください。

■ 設定手順

IPv4 アドレス環境の設定は、プリンタ本体のオペレータパネルから行います。

オペレータパネルを使った設定手順については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」→「IP アドレスの設定」をご覧ください。

IPv6 アドレスの設定方法

IPv6 アドレスには、次の2種類があります。IPv6 アドレスは、手動で設定できません。

- ・ グローバルアドレス

グローバルアドレスを利用する場合は、IPv6 アドレスをルーターから取得します（RA : Router Advertisement と呼ばれるパケットを送信できるルーターが必要です）。IPv6 アドレスの取得方法については、お使いのルーターのマニュアルをご覧ください。

- ・ リンクローカルアドレス

ルーターを経由しないネットワークでは、リンクローカルアドレス（IPv6 アドレス全 128 ビットのうち、前半 64 ビットが「fe80:0000:0000:0000」のアドレス）を使用できます。リンクローカルアドレスは、自動的に設定されます。

ご使用の環境に合わせて、いずれかの方法を選択してください。

■ 確認方法

自動設定された IPv6 アドレスの確認方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」→「IP アドレスの設定」をご覧ください。

重要

- ・ IPv6 アドレス使用時の留意事項

- ・ 本製品は IPv4 の DNS 情報で動作します（IPv6 の DNS 情報には未対応です）。
- ・ マルチプレフィックス環境（IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境）には未対応です。
- ・ 自動設定される IPv6 アドレスには、運用上使用できないアドレス（サイトローカルアドレス（fec0::...）や文書作成用アドレス空間（2001:db8::/32））が設定されることがあります。

3 「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ」を使用して、プリンタドライバとネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェアをインストールします。なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IP アドレスを設定する」(→P.18) をご覧になり、設定しておいてください。

■作業の概要

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」を使用して、プリンタドライバとソフトウェアをインストールします。

インストール手順の中で、印刷方法として「FUJITSU LPR ユーティリティ」または「Standard TCP/IP Port」を選択できます。選択した印刷方法によって、次のように設定されます。

- ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」を選択した場合
LPR 印刷の設定を行います。
プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「FUJITSU LPR ユーティリティ」と「Network Extension」がインストールされます。
- ・「Standard TCP/IP Port」を選択した場合
RAW 印刷の設定を行います。
プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「Network Extension」がインストールされます。

POINT

- ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」については、「LPR 印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ)」(→P.102) をご覧ください。
- ・「Network Extension」については、「プリンタ情報の管理 (Network Extension)」(→P.118) をご覧ください。
- ・IPv6 アドレスを利用できますが、「FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ」や「Network Extension」は、IPv6 アドレスに対応していません。
IPv6 アドレスでの接続は、OS 標準のインストーラで、Standard TCP/IP ポートまたは IPP ポートでのインストールを行ってください。インストール方法については、それぞれ次をご覧ください。
 - ・ Standard TCP/IP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)」(→P.28)
 - ・ IPP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」(→P.36)

インストール

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」を使用して、プリンタドライバをインストールします。ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェアも同時にインストールされます。

- 1 プリンタの電源を入れます。
- 2 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- 3 ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

- 4 メニューから「プリンタドライバのインストール」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

5 (1) 「ネットワークプリンタ」を選択して、(2) 「次へ」をクリックします。



6 (1) 「TCP/IP プロトコル」を選択して、(2) 「次へ」をクリックします。



7 次のように操作します。

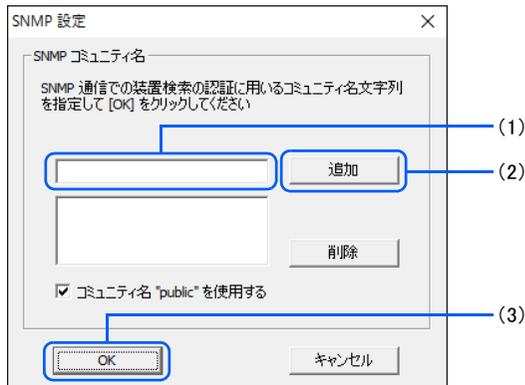
■ SNMP コミュニティ名の設定

検索に使用する SNMP コミュニティ名を設定します（プリンタ側の SNMP 設定を、ご購入時から変更していない場合は設定する必要はありません）。

1. 「SNMP 設定」をクリックします。



2. 「SNMP 設定」ウィンドウが表示されるので、(1) コミュニティ名を入力し、(2) 「追加」をクリックし、(3) 「OK」をクリックします。

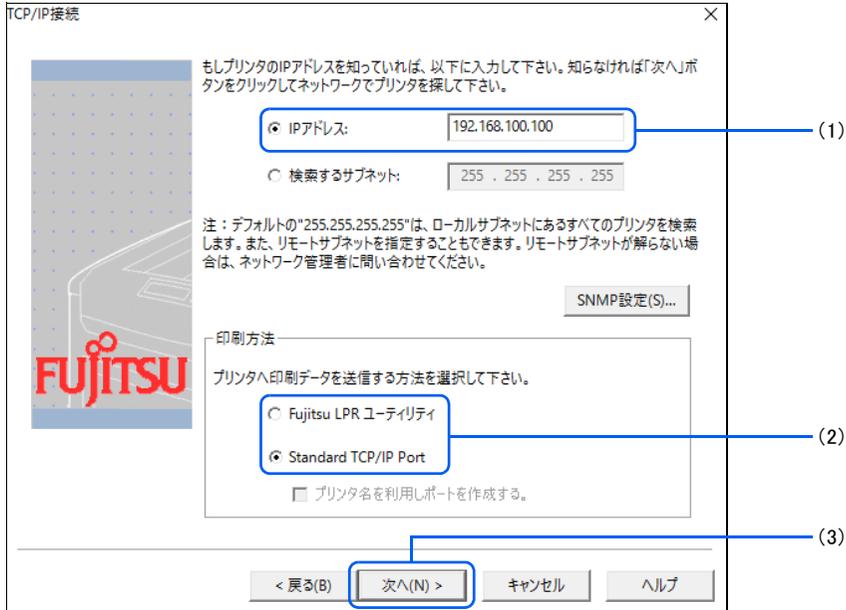


POINT

- ・「コミュニティ名 "public" を使用する」をチェックした場合、コミュニティ名の指定にかかわらず、検索条件で指定したネットワーク内のプリンタをすべて検索します。「コミュニティ名 "public" を使用する」をチェックしていない場合、検索条件で指定されたネットワーク内のプリンタおよび SNMP コミュニティ名が一致しているプリンタのみ検索します。

(1) 「IP アドレス」に、プリンタの IP アドレスを入力し、(2) FUJITSU LPR で印刷する場合は「Fujitsu LPR ユーティリティ」、RAW で印刷する場合は「Standard TCP/IP Port」を選択して、(3) 「次へ」をクリックします。

プリンタドライバと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「FUJITSU LPR ユーティリティ」、「Network Extension」がインストールされます。また、LPR または RAW ポートの設定が自動的に行われます。



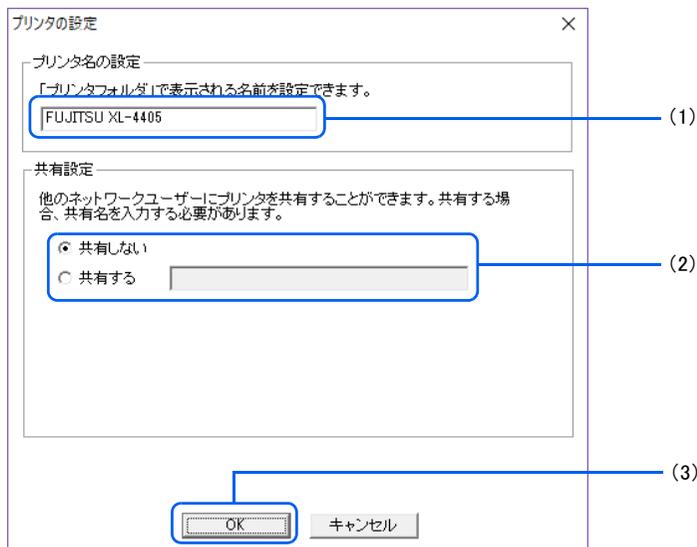
8 (1) 通常使うプリンタにするかどうかを選択し、(2) 「プリンタ名の変更 / 共有設定」をクリックします。



POINT

- ・プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」になります。

9 (1) プリンタ名を入力し、(2) プリンタを共有するかどうかを選択してから、(3) 「OK」をクリックします。



POINT

- ・プリンタ名に、次の文字は使用できません。
!、,、¥、:、/、*、?、"、>、<、|、@

「プリンタ名の入力」ウィンドウが表示されます。

10 設定内容を確認し、「次へ」をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

11 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認して、「完了」をクリックします。

Standard TCP/IP Port の LPR 印刷の場合は、引き続き「Standard TCP/IP Port の LPR 印刷のみの設定」(→ P.26)に進んでください。

FUJITSU LPR 印刷および RAW 印刷の場合は、以上で設定は終了です。

POINT

- ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」について、詳しくは「LPR 印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ)」(→ P.102)をご覧ください。
プリンタポートの設定について、詳しくは「プリンタの登録」(→ P.105)をご覧ください。

Standard TCP/IP Port の LPR 印刷のみの設定

1 Windows を再起動した場合は、管理者権限をもったユーザーでログオンします。

2 印刷を行うプリンタを選択します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. RAW 印刷を行うプリンタを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. RAW 印刷を行うプリンタを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. RAW 印刷を行うプリンタを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

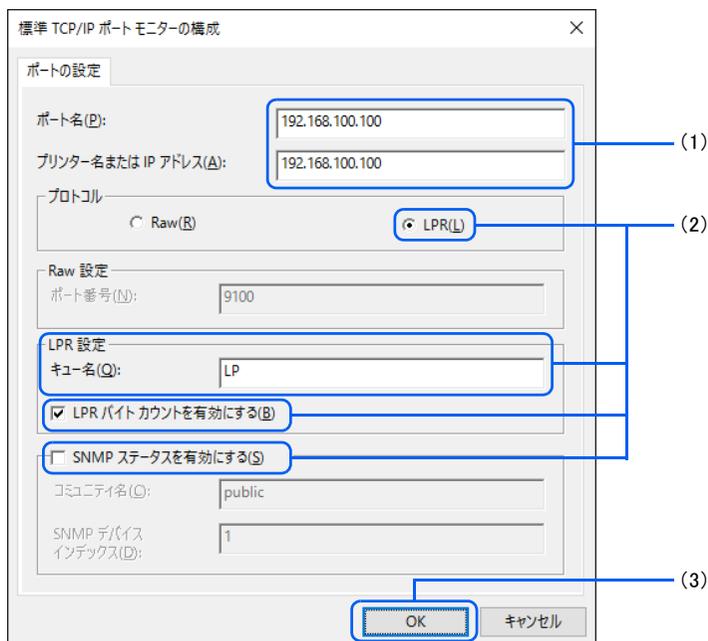
■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
4. RAW 印刷を行うプリンタを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

3 「ポート」タブの「ポートの構成」をクリックします。

「標準 TCP/IP ポートモニターの構成」ウィンドウが表示されます。

- 4** (1) 「ポート名」「プリンター名または IP アドレス」を確認し、(2) 「プロトコル」を「LPR」、「キュー名」を「LP」、「LPR バイトカウントを有効にする」を 、「SNMP ステータスを有効にする」を にし、(3) 「OK」をクリックします。



4 OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)

OS 標準のインストーラを使用して、プリンタドライバをインストールし、RAW 印刷または LPR 印刷の設定を行います。

なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IP アドレスを設定する」(→ P.18) をご覧になり、設定しておいてください。

- 1 プリンタの電源を入れます。
- 2 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- 3 次の手順で「プリンターの追加」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

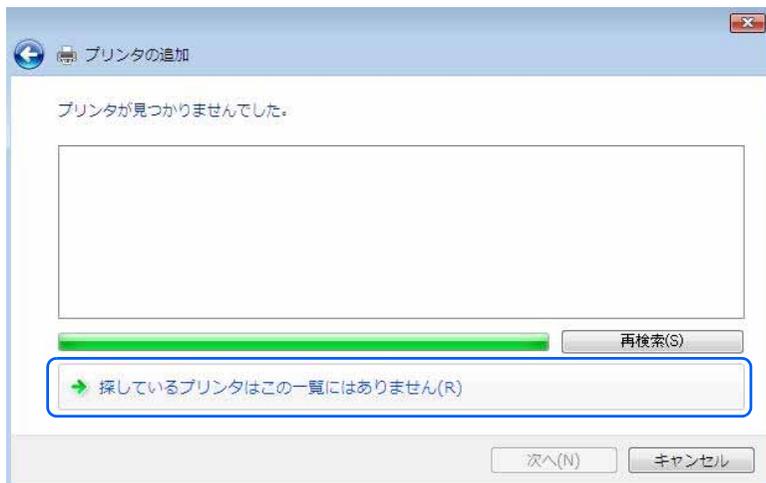
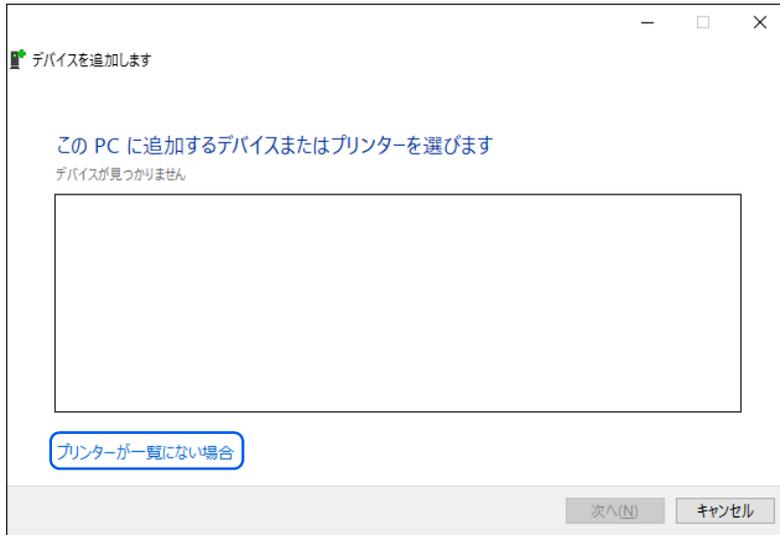
■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

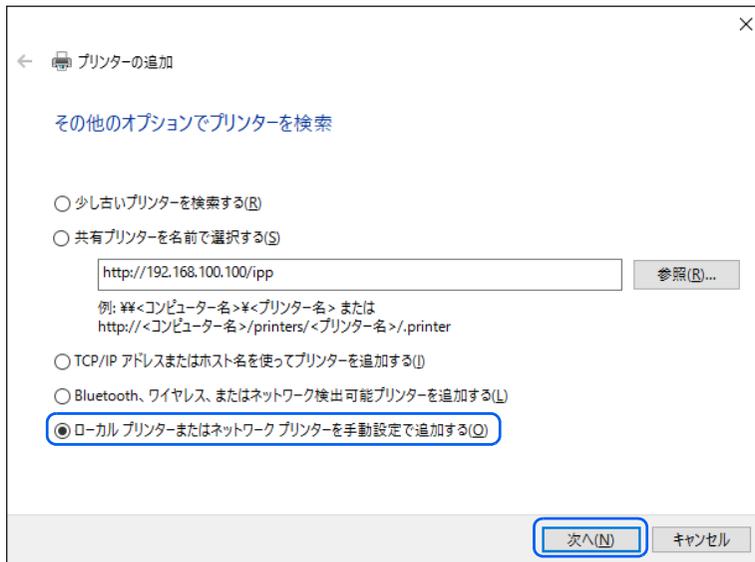
■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
4. 「プリンターの追加」をクリックします。

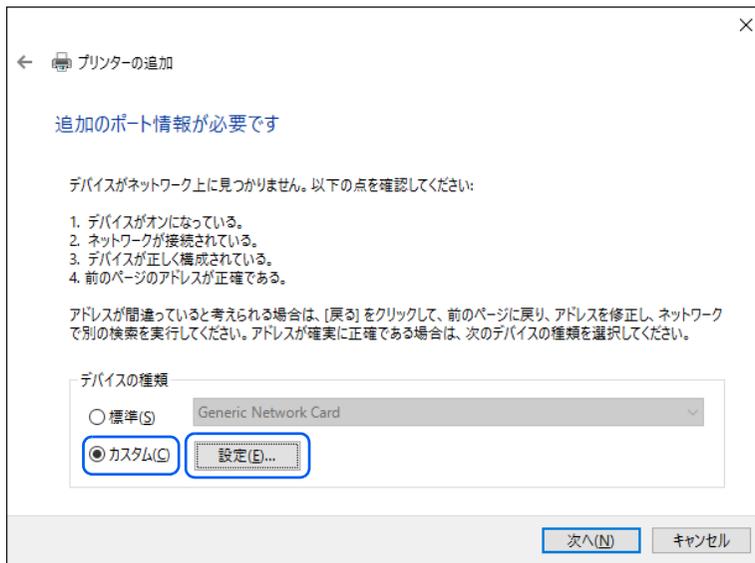
4 「プリンターが一覧にない場合」または「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。



5 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択し、「次へ」をクリックします。



6 「カスタム」を選択し、「設定」をクリックします。



7 印刷プロトコルによって、次のように設定します。

■ RAW 印刷の場合

(1) 「ポート名」「プリンター名または IP アドレス」を確認し、(2) 「プロトコル」を「Raw」、
「ポート番号」を「9100」、「SNMP ステータスを有効にする」を にし、(3) 「OK」をク
リックします。

The screenshot shows the '標準 TCP/IP ポートモニターの構成' dialog box. The 'ポートの設定' tab is active. The 'ポート名(P):' and 'プリンター名または IP アドレス(A):' fields both contain '192.168.100.100'. Under the 'プロトコル' section, the 'Raw(R)' radio button is selected. The 'Raw 設定' section has 'ポート番号(N):' set to '9100'. The 'SNMP ステータスを有効にする(S)' checkbox is unchecked. The 'OK' button is highlighted with a blue box. Blue lines with numbers 1, 2, and 3 point to the IP address fields, the 'Raw(R)' radio button, and the 'OK' button respectively.

■ LPR 印刷の場合

(1) 「ポート名」「プリンター名または IP アドレス」を確認し、(2) 「プロトコル」を「LPR」、
「キュー名」を「LP」、「LPR バイトアカウントを有効にする」を 、「SNMP ステータスを
有効にする」を にし、(3) 「OK」をクリックします。

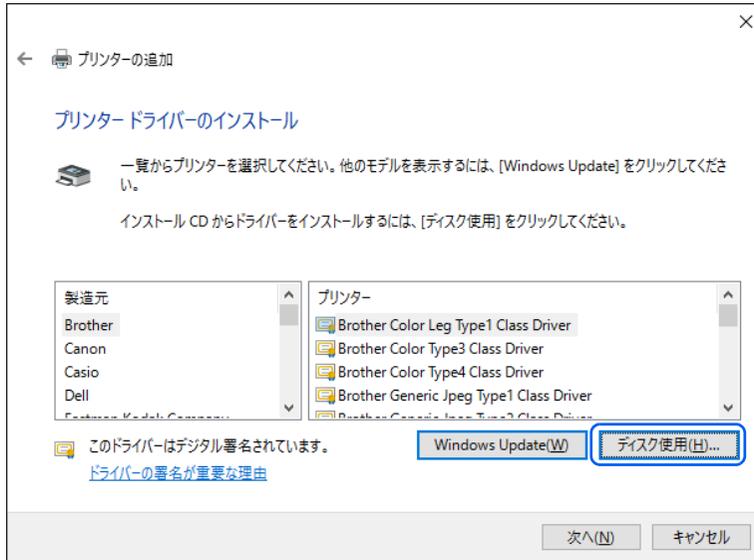
The screenshot shows the '標準 TCP/IP ポートモニターの構成' dialog box. The 'ポートの設定' tab is active. The 'ポート名(P):' and 'プリンター名または IP アドレス(A):' fields both contain '192.168.100.100'. Under the 'プロトコル' section, the 'LPR(L)' radio button is selected. The 'Raw 設定' section has 'ポート番号(N):' set to '9100'. The 'LPR 設定' section has 'キュー名(Q):' set to 'LP'. The 'LPR バイトアカウントを有効にする(B)' checkbox is checked. The 'SNMP ステータスを有効にする(S)' checkbox is unchecked. The 'OK' button is highlighted with a blue box. Blue lines with numbers 1, 2, and 3 point to the IP address fields, the 'LPR(L)' radio button, and the 'OK' button respectively.

手順 6 の画面に戻ります。

8 「次へ」をクリックします。

「プリンタドライバのインストール」ウィンドウが表示されます。

9 「ディスク使用」をクリックします。

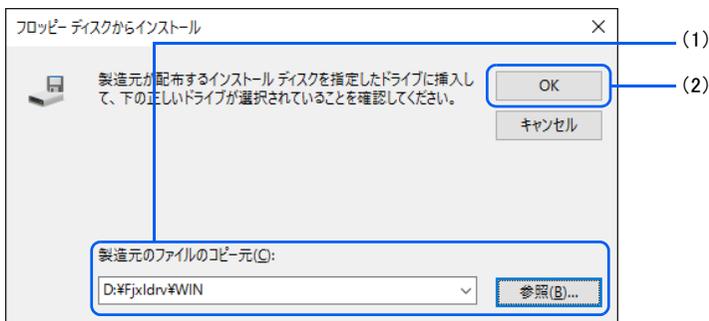


10 ◎「FUJITSU Printer プリンタ ユーティリティ」をパソコンにセットします。

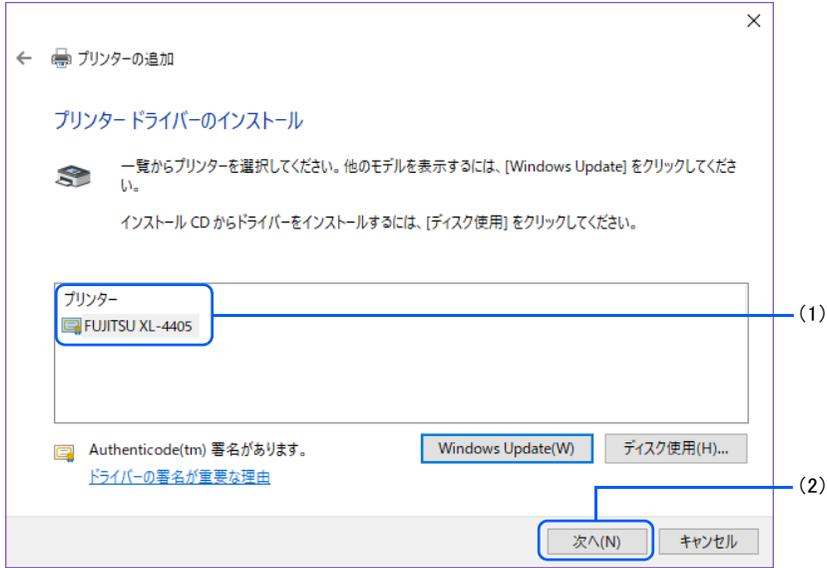
「FUJITSU Printer プリンタ ユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

11 メニューから「終了」をクリックします。

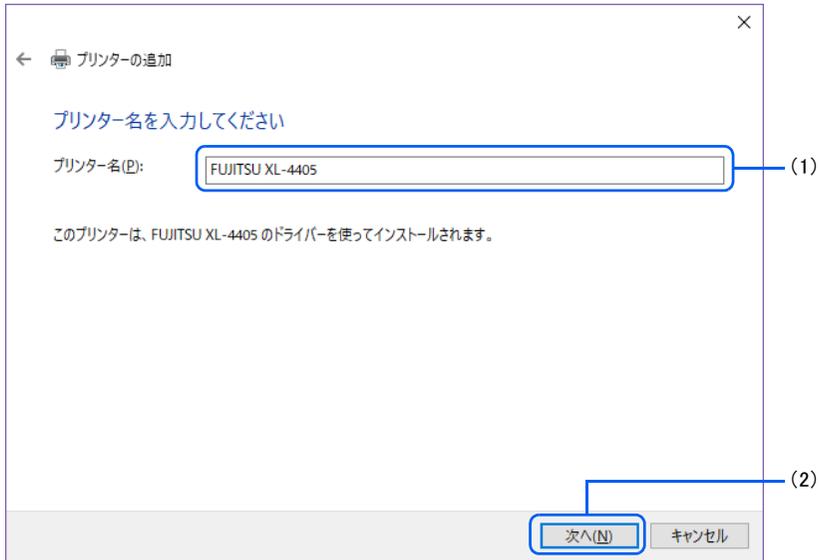
12 (1) 「製造元のファイルのコピー元」に、プリンタドライバが格納されている「D:¥Fjxldr¥WIN」(CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、(2) 「OK」をクリックします。



13 (1) プリンターを選択し、(2) 「次へ」 をクリックします。



14 (1) 「プリンター名」を入力し、(2) 「次へ」 をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

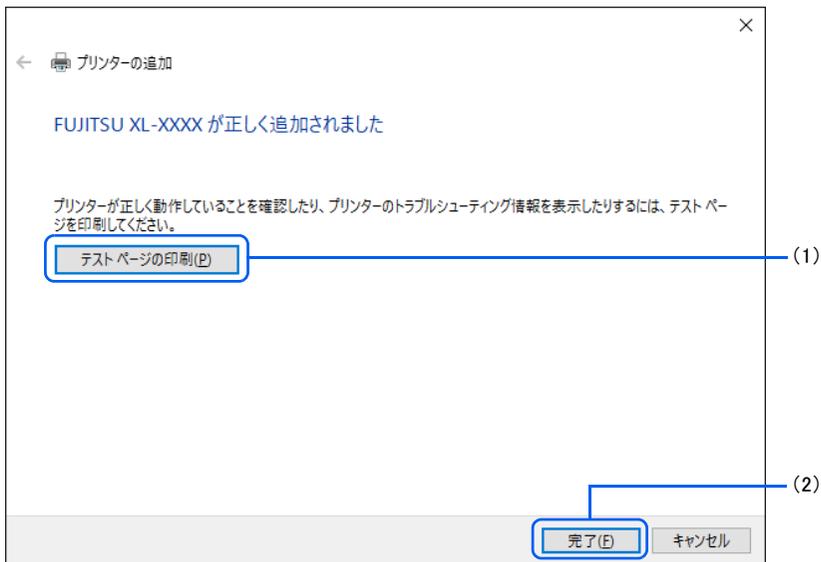
15 「インストール」をクリックします。



16 Windows 10/Windows Server 2012 の場合は、(1) プリンターを共有にするかどうか設定し、(2) 「次へ」をクリックします。



- 17** (1) テストページを印刷する場合は、「テストページの印刷」をクリックし、
(2) 「完了」をクリックします。



以上で設定は完了です。

IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。インストール方法については、「「Network Extension」をインストールする」(→ P.118)をご覧ください。

5 OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)

OS 標準のインストーラを使用して、プリンタドライバをインストールし、IPP 印刷の設定を行います。

なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IP アドレスを設定する」(→ P.18) をご覧になり、設定しておいてください。

- ・「ドライバのインストールとポートを設定する」(→ P.36)
- ・「IPP 印刷を行うユーザーを制限する」(→ P.42)

ドライバのインストールとポートを設定する

- 1 プリンタの電源を入れます。
- 2 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- 3 次の手順で、「プリンターの追加」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

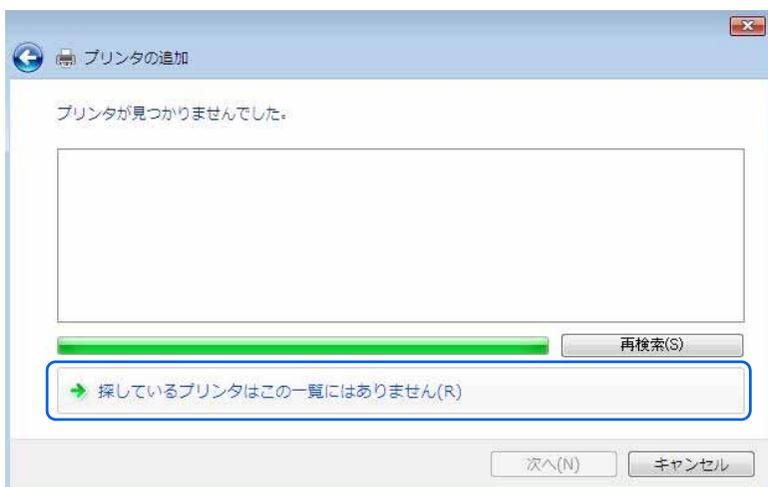
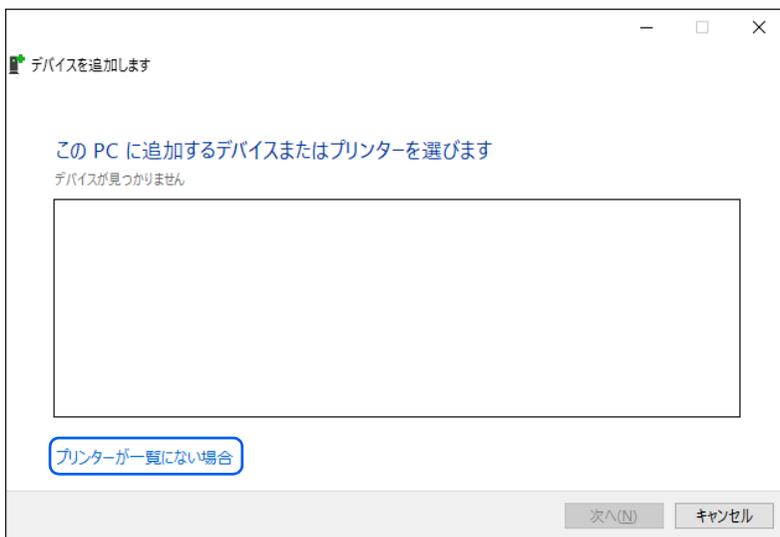
■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

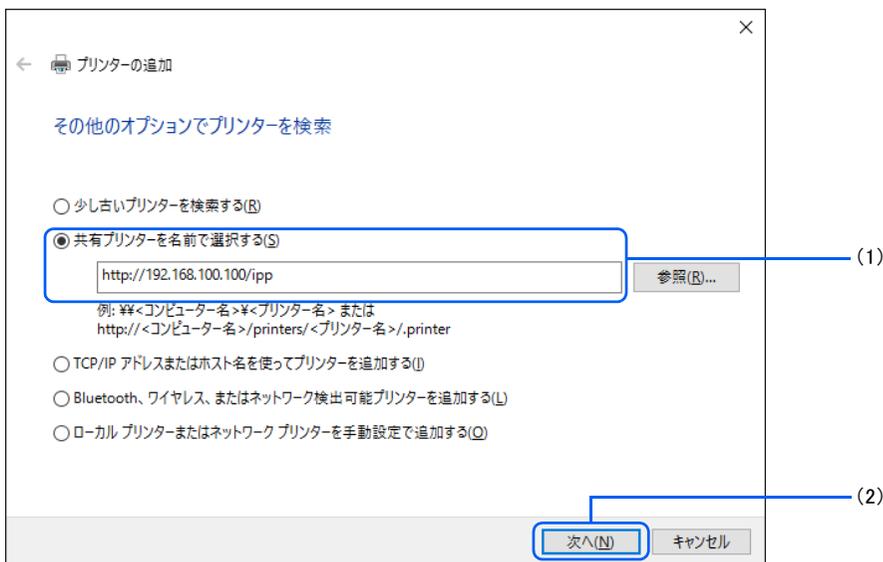
1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
4. 「プリンターの追加」をクリックします。

4 「プリンターが一覧にない場合」または「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。



5 (1) 「共有プリンターを名前で選択する」を選択して「URL」に次のように URL を入力して、(2) 「次へ」をクリックします。

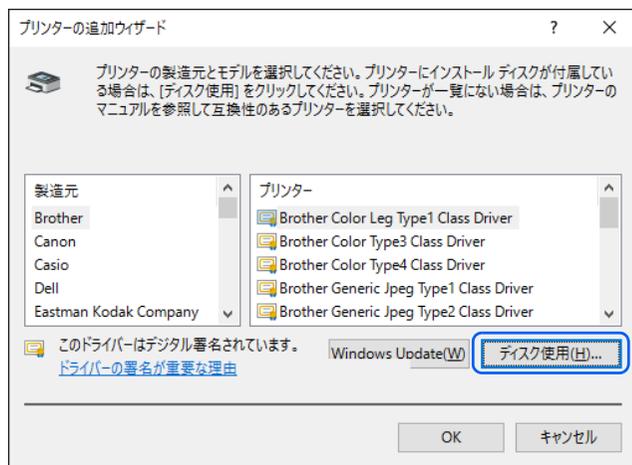
- ・ IPv4 の場合
http:// [プリンタの IP アドレス] /ipp (例 : http://192.168.100.100/ipp)
- ・ IPv6 の場合
http:// [[プリンタの IP アドレス]] /ipp (例 : http://[fe80::0280:87ff:fe9b:49d9]/ipp)



POINT

- ・ プリンタに DNS 設定がされていれば、IP アドレスの代わりにホスト名を入力することもできます。

6 「ディスク使用」をクリックします。

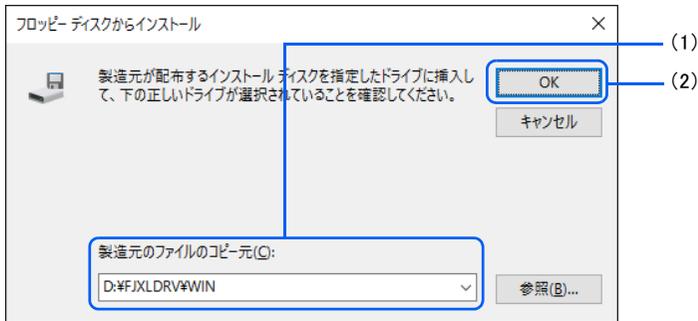


7 ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

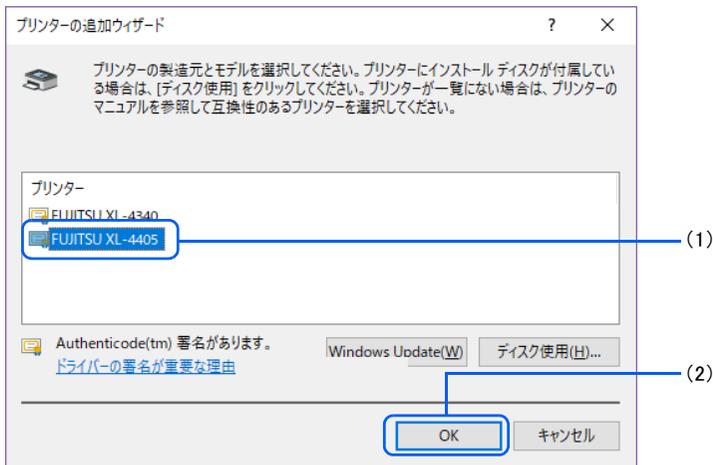
「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

8 メニューから「終了」をクリックします。

- 9 (1) 「製造元のファイルのコピー元」に、プリンタドライバが格納されている「D:¥FJXLDRV¥WIN」(CD-ROM ドライブが D: の場合)を入力し、
(2) 「OK」をクリックします。

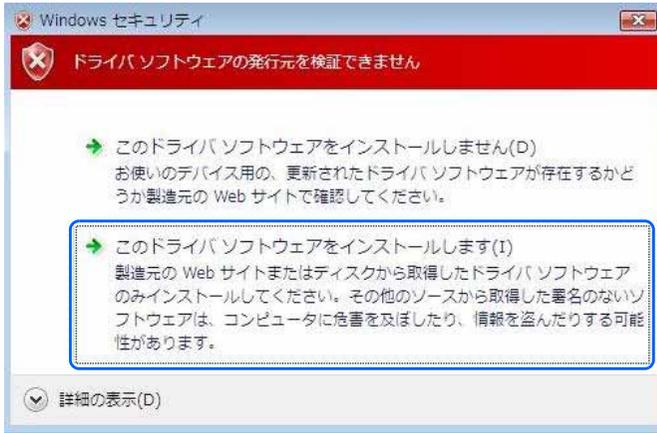


- 10 (1) プリンターを選択し、(2) 「OK」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

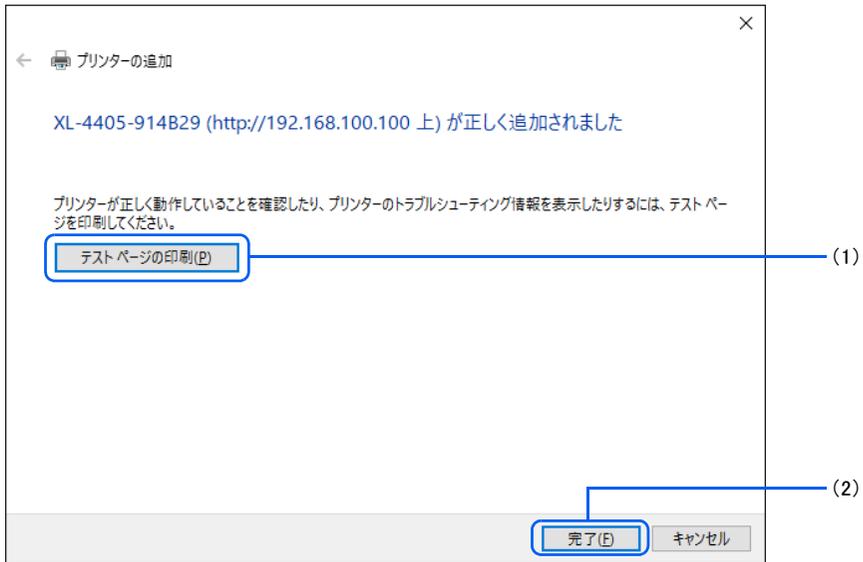
- 11** 次のような画面が表示された場合は、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。



- 12** 「次へ」をクリックします。



- 13** (1) テストページを印刷する場合は「テストページの印刷」をクリックし、
(2) 「完了」をクリックします。



以上で設定は完了です。

IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。
インストール方法については、「「Network Extension」をインストールする」(→ P.118) をご覧ください。

POINT

- IPP 印刷を行うユーザーを制限することができます。
設定方法については、「IPP 印刷を行うユーザーを制限する」(→ P.42) をご覧ください。

IPP 印刷を行うユーザーを制限する

「FUJITSU Printer Internet Service」の管理者モードを利用して、あらかじめプリンタにユーザー名とパスワードを登録しておくことで、IPP印刷を行うユーザーを制限することができます。

プリンタの設定（管理者のみ）

プリンタに、IPP印刷を許可するユーザーのユーザー名とパスワードを登録します。登録には、「FUJITSU Printer Internet Service」を利用します。

「FUJITSU Printer Internet Service」の使い方については、「Webブラウザによるプリンタの管理（FUJITSU Printer Internet Service）」（→P.121）をご覧ください。

ユーザー名とパスワードの登録については、「ユーザー設定 / 編集」（→P.152）および「認証」（→P.171）をご覧ください。

パソコンの設定

1 印刷を行うプリンタを選択します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. IPP印刷を行うプリンタを選択します。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. IPP印刷を行うプリンタを選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. IPP印刷を行うプリンタを選択します。

■ Windows Server 2012（R2 以外）の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
4. IPP印刷を行うプリンタを選択します。

2 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

3 「ポート」タブをクリックして、「印刷するポート」（<http://xxx.xxx.xxx.xxx/ipp>）を選択し、「ポートの構成」をクリックします。

4 (1) 「指定されたユーザーアカウントを使う」を選択して、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、(2) 「OK」をクリックします。

「FUJITSU Printer Internet Service」の「IPP」の「認証」(→ P.171)に登録してある「ユーザー名」と「パスワード」を入力してください。

POINT

- ・「匿名アカウントを使う」「Windows ログオン名とパスワード (必要であればドメイン名も) を自動的に使う」の設定は、本製品ではサポートしていません。

プリンタの「プロパティ」ウィンドウに戻ります。

5 「OK」をクリックします。

3

第3章

ネットワークを利用しないプリンタ の接続

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し（プリンタとパソコンを直接接続し）、プリンタドライバをインストールする方法を説明します。

1 接続インターフェースについて	46
2 USB インターフェースで接続する	47

1 接続インターフェースについて

パソコンとプリンタを直接接続する場合、USB インターフェースを利用します。

プリンタが備えるインターフェースおよび接続方法については、『ハードウェアガイド』の「プリンタを設置・接続する」をご覧ください。お使いのパソコンが備えるインターフェースについては、パソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

USB インターフェースによる接続

項目	内容
パソコン	USB インターフェースを搭載している PC/AT 互換機
OS	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/ Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012
インストール方法	プラグアンドプレイによって、インストールを行います。

2 USB インターフェースで接続する

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールします。

◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」から、プリンタドライバのインストーラを起動して、セットアッププログラムでインストールを行います。

重要

- ・プリンタとパソコンをプリンタ USB ケーブルで接続する前に、プリンタドライバをインストールする必要があります。
- ・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合は、「ケーブルを接続してもプリンタが作成されない」(→ P.195) をご覧ください。

1 管理者権限をもったユーザーでログオンします。

2 ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「プリンタドライバのインストール」をクリックします。

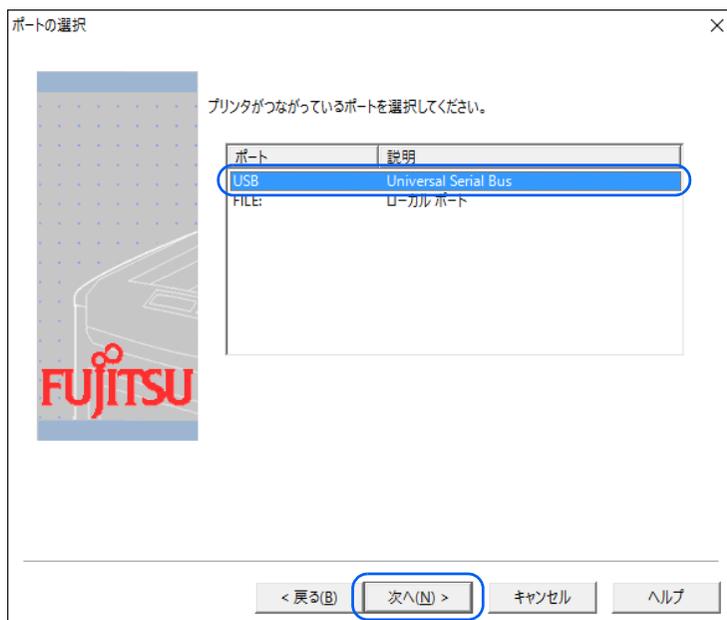


「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

4 「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。



5 「USB」を選択し、「次へ」をクリックします。



ファイルのコピーが行われます。

6 「ケーブルの接続」ウィンドウが表示されたら、画面の指示に従いプリンタドライバをインストールします。



7 プリンタとパソコンを、プリンタ USB ケーブルで接続してからプリンタの電源を入れます。

1. ケーブルを接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
「インストール完了」ウィンドウが表示されたら、「完了」をクリックし手順4に進みます。
3. 「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示されたら、「再起動する」にチェックを付け「完了」をクリックします。
Windows が再起動されます。Windows が完全に起動するまで待ちます。
4. 「プリンタ」を選択します。
「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

POINT

- ・ USB インターフェースで接続した場合に、「プリンタドライバのインストールに失敗しました」というメッセージが表示された場合は、「ケーブルを接続してもプリンタが作成されない場合」というメッセージが表示された場合は、「ケーブルを接続してもプリンタが作成されない」(→ P.195)をご覧ください。
- ・ プリンタドライバを削除する場合には、「削除する場合」(→ P.91)をご覧ください。

4

第 4 章

プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

1 設定の概要	52
2 サーバ側を設定する	53
3 クライアント側を設定する	55

1 設定の概要

サーバに接続したプリンタを共有プリンタとして設定し、ネットワーク上の他のパソコンから印刷できるようにします。

共有プリンタを利用するためには、サーバとクライアントのそれぞれで設定が必要です。また、クライアント側の設定方法には、「ネットワークインストール」と「CD-ROMからのインストール」の2種類があり、どちらの方法でも設定できます。

- ・ ネットワークインストール
プリンタドライバのインストールを◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」からではなく、サーバから行います。
- ・ CD-ROMからのインストール
プリンタドライバのインストールを◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」から行います。

2 サーバ側を設定する

ここでは、プリントサーバとして運用するパソコンで行う設定について説明します。

1 「ネットワークを利用しないプリンタの接続」(→ P.45)の手順で、プリンタドライバをインストールします。

2 管理者権限をもったユーザーでログオンします。

3 次の手順で、プリンタの「プロパティ」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンタの表示」をクリックします。
3. 共有するプリンタを右クリックし、「プリンタのプロパティ」を選択します。
4. 「共有」タブを選択します。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンタの表示」をクリックします。
3. 共有するプリンタを右クリックし、「プリンタのプロパティ」を選択します。
4. 「共有」タブを選択します。

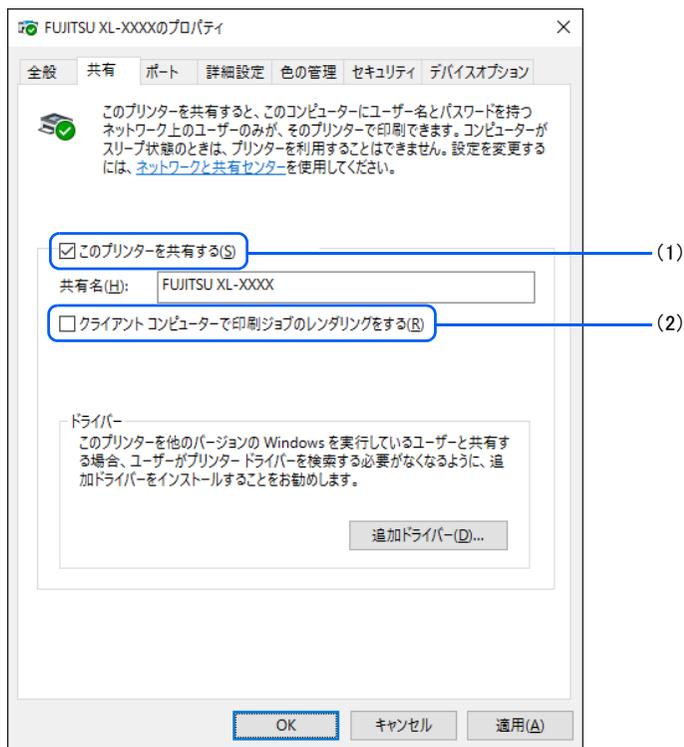
■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンタの表示」をクリックします。
3. 共有するプリンタを右クリックし、「プリンタのプロパティ」を選択します。
4. 「共有」タブを選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンタの表示」をクリックします。
4. 共有するプリンタを右クリックし、「プリンタのプロパティ」を選択します。
5. 「共有」タブを選択します。

- 4** (1) 「このプリンターを共有する」をクリックして☑にし、(2) 「クライアントコンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする」をクリックして☐にします。



- 5** 「OK」をクリックします。

以上で、サーバ側の設定は完了です。

3 クライアント側を設定する

ここでは、クライアントとして運用するパソコンで行う設定について説明します。クライアント側の設定方法には、「ネットワークインストール」と「CD-ROM からのインストール」の2種類があり、どちらの方法でも設定できます。

- ・「ネットワークインストール」(→ P.55)
- ・「CD-ROM からのインストール」(→ P.56)

POINT

- ・クライアント側の設定を行う前に、サーバ側で共有プリンタの設定を行っておいてください。

ネットワークインストール

1 共有プリンタのサーバを検索します。

1. 「エクスプローラー」を起動します。
2. 「ネットワーク」をクリックします。
3. ウィンドウ右上にある検索ボックスに共有プリンタのサーバ名を入力し、検索を行います。

2 検索結果から、共有プリンタのサーバをダブルクリックします。

利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 印刷を行いたい共有プリンタをダブルクリックし、ウィンドウの指示に従ってインストールを行います。

ファイルがコピーされ、「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダに新しくプリンタが追加されれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

以上で、ネットワークインストールによるクライアント側の設定は完了です。

CD-ROM からのインストール

- 1 ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

- 2 メニューから「プリンタドライバのインストール」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

3 (1) 「ネットワークプリンタ」を選択して、(2) 「次へ」をクリックします。



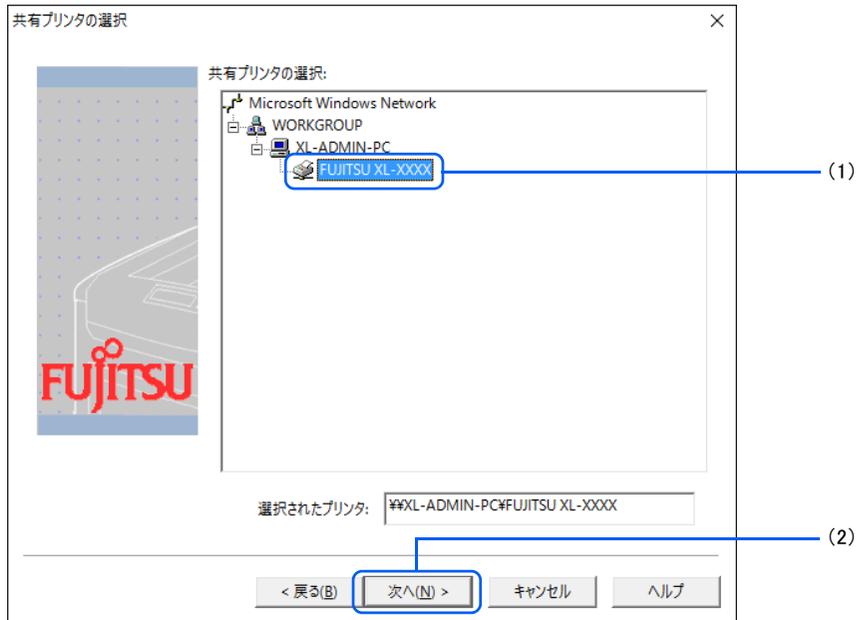
4 (1) 「共有プリンタ」を選択し、(2) 「共有名」を入力して、(3) 「次へ」をクリックします。

「共有名」がわからない場合は、何も入力しないで「次へ」をクリックしてください。



「共有プリンタの選択」ウィンドウが表示されます。

- 5** (1) ネットワーク上の共有プリンタを選択し、(2) 「次へ」 をクリックします。



- 6** (1) 必要に応じてプリンタ名を変更し、(2) 通常使うプリンターにするかどうか選択し、(3) 「次へ」 をクリックします。



7 「完了」をクリックします。

「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示された場合は、「再起動する」を選択し、「完了」をクリックします。



以上で、CD-ROM からのインストールによるクライアント側の設定は完了です。

5

第 5 章

プリンタドライバの機能と利用方法

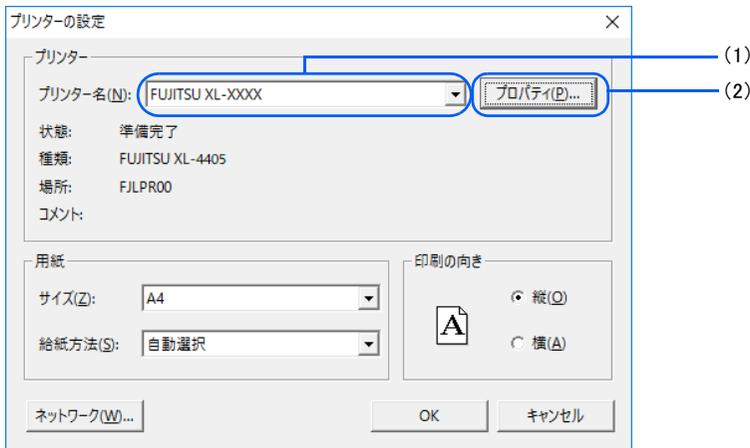
この章では、プリンタドライバがもつ機能と、その利用方法について説明します。

1 印刷するには	62
2 印刷を中止するには	64
3 プリンタドライバで設定できる内容	66
4 プリンタドライバを更新／削除するには	91
5 プリンタドライバのバージョンを確認するには	99

1 印刷するには

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

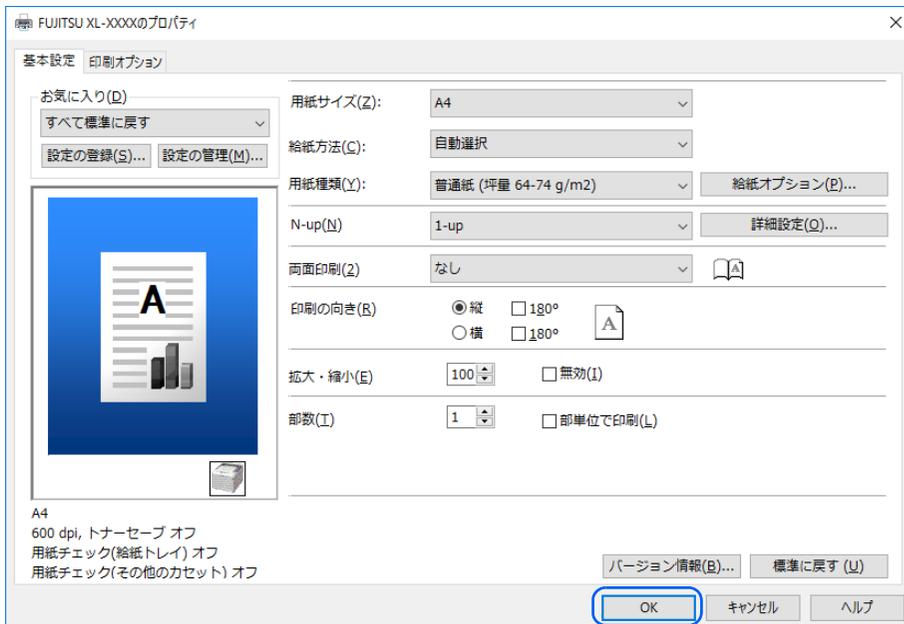
- 1 アプリケーションでデータを作成するか、表示します。
- 2 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。
「印刷」ウィンドウが表示されます。
- 3 (1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2) 「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティウィンドウのタブが「印刷」ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

4 各項目を設定し、「OK」をクリックします。



- 各設定項目についての詳しい説明は、プリンタドライバの「ヘルプ」または「プリンタドライバで設定できる内容」(→ P.66) をご覧ください。
- 用紙をセットする方法については、『ハードウェアガイド』の「日常の操作」をご覧ください。

5 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

印刷が開始されます。

2 印刷を中止するには

オンラインランプが点滅し、印刷が開始された後に印刷を中止する方法を説明します。

印刷を中止する方法には、次の4つがあります。

- 「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダのアイコンから中止する
「「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダのアイコンから中止する」(→ P.64) をご覧ください。
- 「FUJITSU Printer Internet Service」から中止する
「ジョブリスト」(→ P.185) をご覧ください。
- 「FUJITSU LPR ユーティリティ」から中止する
LPR印刷を行っている場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」で印刷を中止できます。「ジョブの表示、削除、転送」(→ P.109) をご覧ください。
- オペレータパネルのリセットスイッチを押して中止する
オペレータパネルのリセットスイッチの位置については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」をご覧ください。

「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダのアイコンから中止する

1 「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダを開きます。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

2 印刷を行ったプリンタのアイコンをダブルクリックします。

3 削除したい文書をクリックし、【Delete】キーを押します。



3 プリンタドライバで設定できる内容

プリンタの「印刷設定」ウィンドウまたは「プロパティ」ウィンドウでは、プリンタドライバの各種機能を設定できます。

ここでは、ウィンドウの表示方法と、各設定項目の詳細を説明します。

プリンタの「印刷設定」または「プロパティ」を表示するには

印刷に関する設定は、プリンタの「印刷設定」ウィンドウまたは「プロパティ」ウィンドウで変更します。

2つのウィンドウの役割は、次のとおりです。

- ・「印刷設定」ウィンドウ：本製品固有の機能を設定します。
 - 「基本設定」タブの設定項目（→P.69）
 - 「印刷オプション」タブの設定項目（→P.83）
- ・「プロパティ」ウィンドウ：オプションの拡張給紙ユニットを取り付けたときに、「プロパティ」ウィンドウ内の「デバイスオプション」タブを設定します。
 - 「デバイスオプション」タブの設定項目（→P.90）

ウィンドウは、アプリケーションから表示する方法と、「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダから表示する方法の2通りがあります。

アプリケーションから表示する場合

アプリケーションの「印刷」ウィンドウから「印刷設定」ウィンドウを表示します。操作方法はアプリケーションによって異なりますが、標準的な表示方法は、次のとおりです。

POINT

- ・オプションの拡張給紙ユニットを取り付けたときに設定する「デバイスオプション」タブは、アプリケーションの「印刷」ウィンドウからは表示できません。「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダのアイコンから中止する（→P.64）の手順で表示してください。

- 1 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。
「印刷」ウィンドウが表示されます。
- 2 「プロパティ」をクリックします。

「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダから表示する場合

「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダからウィンドウを表示して設定を行うと、その設定値は、アプリケーションからウィンドウを表示したときの初期設定となります。

1 「プロパティ」ウィンドウを表示する場合は、管理者権限をもったユーザーでログオンします。

2 「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダを開きます。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

3 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

設定内容の概要

プリンタの「印刷設定」ウィンドウまたは「プロパティ」ウィンドウで設定できる内容の概要と、詳しく説明している参照先を説明します。各機能についての注意事項、設定条件によって使用できない機能については、プリンタドライバの「ヘルプ」をご覧ください。

基本設定

設定内容を保存するための「お気に入り」の設定、用紙に関する設定、および N-up 印刷に関する設定を行います。

- ・「基本設定」タブの設定項目 (→ P.69)
- ・「プリンタドライバの設定を保存する」 (→ P.73)
- ・「任意の用紙サイズを設定する」 (→ P.78)
- ・「複数ページを 1 枚にまとめて印刷する (N-up 印刷)」 (→ P.81)

印刷オプション

解像度、スタンプの設定などの印刷仕様を設定します。

- ・「印刷オプション」タブの設定項目 (→ P.83)
- ・「スタンプを印刷する」 (→ P.86)

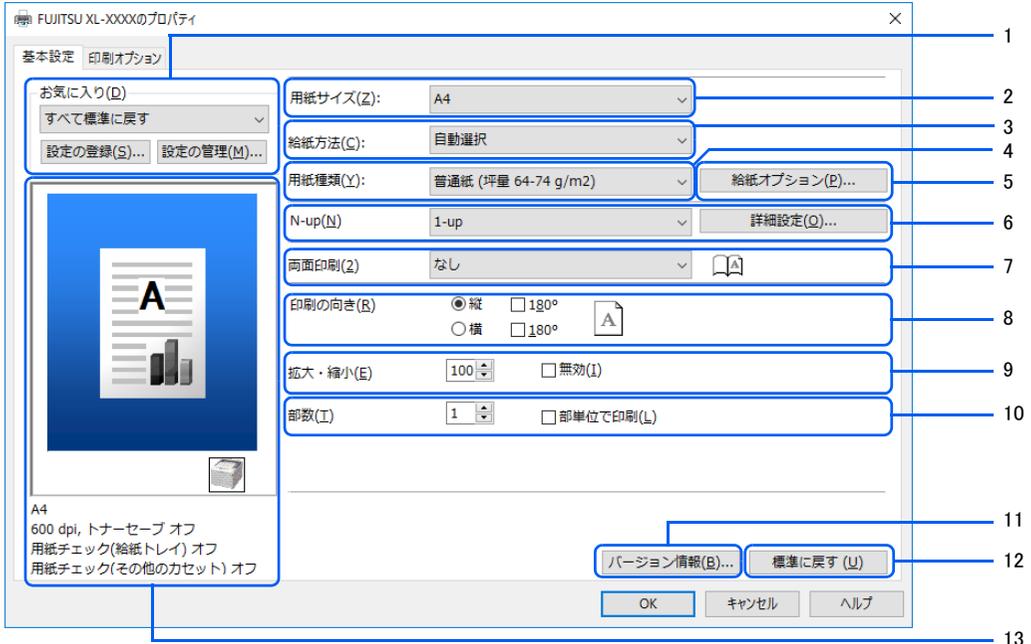
デバイスオプション

オプションの拡張給紙ユニットに関する設定や、プリンタ情報の取得を行います。なお、この項目は「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダの「プロパティ」ウィンドウから設定します。

- ・「デバイスオプション」タブの設定項目 (→ P.90)

「基本設定」タブの設定項目

「印刷設定」ウィンドウの「基本設定」タブ画面では、設定内容を保存するための「お気に入り」の設定、用紙に関する設定、およびN-up印刷に関する設定を行います。



1 お気に入り

プリンタドライバの設定値を、「お気に入り」に登録することで、使用頻度の高い印刷条件を簡単に選択できるようになります。「お気に入り」として登録可能な項目数は最大16個です（初期状態で登録されている「すべて標準に戻す」、「現在の設定」を含みます）。「お気に入り」の項目を使用する場合は、▼をクリックし、表示されるリストから選択します。

・設定の登録

設定内容に名前を付けて、「お気に入り」として登録します。設定方法については、「プリンタドライバの設定を保存する」(→P.73)をご覧ください。

・設定の管理

設定のインポートやエクスポート、削除をします。設定方法については、「プリンタドライバの設定を管理する」(→P.74)をご覧ください。

2 用紙サイズ（初期設定：A4）

アプリケーションで設定した用紙サイズを選択します。▼をクリックし、表示されるリストから選択します。

用紙サイズ(Z):	A4 ▼
給紙方法(C):	A4
用紙種類(Y):	B5 A5 A6
N-up(N)	レター リーガル
両面印刷(2)	郵便はがき 郵便往復はがき
印刷の向き(B)	はがきサイズ 往復はがきサイズ 長尺紙
拡大・縮小(E)	封筒 長形 3 号 封筒 長形 4 号 封筒 洋形 4 号
郵致(I)	A3⇒A4 B4⇒A4 ユーザ定義サイズ 210.0 x 297.0mm

POINT

- ・ はがき、往復はがきに印刷する場合は、リストから「はがき」または「往復はがき」を選択します。なお、印刷面を上にしてはがきを排出するため、プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開いてから、印刷を実行してください。
- ・ 給紙トレイをはがき専用で使用する場合は、オペレータパネルまたは「FUJITSU Printer Internet Service」で、セットする用紙のサイズを設定しておくことをお勧めします。設定方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」または「Web ブラウザによるプリンタの管理（FUJITSU Printer Internet Service）」（→ P.121）をご覧ください。
- ・ アプリケーションで設定した用紙サイズが A3 または B4 の場合、A4 に縮小して印刷できます。この場合は、「A3 → A4」または「B4 → A4」を選択してください。
- ・ 定型用紙以外のサイズに印刷するときは、「ユーザ定義サイズ」を選択します。「ユーザ定義サイズの設定」ウィンドウが表示され、任意の用紙サイズの設定ができます。ユーザ定義サイズの設定方法については、「任意の用紙サイズを設定する」（→ P.78）をご覧ください。

3 給紙方法（初期設定：カセット 1）

印刷するときの給紙口を選択します。▼をクリックし、表示されるリストから選択します。「自動選択」を選択すると、「サイズ」で指定したサイズの用紙がセットされている給紙口を自動的に選んで印刷します。

POINT

- ・ オプションの拡張給紙ユニットを取り付け、「デバイスオプション」タブで設定を行っていると、リストに「カセット 2」が追加されます。
- ・ 「給紙オプション」（→ P.71）をクリックすると表示される「給紙オプション」ウィンドウで、「給紙口切り替え」の「自動」を にしている場合、印刷時に給紙しているカセットの用紙がなくなったときに、自動的に同じ用紙を入れているカセットに切り替わり、引き続きそのカセットから給紙して印刷します。

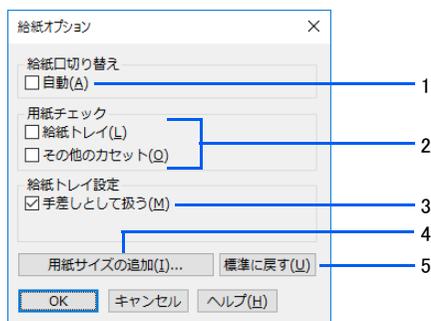
4 用紙種類（初期設定：普通紙(坪量64-74g/m²)

印刷する用紙の種類（厚さ）を選択します。▼をクリックし、表示されるリストから選択します。

選択できる用紙種類については、『ハードウェアガイド』の「使用できる用紙と保管方法」をご覧ください。

5 給紙オプション

次の「給紙オプション」ウィンドウが表示されます。



No.	設定項目	説明
1	給紙口切り替え： 自動（初期設定：□）	本製品では、標準の給紙カセットが「カセット 1」、オプションの拡張給紙ユニットが「カセット 2」となります。「カセット 2」がある状態で <input checked="" type="checkbox"/> にすると、印刷の途中で片方のカセットの用紙がなくなっても、同じサイズの用紙をセットしているもう片方のカセットから自動的に給紙され、印刷が継続されます。大量印刷時に途中で給紙する手間を省きたい場合は、「カセット 1」と「カセット 2」に同じサイズの用紙をセットしておき、給紙口切り替えを有効にして印刷します。 なお、給紙口切り替えは、給紙カセットのみが対象です。給紙トレイに用紙があっても、給紙トレイへは切り替わりませんので、ご注意ください。
2	用紙チェック： ・給紙トレイ （初期設定：□） ・その他のカセット （初期設定：□）	設定した用紙サイズとプリンタにセットされている用紙サイズが異なる場合に、プリンタ側にエラーメッセージを表示するかどうかを設定します。 <input type="checkbox"/> にすると、プリンタにセットされている用紙で強制的に印刷します。 <input checked="" type="checkbox"/> にすると、指定した用紙サイズがプリンタにセットされていないときに、プリンタのオペレータパネル上に用紙リクエストが表示され、待機状態となります。この場合は、指示に従って用紙をセットし、オンラインスイッチを押すと、印刷が再開されます。
3	給紙トレイ設定： 手差しとして扱う （初期設定： <input checked="" type="checkbox"/> ）	<input checked="" type="checkbox"/> にすると、給紙トレイを手差しトレイとして扱います。この場合、用紙を 1 枚ずつセットする必要があります。 <input type="checkbox"/> にした場合は、複数枚の用紙をセットして、連続給紙が可能です。
4	用紙サイズの追加	定形用紙でない（「サイズ」リストにない）用紙サイズを、「ユーザ定義サイズ」として設定できます。設定方法については、「あらかじめ用紙サイズを設定しておく」（→ P.79）をご覧ください。
5	標準に戻す	「給紙オプション」ウィンドウで設定した内容をすべて初期値に戻します。

6 N-up（初期設定：1-up）

をクリックし、表示されるリストから、1枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。1、2、4、6、8、9、16-upの7種類の設定ができます。

・詳細設定

割り付けたページに対して、枠線のありなし、ページの配置方向、とじしろの設定を行います。詳しくは、「複数ページを1枚にまとめて印刷する（N-up印刷）」（→P.81）をご覧ください。

7 両面印刷（初期設定：なし）

両面印刷の設定と、両面印刷時のとじ方向を選択します。

8 印刷の向き（初期設定：縦）

印刷するイメージの向きを縦、横で選択します。

・180°（初期設定：）

にすると、印刷イメージを上下反転します。

9 拡大・縮小（初期設定：100%）

用紙サイズは変更せず、印刷データのみを拡大、縮小して印刷します。とじしろを設定するなどして、印刷データが用紙内に収まらなくなったときの調整に使うことができます。

・180°（初期設定：）

アプリケーションの中には、アプリケーションで拡大縮小の設定ができるものがあります。

アプリケーション側で拡大縮小率を指定する場合は、「無効にする」を にします。

10 部数（初期設定：1）

印刷する部数を1～999で設定します。

・部単位で印刷（初期設定：）

にすると、部単位で印刷します。

11 バージョン情報

プリンタドライバのバージョンが表示されます。詳しくは、「プリンタドライバのバージョンを確認するには」（→P.99）をご覧ください。

12 標準に戻す

「基本設定」タブ画面で設定した内容をすべて初期値に戻します。

13 設定サマリ

設定内容の概要が表示されます。

プリンタドライバの設定を保存する

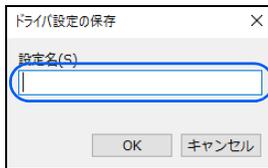
「基本設定」タブ画面の「お気に入り」で「設定の登録」をクリックすると、「基本設定」タブ画面と「印刷オプション」タブ画面で設定した内容に名前を付けて、「お気に入り」として最大 16 個保存できます。

- 1 「基本設定」タブの「お気に入り」にある「設定の登録」をクリックします。



「ドライバ設定の保存」ウィンドウが表示されます。

- 2 「設定名」に名前を入力します。



- 3 「OK」をクリックします。

「基本設定」タブの「お気に入り」のリストに、設定した「設定名」が追加されます。

プリンタドライバの設定を管理する

お気に入りで保存したプリンタドライバの設定を、インポートしたり、エクスポートしたりできます。また、保存した設定を削除することもできます。

お気に入りのエクスポート

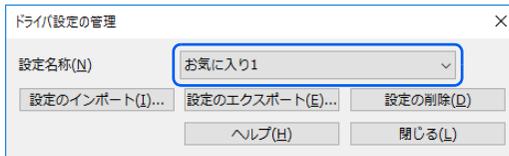
選択されているお気に入りをファイルとしてエクスポートします。

- 1 「基本設定」タブの「お気に入り」にある「設定の管理」をクリックします。

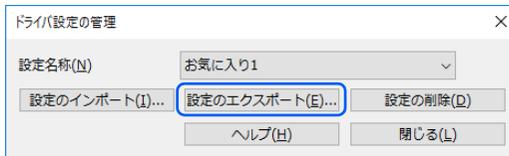


「ドライバ設定の管理」ウィンドウが表示されます。

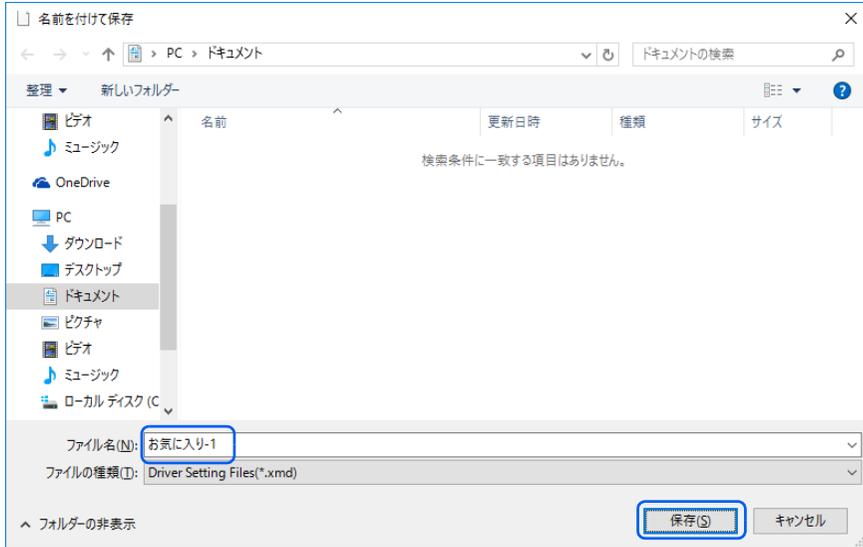
- 2 「設定名称」からエクスポートしたいお気に入りを選択します。



- 3 「設定のエクスポート」をクリックします。



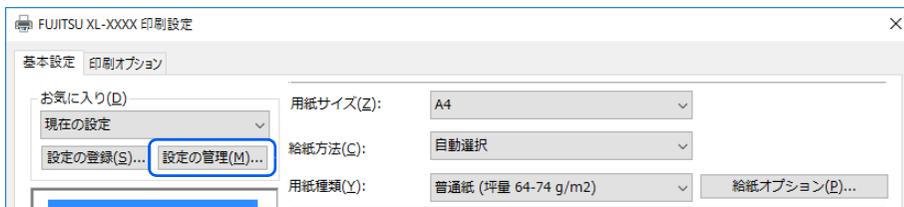
4 ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。



お気に入りのインポート

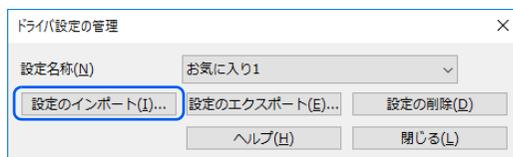
エクスポートしたお気に入りをインポートします。

- 1 「基本設定」タブの「お気に入り」にある「設定の管理」をクリックします。

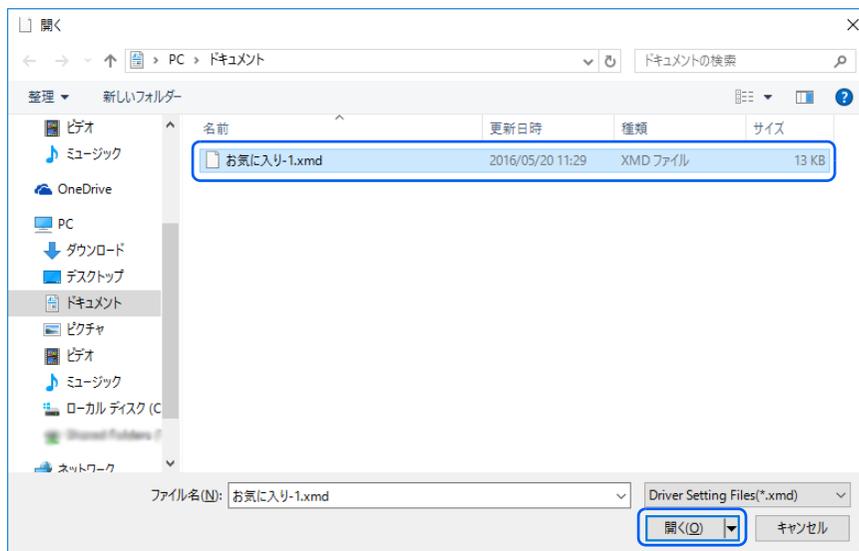


「ドライバ設定の管理」ウィンドウが表示されます。

- 2 「設定のインポート」をクリックします。



- 3 インポートしたいファイルを選択し、「開く」をクリックします。



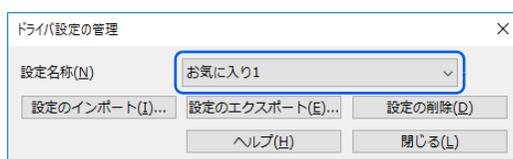
お気に入りの削除

- 1 「基本設定」タブの「お気に入り」にある「設定の管理」をクリックします。

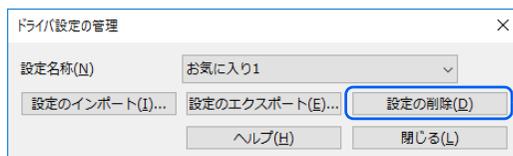


「ドライバ設定の管理」ウィンドウが表示されます。

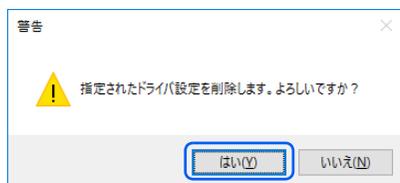
- 2 「設定名称」から削除したいお気に入りを選択します。



- 3 「設定の削除」をクリックします。



- 4 「警告」ウィンドウが表示されるので「はい」をクリックします。



任意の用紙サイズを設定する

「基本設定」タブ画面で、定形用紙でない（「サイズ」リストにない）用紙サイズを、「ユーザ定義サイズ」として設定できます。

⚠ 注意

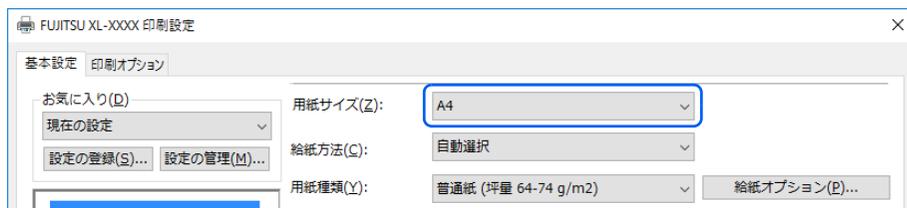


- ・プリンタドライバおよびアプリケーションで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。

用紙サイズの設定方法には、直接サイズを設定する方法と、あらかじめ用紙サイズを設定しておく方法の2種類があります。

直接サイズを設定する

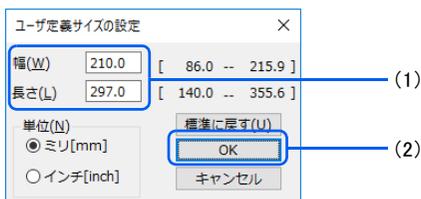
1 「基本設定」タブの「用紙サイズ」から、「ユーザ定義サイズ」を選択します。



「ユーザ定義サイズの設定」ウィンドウが表示されます。

2 (1) 用紙の幅と長さを入力し、(2) 「OK」をクリックします。

設定できる範囲は、入力欄横に記載されています。必要に応じて、「単位」を「ミリ」と「インチ」で切り替えて設定できます。



POINT

- ・給紙口によっては、サポートするサイズが「ユーザ定義サイズ」で設定可能な範囲よりも狭い場合があります。このような給紙口を給紙方法に指定するときは、その給紙口のサポート範囲内のサイズを設定してください。各給紙口がサポートするユーザ定義サイズの範囲については、『ハードウェアガイド』の「付録」をご覧ください。

あらかじめ用紙サイズを設定しておく

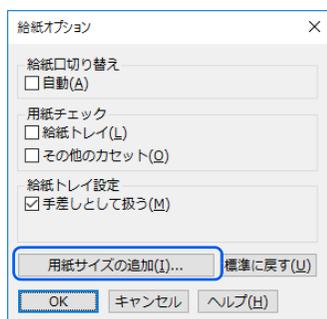
給紙トレイまたはユーザ定義サイズをサポートする給紙カセットごとに、ユーザ定義サイズを設定しておくことができます。

1 「基本設定」タブの「用紙種類」にある「給紙オプション」をクリックします。



「給紙オプション」ウィンドウが表示されます。

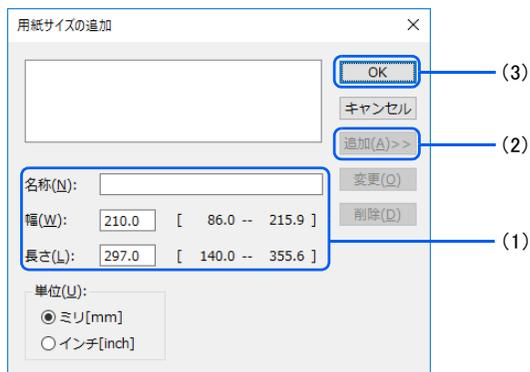
2 「用紙サイズの追加」をクリックします。



「用紙サイズの追加」ウィンドウが表示されます。

3 (1) 「名称」、用紙の「幅」と「長さ」を入力し、(2) 「追加」をクリックし、(3) 「OK」をクリックします。

設定できる範囲は、入力欄横に記載されています。必要に応じて、「単位」を「ミリ」と「インチ」で切り替えて設定できます。



「給紙オプション」ウィンドウに戻ります。

POINT

- ・ 追加したユーザ定義サイズを変更または削除したい場合は、名称の一覧から対象の名称をクリックし、「変更」または「削除」をクリックしてください。

4 「OK」をクリックします。

「基本設定」タブの「用紙サイズ」のリストに、設定した「名称」が追加されます。

複数ページを1枚にまとめて印刷する (N-up 印刷)

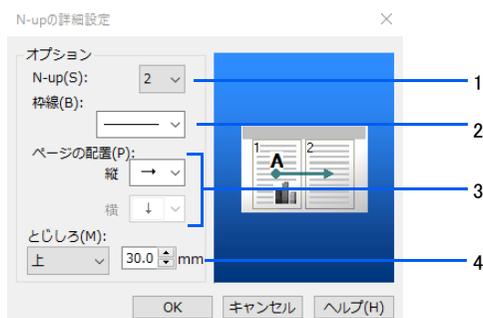
「基本設定」タブの「N-up」で1枚に割り付けるページ数を設定します。1、2、4、6、8、9、16-up の7種類の設定ができます。

- 1 「基本設定」タブの「N-up」で、(1) 割り付けるページ数を選択し、(2) 「詳細設定」をクリックします。



「N-upの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

- 2 ページの配置などを設定します。

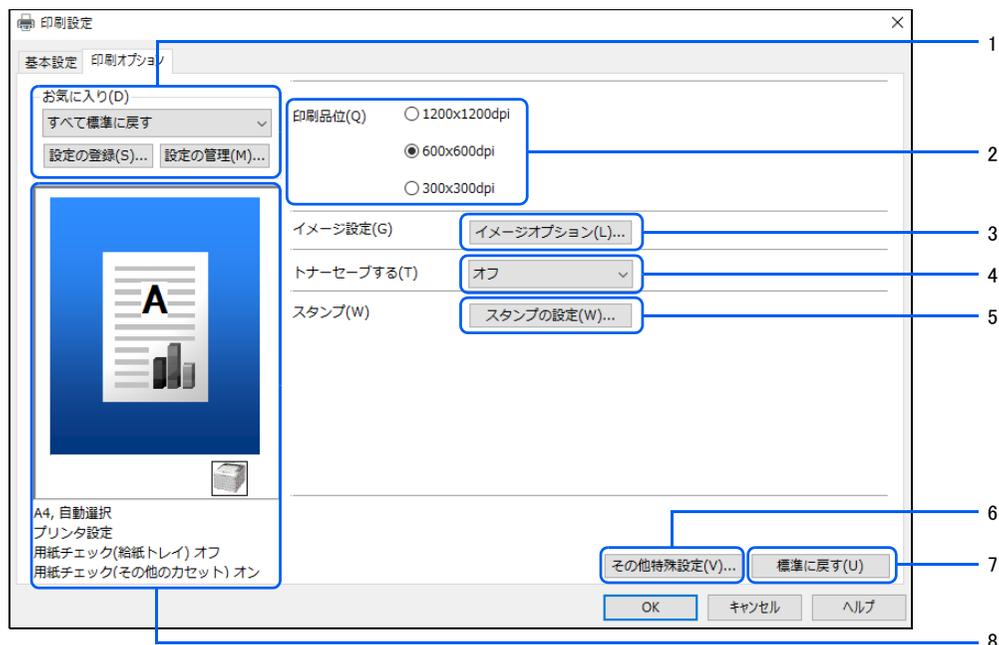


No.	設定項目	説明
1	N-up (初期設定: 設定タブで指定した N-up 状態)	「基本設定」タブの「N-up」(→ P.72) で設定した内容が表示されます。このウィンドウで設定を変更することもできます。
2	枠線 (初期設定: なし)	割り付けたページの周囲に枠線を印刷するかどうかを選択します。
3	ページの配置 (初期設定: 縦)	割り付けたページをどのような順序で配置するか選択します。「印刷の向き」(縦・横) と「N-up」によって、選択できるページ配置が換わります。
4	とじしろ (初期設定: なし)	とじしろを設定するかどうかを選択します。とじしろを設定する場合は、位置と幅 (0.0 ~ 30.0mm) を設定できます。

- 3** 「OK」をクリックします。
「基本設定」タブ画面に戻ります。
- 4** 「OK」をクリックします。
- 5** 印刷を実行します。

「印刷オプション」タブの設定項目

「印刷設定」ウィンドウの「印刷オプション」タブ画面では、印刷仕様を設定します。



1 お気に入り

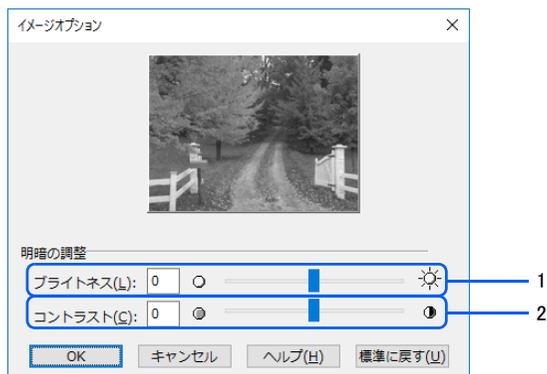
「基本設定」タブのお気に入りと同じです。詳しくは、「お気に入り」(→ P.69)をご覧ください。

2 印刷品位 (初期設定 : 600x600dpi)

印刷時の解像度です。解像度が高いほどきれいに印刷できます。

3 イメージオプション

次の「イメージオプション」ウィンドウが表示されます。



No.	設定項目	説明
1	ブライトネス (初期設定 : 0)	印刷の明るさを調整できます。
2	コントラスト (初期設定 : 0)	印刷の鮮やかさを調整できます。

4 トナーセーブする（初期設定：オフ）

トナーの消費量を約 30%節約した印刷を行います [注]。「オン」にすると印刷品質は落ちますが、トナーの寿命を長くすることができます。

[注] トナーセーブ率は、印刷データの内容によって変わります。

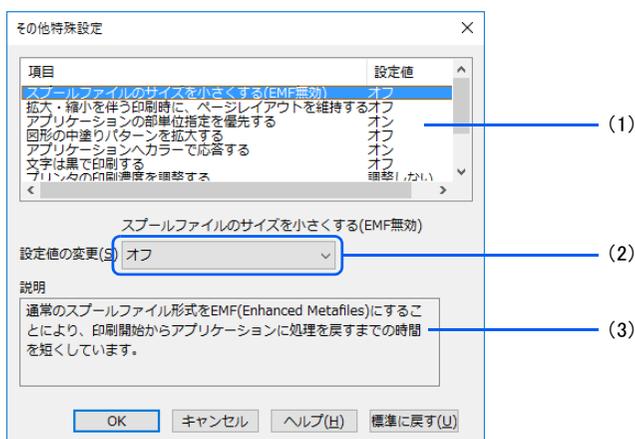
なお、オペレータパネルで「トナーセーブ」を「ユウコウ」に設定した場合も、同じ条件となります。

5 スタンプ（初期設定：なし）

用紙の背景に、「秘」「禁複写」などの透かし文字を印刷できます。スタンプは登録されているものから選択するほか、新しいスタンプの登録や、登録されているスタンプの編集および削除ができます。詳しくは、「スタンプを印刷する」（→ P.86）をご覧ください。

6 その他特殊設定

次の「その他特殊設定」ウィンドウが表示されます。



(1) で設定したい項目を選択し、(2) の「設定値の変更」で、「オン」「オフ」を切り替えます。
(3) の「説明」欄には選択した項目の説明が表示されます。

設定項目	説明
スプールファイルのサイズを小さくする (EMF 無効) (初期設定：オフ)	通常のスプールファイル形式を EMF (Enhanced Metafiles) にすることにより、印刷開始からアプリケーションに処理を戻すまでの時間を短くしています。EMF 形式でスプールした場合、アプリケーションによってはスプールファイルのサイズが非常に大きくなる場合があるので、その場合は本設定を「オン」してください。 「プリンタへ直接印刷データを送る」設定、「常に、RAW データでスプールする」設定やネットワーク共有でプリンタサーバを作成してクライアント側から印刷する場合は、EMF 形式でスプールできないので、本機能は無効となります。
拡大・縮小を伴う印刷時に、ページレイアウトを維持する (初期設定：オフ)	「N-up」、「とじしろ」機能を使用すると、一行に収まる文字数や、ページ内に収まる行数が変化し、ページレイアウトが変わることがあります。本設定を「オン」にすることで、ページレイアウトを維持してこれらの拡大、縮小を伴う機能を使用できるようになります。 ただし、本設定を「オン」にされると、図形の塗りのパターンも拡大、縮小されるため、印刷結果が異なる場合があります。

設定項目	説明
アプリケーションの部単位指定を優先する (初期設定：オン)	本設定を「オン」にすると、アプリケーションの印刷オプションで選択した部単位印刷機能を優先します（アプリケーションで指定した部単位の設定に従って印刷を行うようになります）。
図形の中塗りパターンを拡大する (初期設定：オフ)	600dpi など、高解像度のときに図形の中塗りのパターンが細かい場合、本設定を「オン」にすることで粗いハッチパターンで描画することができます。
アプリケーションへカラーで応答する (初期設定：オン)	本設定を「オン」にすると、アプリケーションへカラープリンタとして応答します。 アプリケーションによっては、モノクロプリンタと認識すると、アプリケーションがカラーデータをモノクロにするためプリンタに最適な結果にならないことがあります。このような場合は「オン」にします。
文字は黒で印刷する (初期設定：オフ)	本設定を「オン」にすると、文字に色が付いている場合でも、指定された色に基づいたディザリングを行わず黒で印刷します。
プリンタの印刷濃度を調整する (初期設定：調整しない)	本設定を「オン」にすると、プリンタの印刷濃度を使用して印刷データの濃度を調整することができます。イメージオプションのブライトネスやコントラストでは、カラーデータをモノクロデータに変換するときの濃度を調整しますが、この機能は、モノクロのデータの濃度を調整することができます。本設定が「オフ」の場合はプリンタの設定に従います。 ・有効な利用方法 CAD アプリケーションなどで、1 ドットの線で図形が描画される時、図全体が薄く出力される場合、この指定で濃くすることができます。
文字と図形を白黒 2 値で表現する (初期設定：オフ)	本設定を「オン」にすると、白以外の色付きで作成された文字やグラフィックスを、ディザリングせずに黒色で印刷します。
印刷位置を補正する (初期設定：オフ)	本設定を「オン」にすると、印刷する用紙に対して、指定した量だけデータを移動して印刷します。 移動する量は、標準の位置から右方向と下方向へ、それぞれ -30 ~ +30mm の範囲で指定可能となります。なお、印刷可能領域からはみ出したデータは印刷されません。

7 標準に戻す

「印刷オプション」タブで設定した内容をすべて初期値に戻します。

8 設定サマリ

設定内容の概要が表示されます。

スタンプを印刷する

「印刷オプション」タブ画面の「スタンプ」で、用紙の背景に印刷する透かし文字を設定します。スタンプ印刷は、事前に登録されているスタンプを利用して行うほか、新しいスタンプを登録して行うこともできます。

登録されているスタンプを使用して印刷する

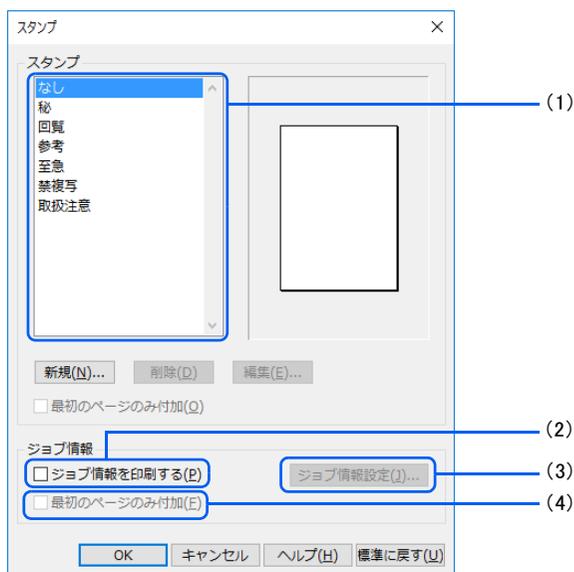
1 「印刷オプション」タブの「スタンプの設定」をクリックします。



「スタンプ」ウィンドウが表示されます。

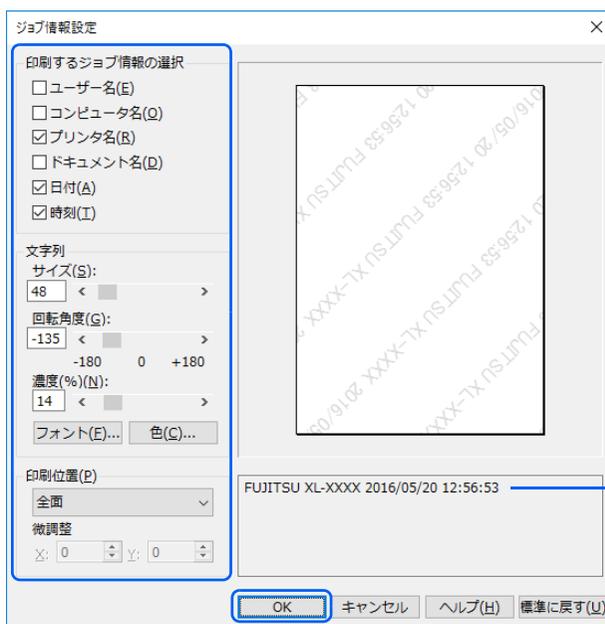
2 (1) 使用したいスタンプを選択します。

複数ページの文書の1ページ目だけに透かし文字を入れたい場合は、(4)「最初のページのみ付加」を☑にします。



■ ジョブ情報を透かしとして印刷する場合

1. (1) 「スタンプ」を「なし」に選択します。
2. (2) 「ジョブ情報を印刷する」を☑にします。
複数ページの文書の1ページ目だけにジョブ情報の透かしとして印刷したい場合は、
(4) 「最初のページのみ付加」を☑にします。
3. (3) 「ジョブ情報設定」をクリックします。
「ジョブ情報設定」ウィンドウが表示されます。
4. 透かしとして入れるジョブ情報を設定し、「OK」をクリックします。



透かしとして印刷される
ジョブ情報の内容が表示
されます。

- 3 「スタンプ」ウィンドウの「OK」をクリックします。
- 4 「印刷オプション」タブ画面の「OK」をクリックします。
- 5 印刷を実行します。

新しいスタンプを登録、編集、削除する

「スタンプ」ウィンドウの「新規」「編集」「削除」をクリックすると、スタンプの新規登録、編集、および削除ができます。

■新規にスタンプを登録する

文字列、フォント、スタイルなどを入力し、新規にスタンプを作成します。

1 「印刷オプション」タブの「スタンプの設定」をクリックします。

「スタンプ」ウィンドウが表示されます。

2 「新規」をクリックします。

「スタンプの編集」ウィンドウが表示されます。

3 印刷するスタンプの詳細を設定します。



No.	設定項目	説明
1	文字列 (初期設定 サイズ：72 回転角度：45 フォント：MS P ゴシック 色：RGB(192,192,192))	スタンプとして印字する文字列を入力します。全角半角問わず 63 文字まで入力できます。 <ul style="list-style-type: none">・サイズ：フォントサイズを直接入力するか、スクロールバーで設定します。・回転角度：文字の回転角度を直接入力するか、スクロールバーで設定します。・フォント：クリックすると、「フォント」ウィンドウが表示されます。フォント種別、サイズ、スタイルを設定します。・色：スタンプの色を指定します。指定された色をプリンタ側でモノクロ化します。

No.	設定項目	説明
2	囲み枠 (初期設定：なし)	スタンプの周りに付ける枠の種別を選択します。
3	スタンプサマリ	「スタンプの編集」ウィンドウで設定したスタンプが、どのように印刷結果に反映されるか、イメージで表示されます。
4	印刷位置 (初期設定：中央)	スタンプを用紙のどの位置に印刷するかを選択します。 ・微調整：選択した印刷位置を微調整する場合は、X（横方向）、Y（縦方向）に数値を設定します。正の値で右方向（X）または下方向（Y）へ移動し、負の値で左方向（X）または上方向（Y）へ移動します。

4 「OK」をクリックします。

「スタンプ」ウィンドウに戻ります。

5 「登録されているスタンプを使用して印刷する」(→ P.86)の手順で、登録したスタンプを選択し、印刷を実行します。

■登録したスタンプを編集する

「新規にスタンプを登録する」(→ P.88)で登録したスタンプを編集します。

1 「印刷オプション」タブの「スタンプの設定」をクリックします。

「スタンプ」ウィンドウが表示されます。

2 編集したいスタンプを選択して「編集」をクリックします。

ご購入時に登録されているスタンプは編集できませんので、ご注意ください。
「スタンプの編集」ウィンドウが表示されます。

3 「新規にスタンプを登録する」の手順 3 (→ P.88)の操作を行い、内容を編集します。

■登録したスタンプを削除する

「新規にスタンプを登録する」(→ P.88)で登録したスタンプを削除します。なお、ご購入時に登録されているスタンプは削除できませんので、ご注意ください。

1 「印刷オプション」タブの「スタンプの設定」をクリックします。

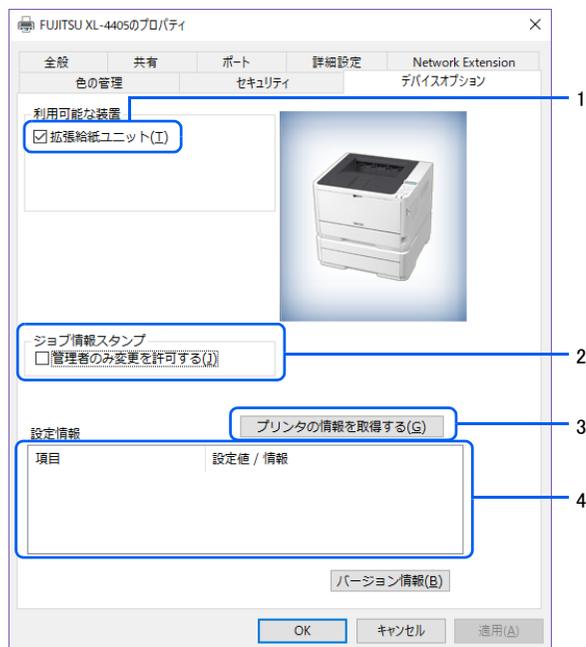
「スタンプ」ウィンドウが表示されます。

2 削除したいスタンプを選択して「削除」をクリックします。

スタンプが削除されます。

「デバイスオプション」タブの設定項目

「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダから表示できる、「プロパティ」ウィンドウの「デバイスオプション」タブ画面では、オプションの拡張給紙ユニットに関する設定や、プリンタ情報の取得を行います。



1 拡張給紙ユニット（初期設定：□）

オプションの拡張給紙ユニットを取り付けたときに、にします。にすることで、「基本設定」タブの「給紙方法」に、拡張給紙ユニットが「カセット 2」として追加されます。

2 ジョブ情報スタンプ

ジョブ情報スタンプの設定を変更できるユーザーを限定する場合に、「管理者のみ変更を許可する」をにします。

3 プリンタの情報を取得する

「Network Extension」（→ P.118）がインストールされている場合、クリックすると本製品の設定内容を読み出し、拡張給紙ユニットの取り付け状態を設定します。また、トレイ構成やトナー残量などのプリンタ情報が「設定情報」に表示されます。

4 設定情報

「Network Extension」（→ P.118）がインストールされている場合、「プリンタの情報を取得する」をクリックすると、取得した情報が表示されます。

4 プリンタドライバを更新／削除するには

プリンタドライバを更新（バージョンアップ）したり、削除（アンインストール）したりする方法を説明します。

- ・「更新する場合」（→ P.91）
- ・「削除する場合」（→ P.91）

更新する場合

プリンタドライバの更新は、旧バージョンのプリンタドライバを削除してから、新しいプリンタドライバをインストールして行います。

削除方法については、「削除する場合」（→ P.91）をご覧ください。

インストール方法については、次をご覧ください。

- ・「ネットワークを利用したプリンタの接続」（→ P.15）
- ・「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（→ P.45）

削除する場合

他の Windows で本製品を使用していて、プリンタドライバを削除せずに Windows をアップグレードしたときや、プリンタを使用しなくなったときは、次の手順でプリンタドライバを削除します。

アンインストーラを使用せずに「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダから削除する方法と、アンインストーラを使用する方法があります。

アンインストーラを使用する場合は、プリンタに添付の◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」または富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) からダウンロードしたプリンタドライバが必要です。

- ・「アンインストーラを使用して削除する場合」（→ P.91）
- ・「アンインストーラを使用せずに削除する場合」（→ P.93）

アンインストーラを使用して削除する場合

- 1** 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- 2** ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。
- 3** メニューから「終了」をクリックします。

- 4 「エクスプローラー」でアンインストーラが格納されている
「D:\drvinst\drvuninst\DrvUninst.exe（パソコンのOSが64ビット版の場合はD:\drvinst\drvuninst64\DrvUninst.exe）」（CD-ROMドライブがDの場合）を選択し、ダブルクリックします。

POINT

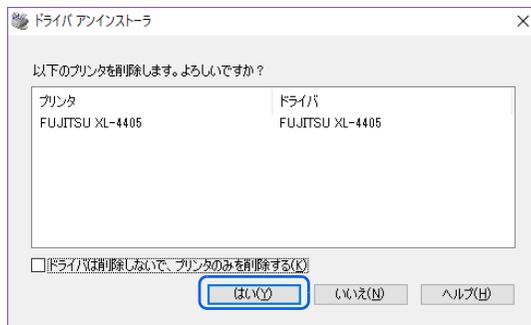
- ・「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

- 5 削除するプリンタを選択し、「削除」をクリックします。



- 6 「はい」をクリックします。

「ドライバは削除しないで、プリンタのみを削除する」を選択すると、プリンタのみ削除されます。



「プリンタドライバを削除しています。しばらくお待ちください」と表示されます。

- 7** 「プリンタとドライバの削除が完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックします。



再起動を要求するメッセージが表示されます。

- 8** 「はい」をクリックして、パソコンを再起動します。

以上で、プリンタドライバの削除は完了です。

アンインストーラを使用せずに削除する場合

- 1** 管理者権限をもったユーザーでログオンします。

- 2** 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。

3 「システムとセキュリティ」をクリックします。



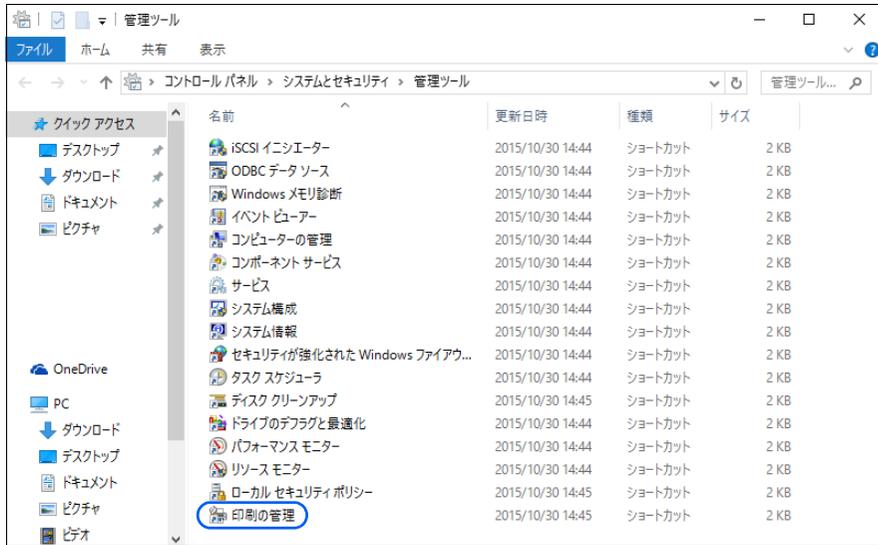
4 「管理ツール」をクリックします。

重要

- Windows Server 2012 R2 で「管理ツール」がない場合は「サーバーマネージャー」の「役割と機能の追加」から「印刷とドキュメントサービス」の「プリントサーバー」をインストールする必要があります。

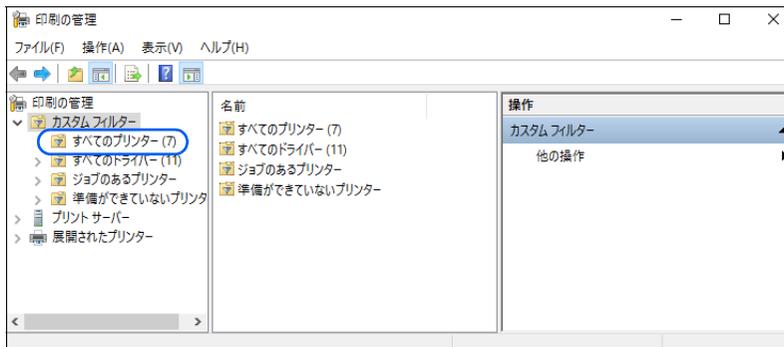


5 「印刷の管理」をダブルクリックします。



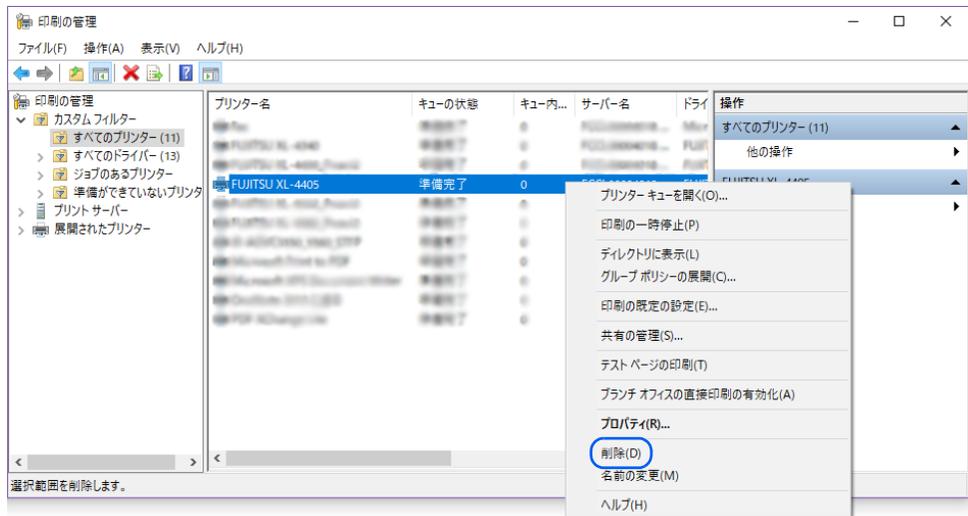
「印刷の管理」ウィンドウが表示されます。

6 左側にあるツリーで、「カスタムフィルター」→「すべてのプリンター」の順にクリックします。



削除するプリンタが一覧に表示されていない場合は、手順9に進んでください。

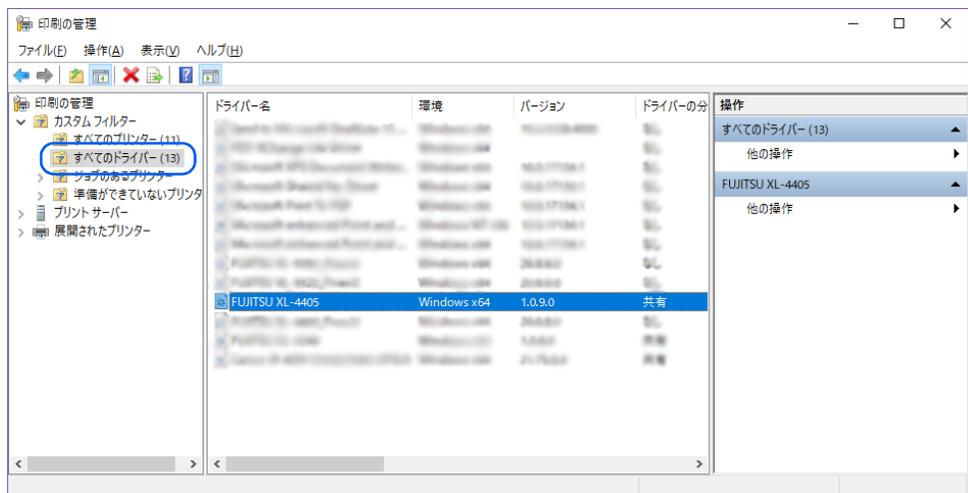
7 削除するプリンタ名を右クリックし、「削除」をクリックします。



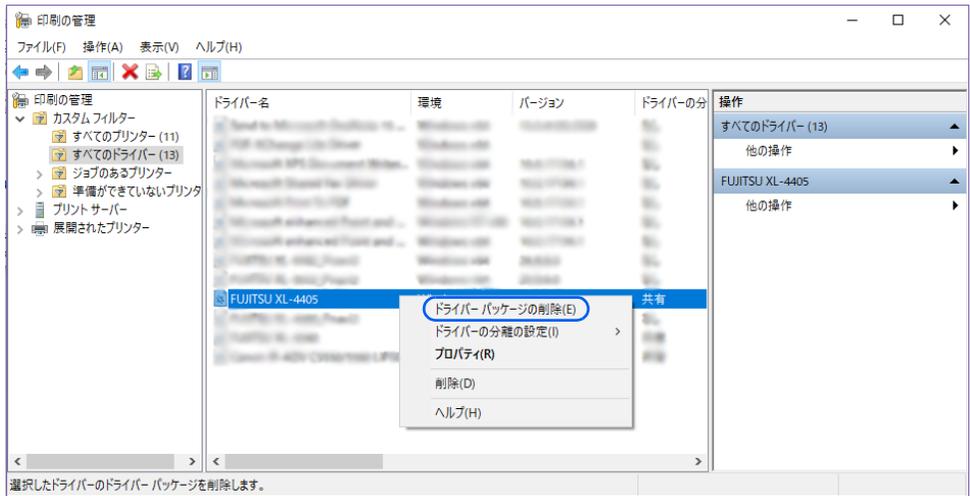
8 「はい」をクリックします。



9 左側にあるツリーで「カスタムフィルター」→「すべてのドライバー」の順にクリックします。



10 削除するドライバ名を右クリックし、「ドライバーパッケージの削除」をクリックします。

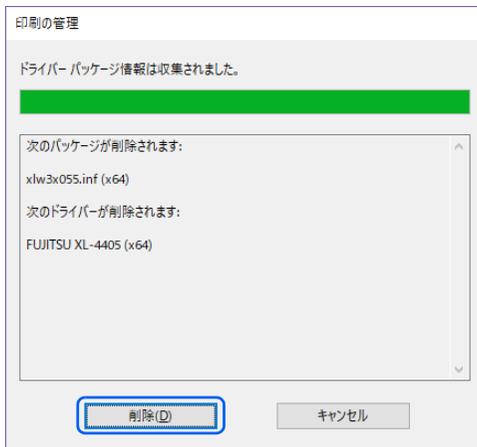


「ドライバーパッケージ情報は収集されました。」とメッセージが表示されます。

POINT

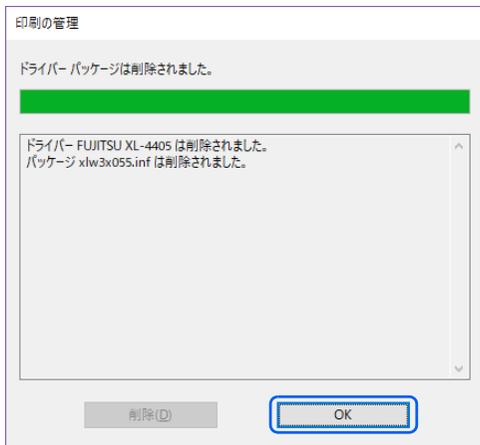
- ・ 削除できない場合は、Windows を再起動してから再度実施してください。

11 「削除」をクリックします。



「ドライバーパッケージは削除されました。」というメッセージが表示されます。

12 「OK」をクリックします。



13 Windows を再起動します。

POINT

- ・ドライバの削除後に、プリンタ USB ケーブルを接続したままで Windows を再起動すると、再びプラグアンドプレイが動作して、「ドライバのインストールに失敗しました」というメッセージが表示されるため、プリンタを使用しない場合にはケーブルを外してください。
- ・プリンタドライバといっしょにインストールされる「FUJITSU LPR ユーティリティ」と「Network Extension」は、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
「FUJITSU LPR ユーティリティ」と「Network Extension」を削除する場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」を削除する」(→ P.117)、「Network Extension」を削除する」(→ P.120)をご覧ください。

5 プリンタドライバのバージョンを確認するには

プリンタドライバのバージョンは、次の方法で確認できます。

1 「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダを開きます。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

2 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

3 「基本設定」タブの「バージョン情報」をクリックします。

プリンタドライバのバージョンが表示されます。



6

第 6 章

ネットワーク関連ソフトウェアの 機能と利用方法

この章では、ネットワーク経由で印刷するとき使用する「FUJITSU LPR ユーティリティ」と「Network Extension」の機能と利用方法について説明します。

1 LPR 印刷の管理 (FUJITSU LPR ユーティリティ)	102
2 プリンタ情報の管理 (Network Extension)	118

1 LPR 印刷の管理（FUJITSU LPR ユーティリティ）

LPR 印刷を行うには、「FUJITSU LPR ユーティリティ」を使用します。
ここでは、「FUJITSU LPR ユーティリティ」のインストール方法、機能、削除（アンインストール）方法について説明します。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」をインストールする

「FUJITSU LPR ユーティリティ」をインストールし、プリンタをユーティリティに登録することにより LPR 印刷ができます。次の手順に従って、「FUJITSU LPR ユーティリティ」のインストールとプリンタの登録を行ってください。

POINT

- ・「「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする」（→ P.20）の手順 7 で、「印刷方法」として「Fujitsu LPR ユーティリティ」を選択してプリンタドライバをインストールした場合、「FUJITSU LPR ユーティリティ」はインストールされています。この手順でインストールする必要はありません。

インストール

- 1 ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

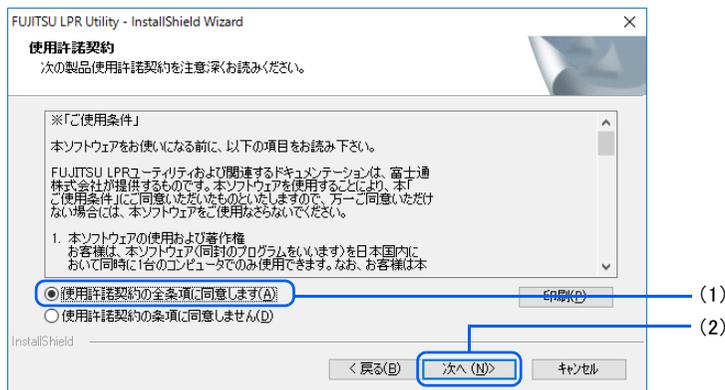
- 2 メニューから「FUJITSU LPR ユーティリティ」をクリックします。



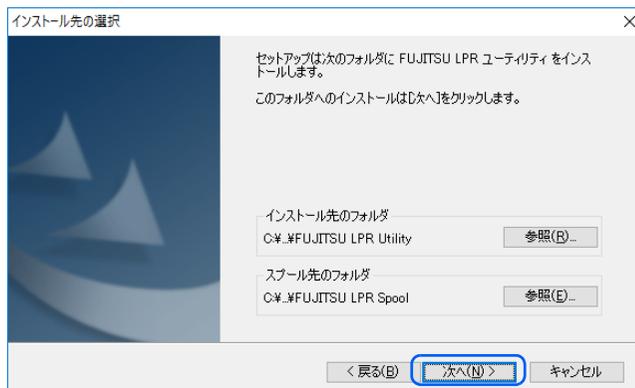
3 「次へ」をクリックします。



4 (1) 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、(2) 「次へ」をクリックします。



5 インストール先とスプール先のフォルダを確認し、「次へ」をクリックします。



6 (1) スタートアップに登録するか、タスクトレイで実行するかを選択し、(2)「次へ」をクリックします。

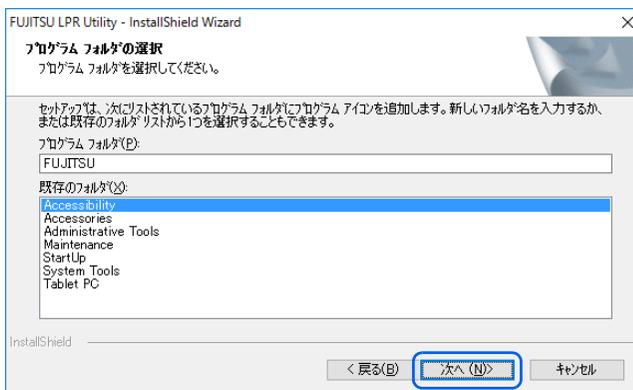
- ・ スタートアップに登録する
にすると、パソコンの起動時に、「FUJITSU LPR ユーティリティ」の「メインウィンドウ」(→P.107)が表示されます。
- ・ タスクトレイで実行する
にすると、タスクトレイ(通知領域)に「FUJITSU LPR ユーティリティ」のアイコンを登録します。アイコンをクリックすると「メインウィンドウ」(→P.107)が表示されます。



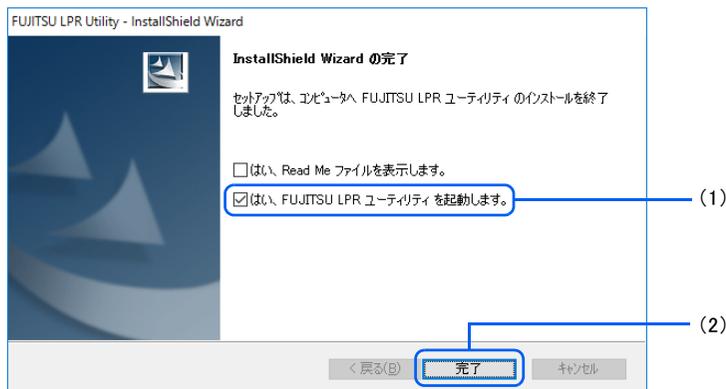
POINT

- ・ 「スタートアップに登録する」「タスクトレイで実行する」を□にしても、印刷を開始すると、自動的に「FUJITSU LPR ユーティリティ」が起動します。

7 「プログラムフォルダの選択」ウィンドウでプログラムフォルダを確認し、「次へ」をクリックします。



- 8 引き続き「プリンタの追加」を行う場合は「セットアップの完了」ウィンドウで (1) 「はい、FUJITSU LPR ユーティリティを起動します」を☑にし、(2) 「完了」をクリックします。



「FUJITSU LPR ユーティリティ」が起動します。

以上で「FUJITSU LPR ユーティリティ」のインストールは完了です。

プリンタの登録

「FUJITSU LPR ユーティリティ」にプリンタを登録します。プリンタドライバがインストールされていることを確認してから、次の手順で追加してください。

POINT

- ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」にプリンタを登録することで、「FJLPRXX ポート」でプリンタと接続されます。どのポートで接続されているかは、「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダから「プロパティ」ウィンドウを表示し、「ポート」タブをご確認ください。
- ・以降の手順を繰り返すと、複数のプリンタを「FUJITSU LPR ユーティリティ」に登録できます。

1 「FUJITSU LPR ユーティリティ」が起動されていない場合は、次の手順で起動します。

■ Windows 11 の場合

1. → 「すべてのアプリ」 → 「FUJITSU」 → 「FUJITSU LPR ユーティリティ」 → 「FUJITSU LPR ユーティリティ」の順にクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. → 「FUJITSU」 → 「FUJITSU LPR ユーティリティ」 → 「FUJITSU LPR ユーティリティ」の順にクリックします。

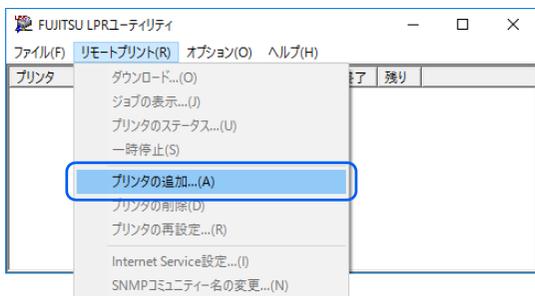
■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の をクリックします。
2. 「FUJITSU」の「FUJITSU LPR ユーティリティ」の「FUJITSU LPR ユーティリティ」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「FUJITSU」の「FUJITSU LPR ユーティリティ」の「FUJITSU LPR ユーティリティ」をクリックします。

2 「リモートプリント」メニュー→「プリンタの追加」の順にクリックします。



3 (1) プリンタを選択して「IPアドレス」にプリンタのIPアドレスを入力し、(2) 「詳細設定」をクリックします。

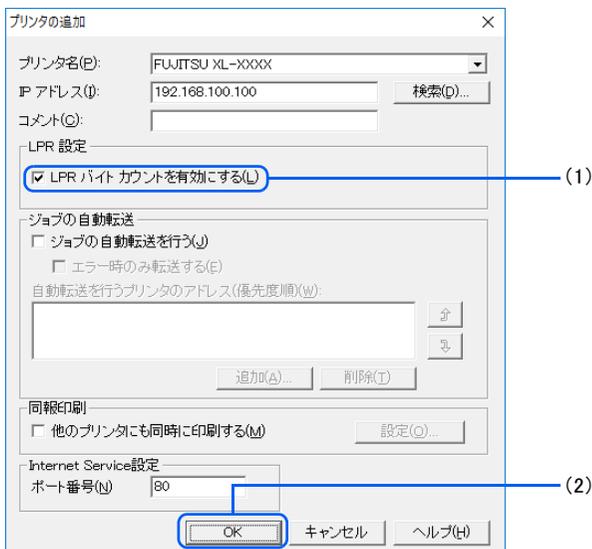
入力は、半角数字とピリオドで行ってください。



POINT

- ・「プリンタ」には、「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。
- ・「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。

4 (1) 「LPR バイトカウントを有効にする」を☑にし、(2) 「OK」をクリックします。



POINT

- ・「LPR バイトカウントを有効にする」を にしないと、データ数をチェックしない、信頼性の低い通信になります。必ずチェックを付けてください。

5 「プリンタの追加」ウィンドウで、「OK」をクリックします。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」ウィンドウの「プリンタ」に、プリンタが追加されます。

以上で、プリンタの登録は完了です。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能

「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能について説明します。

メインウィンドウ



1 プリンタ

登録されているプリンタ名が表示されます。

2 状態

プリンタポートの状態が表示されます。

状態	説明
待機中	プリンタポートが待機中の状態。
接続中	プリンタに接続を試みている状態。
送信中 - **%	プリンタにデータを送信している状態。「**%」は送信済みの割合。
停止中	・「リモートプリント」メニューで一時停止された状態。 ・エラーが発生して送信を停止している状態。
問合せ中	プリンタのステータスを問い合わせている状態。
未接続	・「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダからプリンタが削除された状態。 ・プリンタの IP アドレスが正しく設定されていない状態。 ・印刷できない状態。

3 終了

送信が終了したジョブ数が表示されます。

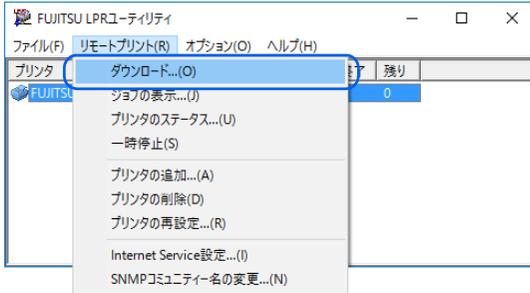
4 残り

送信が終了していないジョブ数が表示されます。

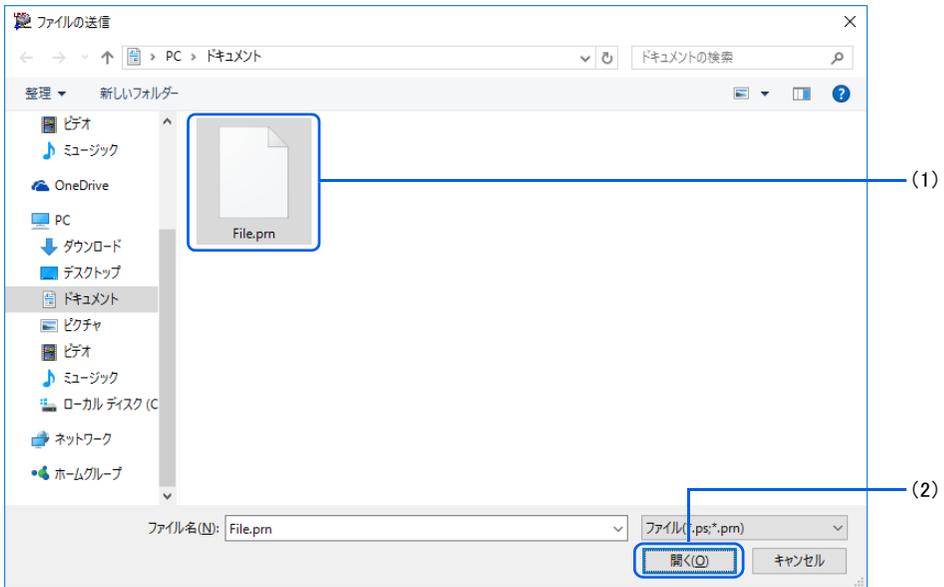
ファイルのダウンロード

印刷データのファイルをプリンタに送信して印刷することができます。

- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「リモートプリント」メニュー→「ダウンロード」の順にクリックします。



- 3 (1) ダウンロードするファイルを選択して、(2)「開く」をクリックします。



重要

- ・他機種で作成された印刷データのファイルを、上記手順で印刷することはできません（実行すると、意図しない不要な印刷が行われる原因となります）。

ファイルがダウンロードされ、印刷が開始されます。

ジョブの表示、削除、転送

印刷ジョブを表示したり、削除したりすることができます。

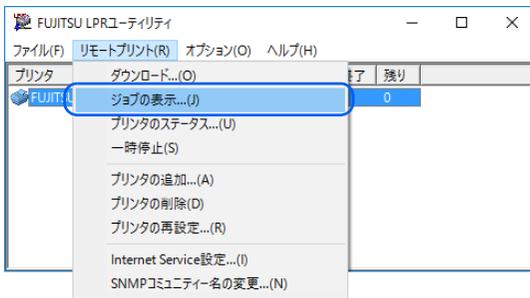
また、プリンタが使用中、オフライン、用紙切れなどで印刷できない場合、印刷ジョブを同機種別のプリンタへ転送することができます。

なお、別のプリンタへ転送する場合は、転送先のプリンタを「プリンタの登録」(→P.105)の手順で事前に登録しておいてください。

重要

- ・ 機種の異なるプリンタへの転送はできません。

- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「リモートプリント」メニュー→「ジョブの表示」の順にクリックします。



ジョブが表示されます。

- 3 ジョブを削除したり、転送したりする場合は、次のように操作します。

■ ジョブを削除する場合

削除したい印刷ジョブを選択し、「ジョブ」メニュー→「削除」の順にクリックします。



ジョブが削除されます。

■ ジョブを転送する場合

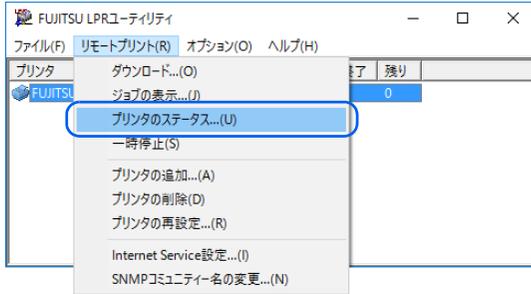
転送したい印刷ジョブを選択し、「ジョブ」メニュー→「転送」の順にクリックして、転送先のプリンタをクリックします。



転送先のプリンタにジョブが送られます。

プリンタのステータス

- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「リモートプリント」メニュー→「プリンタのステータス」の順にクリックします。

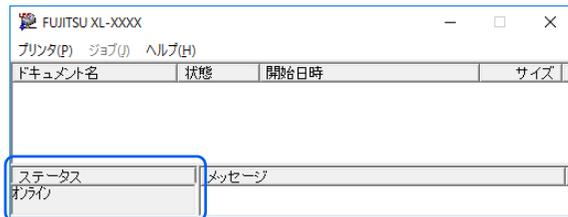


プリンタのステータスが表示されます。



POINT

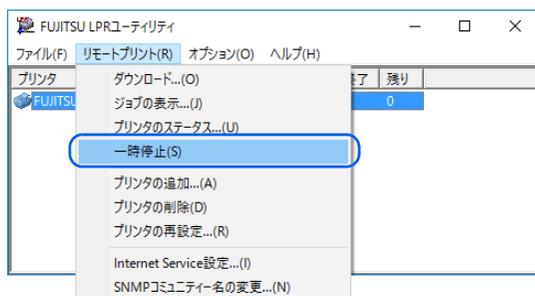
- ・「リモートプリント」メニュー→「ジョブの表示」の順にクリックすると、ウィンドウ左下にプリンタステータスが表示されるようになります。



一時停止／解除

印刷データの送信を停止したり、停止状態を解除したりすることができます。

- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「リモートプリント」メニュー→「一時停止」の順にクリックします。



■ データ送信中の場合

データ送信が一時停止され、「現在送信中のジョブが再送信になりますがよろしいですか？」というメッセージが表示されます。

「はい」をクリックするとジョブの送信をいったん中止します。「状態」が「停止中」になり、「リモートプリント」メニュー→「一時停止」にチェックが付きます。「いいえ」をクリックすると、一時停止を解除し、送信を続けます。

■ 一時停止中の場合

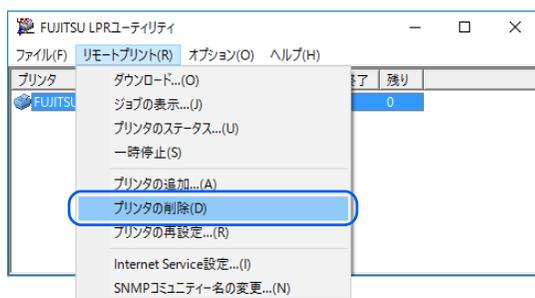
一時停止を解除します。

「状態」は「送信中」になり、「リモートプリント」メニュー→「一時停止」のチェックが外れます。

登録プリンタの削除

「FUJITSU LPR ユーティリティ」に登録したプリンタを削除します。

- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「リモートプリント」メニュー→「プリンタの削除」の順にクリックします。



- 3 確認メッセージのウィンドウで、「はい」をクリックします。
メインウィンドウからプリンタが削除されます。

ジョブの自動転送

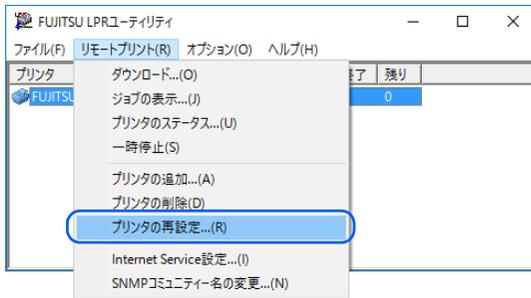
プリンタが使用中、オフライン、用紙切れなどで印刷できない場合、印刷ジョブを同機種別のプリンタへ転送できます。

なお、別のプリンタへ転送する場合は、転送先のプリンタを「プリンタの登録」(→ P.105)の手順で事前に登録しておいてください。

重要

- ・ 機種異なるプリンタへの転送はできません。

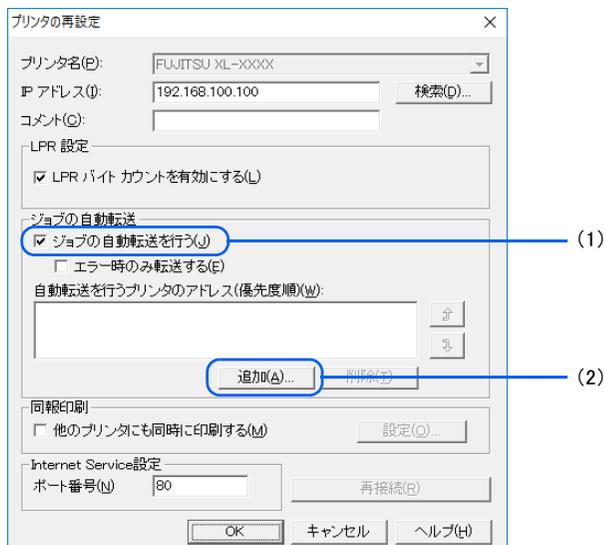
- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「リモートプリント」メニュー→「プリンタの再設定」の順にクリックします。



- 3 「詳細設定」をクリックします。



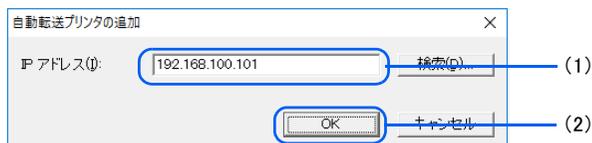
4 (1)「ジョブの自動転送を行う」を☑にして、(2)「追加」をクリックします。



POINT

- ・「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。

5 (1) 転送先のプリンタの IP アドレスを入力し、(2)「OK」をクリックします。



「プリンタの再設定」ウィンドウに戻ります。

6 「OK」をクリックします。

自動転送先のプリンタが登録されます。

同報印刷

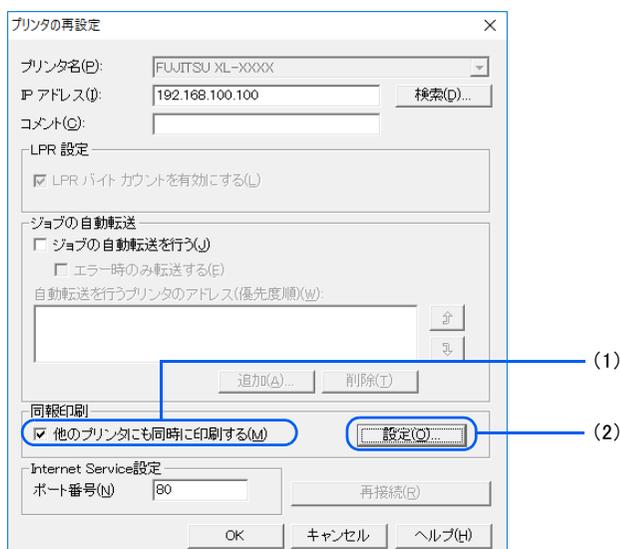
複数台のプリンタに、同じ印刷ジョブを同時に送信できます。

なお、同報印刷を行う場合は、同報先のプリンタを「プリンタの登録」(→ P.105)の手順で事前に登録しておいてください。

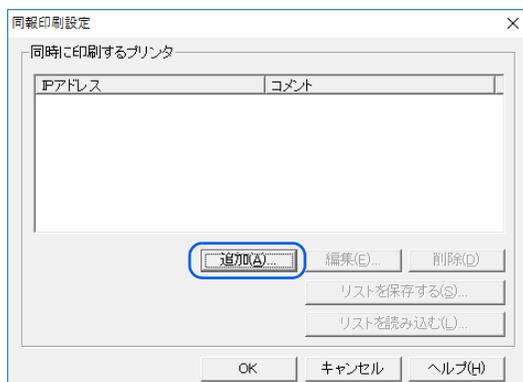
重要

- ・ 機種異なるプリンタへの同報印刷はできません。

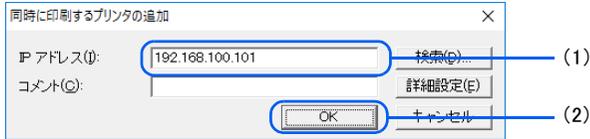
- 1 「ジョブの自動転送」(→ P.112)の手順 1～3 を行います。
- 2 (1) 「他のプリンタにも同時に印刷する」を にして、(2) 「設定」をクリックします。



- 3 「追加」をクリックします。



4 (1) 同報先のプリンタの IP アドレスを入力し、(2)「OK」をクリックします。



POINT

- ・「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。
- 「同報印刷設定」ウィンドウに戻ります。

5 「OK」をクリックします。

メインウィンドウに、同報印刷のプリンタが表示されます。



Internet Service 設定

「FUJITSU LPR ユーティリティ」から、「FUJITSU Printer Internet Service」を起動できます。「FUJITSU Printer Internet Service」については、「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」(→ P.121) をご覧ください。

1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。

2 「リモートプリント」メニュー→「Internet Service 設定」の順にクリックします。



プリンタに正しく接続されると、「FUJITSU Printer Internet Service」画面が表示されます。

登録プリンタの再設定

「FUJITSU LPR ユーティリティ」に登録したプリンタの設定を変更します。

- 1 「ジョブの自動転送」(→ P.112) の手順 1～3 を行います。
- 2 必要な項目を設定し直して、「OK」をクリックします。

IP アドレスの自動再設定

プリンタの IP アドレスが自動取得設定 (DHCP 設定) になっている場合、プリンタの電源を入れるたびに IP アドレスが変更になり、パソコン側でもプリンタの IP アドレスを設定し直さなければなりません。「IP アドレスの自動再設定」を設定しておく、プリンタの IP アドレスが変更されても自動的に検索し、パソコン側が自動的に再設定されます。

- 1 メインウィンドウで、プリンタを選択します。
- 2 「オプション」メニュー→「設定」の順にクリックします。
- 3 「自動的に IP アドレスを再設定する」を にして、「OK」をクリックします。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」を削除する

「FUJITSU LPR ユーティリティ」をパソコンから削除する方法を説明します。

POINT

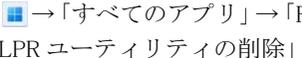
- ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」のインストール先のフォルダーやスプール先のフォルダーに、インストール後に追加したファイルが存在すると、フォルダーを削除できません。あらかじめ、余分なファイルを削除してから「FUJITSU LPR ユーティリティの削除」を行ってください。

1 画面右下にある通知領域から「FUJITSU LPR ユーティリティ」のアイコンを右クリックして、「終了」をクリックします。

アイコンが表示されていない場合は、次の手順に進みます。

2 次の操作を行います。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「FUJITSU」 → 「FUJITSU LPR ユーティリティ」 → 「FUJITSU LPR ユーティリティの削除」の順にクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「FUJITSU」 → 「FUJITSU LPR ユーティリティ」 → 「FUJITSU LPR ユーティリティの削除」の順にクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. スタート画面左下の  をクリックします。
2. 「FUJITSU」の「FUJITSU LPR ユーティリティ」の「FUJITSU LPR ユーティリティの削除」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「FUJITSU」の「FUJITSU LPR ユーティリティ」の「FUJITSU LPR ユーティリティの削除」をクリックします。

3 確認のウィンドウで「はい」をクリックします。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」が削除されます。

2 プリンタ情報の管理 (NetworkExtension)

ネットワークに接続された本製品の情報を表示し、設定に反映するには「Network Extension」を使用します。

ここでは、「Network Extension」のインストール方法、機能、削除（アンインストール）方法について説明します。

「Network Extension」をインストールする

POINT

- ・「プリンタユーティリティセットアップ」でインストールする（→ P.20）の手順でプリンタドライバをインストールした場合、「Network Extension」はインストールされています。この手順でインストールする必要はありません。

- 1 ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- ・「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- ・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

- 2 メニューから「Network Extension」をクリックします。



以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

- 3 インストール完了のウィンドウで「完了」をクリックします。

以上で「Network Extension」のインストールは完了です。

「Network Extension」の機能

「Network Extension」をインストールすることで、追加される機能について説明します。

「デバイスオプション」タブ

「Network Extension」をインストールすることにより、プリンタの「プロパティ」ウィンドウに「デバイスオプション」タブが追加されます。「デバイスオプション」タブ画面では、取り付けたいオプションの設定を行ったり、プリンタ情報を取得したりできます。



「デバイスオプション」タブについては、「「デバイスオプション」タブの設定項目」(→ P.90)をご覧ください。

「Network Extension」を削除する

「Network Extension」をパソコンから削除する方法を説明します。

1 管理者権限をもったユーザーでログオンします。

2 「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。

3 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

4 「FUJITSU Network Extension」を選択し、画面の指示に従って削除します。

以上で「Network Extension」の削除は完了です。

7

第 7 章

Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)

この章では、プリンタに搭載されている Web サーバ機能（「FUJITSU Printer Internet Service」）の使い方について説明します。「FUJITSU Printer Internet Service」を使用すると、ネットワークに接続された XL シリーズプリンタの状態監視や環境設定などを、Web ブラウザから行うことができます。

1	Web サーバ機能の概要	122
2	Web サーバ機能の操作方法	123
3	「FUJITSU Printer Internet Service」のカテゴリ選択画面	136
4	「装置情報」カテゴリの詳細	137
5	「プリンタメニュー」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細	147
6	「管理者設定」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細	151
7	「ジョブリスト」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細	185
8	「リンク」カテゴリの詳細	187

1 Web サーバ機能の概要

プリンタに搭載されている Web サーバ機能を「FUJITSU Printer Internet Service」と呼びます。

ここでは、「FUJITSU Printer Internet Service」を利用するための動作環境などについて説明します。

「FUJITSU Printer Internet Service」とは

「FUJITSU Printer Internet Service」は、インターネットや LAN (TCP/IP) に接続された XL シリーズプリンタの状態を参照、印刷したり、プリンタのネットワークに関する設定を変更したりするためのコンテンツです。

「FUJITSU Printer Internet Service」は、プリンタに Web サーバ機能として搭載されているため、Web ブラウザがインストールされたパソコンであれば、専用のソフトウェアをインストールすることなく使用できます。

動作環境

「FUJITSU Printer Internet Service」は、「Internet Explorer 9.0」以上で動作します。

なお、Web ブラウザの次の機能を使用可能にしておいてください（詳しくは、Web ブラウザのヘルプなどをご覧ください）。

- ・ JavaScript（必須）
ステータス表示の自動更新や設定時の処理に JavaScript を使用しているため、JavaScript を無効にしていると正しく動作しません。
- ・ スタイルシート（推奨）
スタイルシートが使用できない場合でも、「FUJITSU Printer Internet Service」の機能には差し支えありませんが、表示が見にくくなる場合があります。
- ・ Cookie の使用（任意）
Cookie が使用可能な場合は、ユーザー（Web ブラウザ）ごとにステータス表示の自動更新に関する設定を行うことができます。Cookie を使用したくない場合は、プリンタ側に設定された初期設定で動作するようにも設定できます。

2 Web サーバ機能の操作方法

「FUJITSU Printer Internet Service」の表示方法や基本的な操作方法について説明します。

使用前の準備

「FUJITSU Printer Internet Service」を使用する前に、次の点をご確認ください。

- ・ **プリンタの IP アドレスの設定は済んでいますか**

「FUJITSU Printer Internet Service」を使用するには、プリンタの IP アドレスを設定しておく必要があります。IP アドレスが未設定の場合は、「IP アドレスを設定する」(→ P.18) をご覧になり、プリンタの IP アドレスを設定してください。

- ・ **プリンタ本体の電源が入っており、LAN に接続されていますか**

プリンタ本体の電源が入っていること、LAN に接続されていることを確認してください。

プリンタ本体の電源の入れ方、LAN との接続方法については、『ハードウェアガイド』の「プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

「FUJITSU Printer Internet Service」画面を起動する

「FUJITSU Printer Internet Service」画面 (→ P.125) は、Web ブラウザで「FUJITSU Printer Internet Service」の URL を指定して起動する方法、プリンタアイコンから起動する方法、および「FUJITSU LPR ユーティリティ」から起動する方法があります。

Web ブラウザで直接表示する

Web ブラウザを起動し、アドレス欄に次のいずれかの URL を入力して【Enter】キーを押します。

- ・ DNS サーバで登録した名前を指定する

「http://」の後に、DNS サーバで設定したホスト名+ドメイン名を指定します。

例：http://xlprn.xxx.fujitsu.com (ホスト名：xlprn、ドメイン名：xxx.fujitsu.com の場合)

- ・ IP アドレスで指定する

「http://」の後に、直接プリンタの IP アドレスを指定します。

-IPv4 の例 (プリンタの IPv4 アドレスが 192.168.100.100 の場合)

http://192.168.100.100

-IPv6 の例 (プリンタの IPv6 アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合)

http://[fe80::0280:87ff:fe9b:1234]

重要

IP アドレスの指定方法

- IPv4 の場合
IP アドレスに 1 桁または 2 桁の数値が含まれる場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
例：プリンタの IP アドレスが 192.168.0.11 の場合
正しい入力例：http://192.168.0.11
誤った入力例：http://192.168.000.011
- IPv6 の場合
IPv6 アドレスでは、「0000」の部分（下線付で示している部分）を、次のように省略して指定できます。
例：プリンタの IP アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合
 - 連続する「0000」を省略し、区切り文字のコロン (:) の連続表記で示す（ただし、アドレス内で 1 回のみ）
http://[fe80::0280:87ff:fe9b:1234]
 - 「0000」を省略し、0 で示す
http://[fe80:0:0:0:0280:87ff:fe9b:1234]

「FUJITSU LPR ユーティリティ」から起動する

「FUJITSU LPR ユーティリティ」がインストールされていれば、「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメニューから起動できます。

詳しくは、「Internet Service 設定」（→ P.115）をご覧ください。

「FUJITSU Printer Internet Service」画面の構成

プリンタに正しく接続されると、次のような画面が表示されます。

The screenshot shows the FUJITSU Printer Internet Service interface for an XL-4405 printer. The interface is divided into several sections:

- 1** Title bar: FUJITSU logo and printer model (XL-4405).
- 2** Category menu: 装置情報 | リンク
- 3** Sub-menu: 装置情報
- 4** Main menu item: 装置情報
- 5** Sub-menu items: ステータス, 給紙回数, 消耗品情報, ネットワーク, システム情報
- 6** Administrator mode button: 管理者モード
- 7** Status overview section: オンライン, ステータス更新, トナー残量 (100%), ドラム使用量 (0%)

The main content area displays the following information:

プリンタ情報		印刷サービス		状態
プリンタ名	XL-4405-914B29	LPR		●
IPv4アドレス		RAW		●
IPv6アドレス		IPP		●
リンクローカルアドレス		設定サービス		状態
グローバルアドレス		SNMP		●
MAGアドレス		Web		●
設置場所				
装置号欄	LD8Z08271			
プリンタ管理番号				
管理者の連絡先				
給紙トレイ	A4			
カセット1	A4			
カセット2	A4			
両面印刷	実装			
RAM情報	128MB			
装置寿命カウント	0%			
バージョン情報				
ファームウェア	F01.10_0_4			
CU F/W	F1.10			
PU F/W	00F1.01			
Network	F0.03			
Internet Service	F0.13			

FUJITSU LIMITED

1 タイトル

タイトルロゴ、プリンタモデル名が表示されます。

2 カテゴリメニューエリア

利用できるカテゴリが表示されるエリアです。

3 メニューエリア

利用できるカテゴリとメニューが表示されるエリアです。各カテゴリをクリックすると、該当するカテゴリのメニューが表示されます。

4 カテゴリ

ユーザーモードと管理者モードで、表示される項目が一部変わります。

カテゴリについては、「「FUJITSU Printer Internet Service」のカテゴリ選択画面」(→ P.136)をご覧ください。

5 メニュー

メニューやサブメニューをクリックすると、「情報表示エリア」に情報や設定項目が表示されます。

ユーザーモードと管理者モードで、表示される項目が一部変わります。

6 管理者モード切り替えボタン

ユーザーモード画面のときに表示され、ユーザーモードから管理者モードへ切り替えるときにクリックします。ユーザーモードと管理者モード、およびモードの切り替え方法については、「管理者モードとユーザーモードの切り替え」(→P.126)をご覧ください。

7 情報表示エリア

メニューエリアで「メニュー」「サブメニュー」をクリックすると、情報や設定項目が表示されます。

が表示されている項目は、クリックすると、ヘルプで詳しい説明を参照できます。

「FUJITSU Printer Internet Service」で設定可能な項目と、各項目の初期値については、「FUJITSU Printer Internet Service」で設定できる項目と初期値」(→P.130)をご覧ください。

管理者モードとユーザーモードの切り替え

「FUJITSU Printer Internet Service」には、ユーザーモードと管理者モードの2種類のモードがあります。モードにより、表示されるカテゴリメニューが異なります。

- ・ユーザーモードでは、「装置情報」「リンク」の2種類のカテゴリが表示され、各カテゴリの情報を参照できます。
- ・管理者モードでは、「装置情報」「プリンタメニュー」「管理者設定」「ジョブリスト」「リンク」の5種類のカテゴリが表示され、各カテゴリの情報や設定を、参照、変更できます。

管理者モードに切り替える

1 ユーザーモード画面の「管理者モード」をクリックします。



ユーザー名とパスワードの入力ウィンドウが表示されます。

2 (1) ユーザー名とパスワードを入力して、(2) 「OK」をクリックします。

項目名	説明
ユーザー名	「xladmin」固定です。
パスワード	初期値は「FujitsuPrinter」です。 パスワードの変更については、「管理設定」カテゴリの「機器管理」の「パスワード変更メニュー」(→P.184)をご覧ください。

プリンタのセットアップ画面に切り替わります。

3 (1) ~ (4) の設定したい項目を入力し、(5) 「OK」をクリックします。

設定をしない場合は、(6) 「スキップ」をクリックします。後からでも設定できます。

項目名	説明
プリンタ名	プリンタ名を半角英数字 31 文字以内で設定します。
設置場所	設置場所を半角英数字 255 文字以内で設定します。
プリンタ管理番号	プリンタ管理番号を半角英数字 32 文字以内で設定します。
管理者の連絡先	管理者の連絡先を半角英数字 255 文字以内で設定します。

管理者モード画面に切り替わります。

The screenshot displays the 'FUJITSU Printer Internet Service' interface for the 'XL-4405' printer. The page is divided into several sections:

- Header:** 'FUJITSU' logo and 'FUJITSU Printer Internet Service' title.
- Navigation:** '装置情報 | プリンタメニュー | 管理者設定 | ジョブリスト | リンク'.
- Left Sidebar:** '装置情報' (Device Information) menu with sub-items: 'ステータス' (Status), '給紙回数' (Paper Count), '消耗品情報' (Consumables), '印刷集計' (Print Summary), 'ネットワーク' (Network), and 'システム情報' (System Information).
- Main Content:**
 - Online Status:** 'オンライン' (Online) with buttons for 'ステータス更新' (Update Status) and 'ステータスウィンドウ' (Status Window). It also shows 'トナー残量' (Toner Level) at 100% and 'フラム使用量' (Fram Usage) at 0%.
 - プリンタ情報 (Printer Information):**

プリンタ名	XL-4405-914B29
IPv4アドレス	
IPv6アドレス	
MACアドレス	
設置場所	
装置号機	LD8Z08271
プリンタ管理番号	
管理者の連絡先	
給紙トレイ	A4
カセット1	A4
カセット2	A4
両面印刷	実装
RAM情報	128MB
装置寿命カウンタ	0%
 - 印刷サービス (Print Services):**

サービス	状態
LPR	●
RAW	●
IPP	●
 - 設定サービス (Configuration Services):**

サービス	状態
SNMP	●
Web	●
 - バージョン情報 (Version Information):**

ファームウェア	F01.10_0_4
CU F/W	F1.10
PU F/W	00F1.01
Network	F0.03
Internet Service	F0.13
- Footer:** 'FUJITSU LIMITED'.

ユーザーモードに切り替える

「ユーザーモード」に切り替えるには、Webブラウザを終了し、再度「FUJITSU Printer Internet Service」画面を起動してください。「FUJITSU Printer Internet Service」画面の起動方法については、「「FUJITSU Printer Internet Service」画面を起動する」(→ P.123)をご覧ください。

情報の参照や設定の変更

各カテゴリにおいて、画面左側の「メニューエリア」でメニュー項目をクリックすると、画面右側の「情報表示エリア」に情報や設定項目が表示されます。管理者モードの場合は、必要に応じて設定を変更できます。

設定の変更（管理者モードのみ）

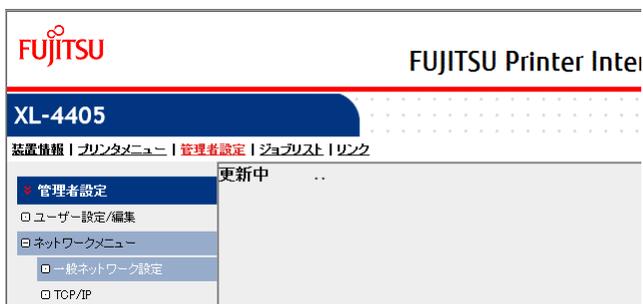
1 設定を変更したら、「送信」をクリックします。

「送信」をクリックする前に「キャンセル」をクリックすると、変更前の状態に戻ります。

重要

- ・ 設定を変更したページで「送信」をクリックせずに、他のカテゴリやメニューをクリックすると、入力した値は設定されることなく削除されます。他のカテゴリやメニューをクリックする前に、必ず「送信」をクリックして設定を更新してください。

設定を更新するためにプリンタが再起動され、次のメッセージが表示されます。プリンタが復帰するまで、しばらく待ちます。



「FUJITSU Printer Internet Service」で設定できる項目と初期値

「FUJITSU Printer Internet Service」で設定できる項目と、各項目の初期値は次のとおりです。
なお、設定を変更できるのは、管理者モードのみです。

「プリンタメニュー」カテゴリ

■一般プリンタ設定

設定できる項目		初期値	参照先
一般プリンタ設定	プリンタ名	プリンタ名	「一般プリンタ設定」 (→ P.147)
	設置場所	設定なし	
	プリンタ管理番号	設定なし	
	管理者の連絡先	設定なし	

■用紙メニュー

設定できる項目		初期値	参照先	
用紙メニュー	給紙トレイ	用紙サイズ	A4	「用紙メニュー」(→ P.148)
		用紙種類	普通紙	
	カセット 1	用紙サイズ	A4	
		用紙種類	普通紙	
	カセット 2	用紙サイズ	A4	
		用紙種類	普通紙	
印刷に関する設定	両面最終ページ	白紙スキップ		

■ システム構成メニュー

設定できる項目		初期値	参照先
パワーセーブに関する設定	パワーセーブ移行時間	1分	「システム構成メニュー」(→P.149)
	スリープ移行時間	1分	
	オートパワーオフ移行時間	4時間	
エラーに関する設定	ジャムリカバリ	有効	
タイムアウトに関する設定	タイムアウト印刷	40秒	
	ポート開放 ローカル	40	
	ポート開放 ネットワーク	90	
印刷位置補正	給紙トレイ X(横) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	給紙トレイ Y(縦) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	給紙トレイ両面印刷 X(横) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	給紙トレイ両面印刷 Y(縦) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	カセット 1X(横) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	カセット 1Y(縦) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	カセット 1 両面印刷 X(横) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	カセット 1 両面印刷 Y(縦) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	カセット 2X(横) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	カセット 2Y(縦) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	カセット 2 両面印刷 X(横) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	カセット 2 両面印刷 Y(縦) 補正	0.00 (ミリメートル)	
	印刷品質	普通紙黒セッティング	0
印刷濃度		0	
SMR 設定		0	
BG 設定		0	
多湿制御		無効	
静音制御		無効	
HEX ダンプ	HEX ダンプ	オフ	

「管理者設定」カテゴリ

■ ユーザー設定 / 編集

設定できる項目		初期値	参照先
ユーザー管理	ユーザー登録	ユーザー名	「ユーザー設定 / 編集」 (→ P.152)
		パスワード	
		パスワードの再入力	

■ ネットワークメニュー

設定できる項目		初期値	参照先	
一般ネットワーク設定				
ハブとの接続	ギガビットネットワーク	無効	「一般ネットワーク設定」(→ P.154)	
	ハブとの接続の設定	自動		
ARP フィルタリング	ARP フィルタリング	有効		
TCP/IP				
設定変更	ステップ 1 : IP アドレスの取得方法を選択してください。	IP アドレスを自動で取得します。(DHCP)	オン	「TCP/IP」(→ P.155)
		IP アドレスを自動で取得します。(BOOTP)	オフ	
		IPv4 アドレスを手動で設定します。	オフ	
	IPv4 アドレスの設定	IPv4 アドレス	設定なし	
		サブネットマスク	設定なし	
		ゲートウェイ	設定なし	
	ステップ 2 : その他の TCP/IP 設定 (DNS など)	その他の TCP/IP 設定の変更	—	
その他の TCP/IP 設定の変更	DNS サーバアドレス (プライマリ)	設定なし		
	DNS サーバアドレス (セカンダリ)	設定なし		

設定できる項目		初期値	参照先
Email			
アラート設定			
Email 送信設定	SMTP 送信	無効	「アラート設定」(→ P.157)
	SMTP サーバ	設定なし	
SMTP セキュリティ 設定	SMTP 認証	無効	
	SMTP ユーザー ID	設定なし	
	SMTP パスワード	設定なし	
	SMTP 送信暗号化方式	無効	
	SMTP 番号	25	
付加情報設定	プリンタモデル	オン	
	ネットワークインターフェース	オン	
	装置号機	オン	
	プリンタ管理番号	オフ	
	プリンタ名	オフ	
	設置場所	オフ	
	IP アドレス	オン	
	MAC アドレス	オフ	
	プリンタ URL	オフ	
コメント	設定なし		
その他	送信先 Email アドレス	設定なし	
障害通知設定	アドレス 1～5	設定なし	
	障害通知設定	障害通知方法	設定なし
	定期的な通知の 設定	メール通知間隔	24 (時間)
		障害通知条件設 定	「障害情報」画面で 確認できます。確 認方法については、 「障害通知の設定を アドレスごとに確 認する/比較する」 (→ P.167) をご覧 ください。
	障害発生時の通 知の設定	障害通知条件設 定	
	詳細設定	発信までの遅延	0 (時間) 0 (分)
SNMP			
設定			
SNMP Read コミュニ ティの変更	新しい SNMP Read コミュニティ	public	「設定」(→ P.168)
	新しい SNMP Read コミュニティの再 入力		
SNMP Write コミュニ ティの変更	新しい SNMP Write コミュニティ	public	
	新しい SNMP Write コミュニティの 再入力		
Trap			
プリンタ Trap 設定	プリンタ Trap コミュニティ名設定	public	「Trap」(→ P.169)
	プリンタ Trap アドレス設定 1～5	設定なし	
	プリンタ Trap 送信条件設定	設定なし	

設定できる項目		初期値	参照先	
IPP				
設定				
IPP 設定	IPP	有効	「設定」(→ P.170)	
	管理者からの連絡事項	設定なし		
認証				
セキュリティ設定	アクセス制御	無効	「認証」(→ P.171)	
認証の設定	認証	None		
	デフォルトユーザー	無効		
	デフォルトユーザー名	設定なし		
デフォルトユーザーパスワード変更	新しいデフォルトユーザーパスワード	設定なし		
	新しいデフォルトユーザーパスワードの再入力	設定なし		
セキュリティ				
プロトコル ON/OFF				
サービス	Web サービス (ポート番号: 80)	有効	「プロトコル ON/OFF」(→ P.173)	
	IPP サービス (ポート番号: 631)	有効		
	SNMP サービス	有効		
ポート番号	Web	80		
	SMTP	25		
IP フィルタリング				
IP フィルタリング	IP フィルタリング		無効	「IP フィルタリング」(→ P.174)
	IP アドレスの範囲 1 ~ 10	開始アドレス	設定なし	
		終了アドレス	設定なし	
	登録する管理者の IP アドレス		設定なし	
メンテナンス				
再起動 / 初期化				
ネットワークの再起動	プリンタのネットワークを再起動します。	オフ	「再起動 / 初期化」(→ P.180)	
ネットワークの初期化	ネットワークの設定を再初期化します。	オフ		
ネットワークの規模				
ネットワークの規模の設定	ネットワークの規模	普通	「ネットワークの規模」(→ P.180)	

■ 印刷メニュー

設定できる項目		初期値	参照先
プリンタ構成メニュー	エミュレーション	自動	「印刷メニュー」(→ P.181)
印刷に関する設定	コピー枚数	1	
	両面印刷	無効	
用紙に関する設定	用紙長さチェック	有効	
	A4/ レター 置き換え	はい	

■ 機器管理

設定できる項目		初期値	参照先
パネルメニュー			
パネルメニュー	ニアライフ時のステータス	有効	「パネルメニュー」(→ P.182)
	ニアライフ時のLED	有効	
電力メニュー			
パワーセーブ設定	オートパワーオフ	自動設定	「電力メニュー」(→ P.182)
	電源復旧時の電力供給	手動	
トレイメニュー			
トレイメニュー	表示単位	mm	「トレイメニュー」(→ P.183)
	デフォルト用紙サイズ	A4	
フォント設定			
フォント設定	フォント出力モード	JIS2004 字体	「フォント設定」(→ P.183)
ジョブキャンセル設定			
ジョブキャンセル設定	キャンセルボタンの動作	短い	「ジョブキャンセル設定」(→ P.183)
	問い合わせの表示	オン	
	フォーカスの位置	はい	
	表示タイムアウト	180	
パスワード変更メニュー			
管理者パスワード変更	新しい管理者パスワード	設定なし	「パスワード変更メニュー」(→ P.184)
	新しい管理者パスワードの再入力	設定なし	
設定値			
設定値	出荷時に戻す	—	「設定値」(→ P.184)
USB メニュー			
USB メニュー	スピード	480Mbps	「USB メニュー」(→ P.184)
	ソフトリセット	無効	
	シリアル番号	有効	

「リンク」カテゴリ

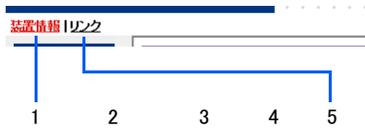
■ リンク編集メニュー

設定できる項目		初期値	参照先
サポートリンク	ドライバ、ファームウェアダウンロードサービス	https://www.fimworld.net/biz/fimv/index_down.html	「リンク編集メニュー (管理者モードのみ)」(→ P.188)
	富士通製品情報	https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/	
	富士通	https://global.fujitsu/ja-jp	
その他のリンク	その他のリンク 1～5	タイトル	設定なし
		URL	設定なし

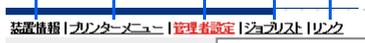
3 「FUJITSU Printer Internet Service」 のカテゴリ選択画面

「FUJITSU Printer Internet Service」の各カテゴリについて説明します。
画面左上側の「カテゴリメニューエリア」で「カテゴリ」をクリックすると、その下に利用できる「メニュー」が表示されます。
カテゴリの種類は次のとおりです。

■ ユーザーモードの場合



■ 管理者モードの場合



1 「装置情報」カテゴリ

プリンタ情報、ネットワーク情報などを確認できます。
詳しくは、「装置情報」カテゴリの詳細（→ P.137）をご覧ください。

2 「プリンタメニュー」カテゴリ（管理者モードのみ）

プリンタと印刷に関する設定ができます。
詳しくは、「プリンタメニュー」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細（→ P.147）をご覧ください。

3 「管理者設定」カテゴリ（管理者モードのみ）

プリンタのネットワークに関する設定や、機器管理の設定などができます。
詳しくは、「管理者設定」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細（→ P.151）をご覧ください。

4 「ジョブリスト」カテゴリ（管理者モードのみ）

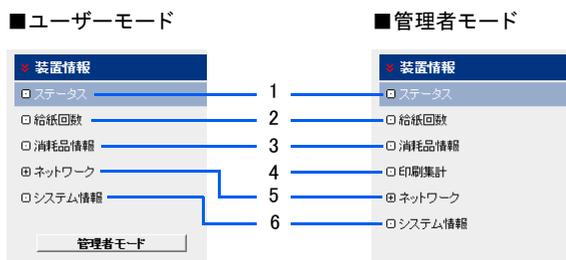
印刷ジョブの状態を確認したり、削除したりできます。
詳しくは、「ジョブリスト」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細（→ P.185）をご覧ください。

5 「リンク」カテゴリ

プリンタのサポート情報などへのリンクが表示されます。管理者モードでは、リンク先を設定できます。
詳しくは、「リンク」カテゴリの詳細（→ P.187）をご覧ください。

4 「装置情報」カテゴリの詳細

「装置情報」カテゴリでは、プリンタの状態、プリンタ情報、ネットワーク情報を確認できます。



1 ステータス

クリックすると、「ステータス」画面が表示されます。
詳しくは、「ステータス」(→ P.138)をご覧ください。

2 給紙回数

クリックすると、「給紙回数」画面が表示されます。
詳しくは、「給紙回数」(→ P.141)をご覧ください。

3 消耗品情報

クリックすると、「消耗品情報」画面が表示されます。
詳しくは、「消耗品情報」(→ P.141)をご覧ください。

4 印刷集計 (管理者モードのみ)

クリックすると、「印刷集計」画面が表示されます。
詳しくは、「印刷集計 (管理者モードのみ)」(→ P.141)をご覧ください。

5 ネットワーク

クリックすると、「ネットワーク」画面が表示されます。
詳しくは、「ネットワーク (ユーザーモード)」(→ P.142)、「ネットワーク (管理者モード)」(→ P.143)をご覧ください。

6 システム情報

クリックすると、「システム情報」画面が表示されます。
詳しくは、「システム情報」(→ P.146)をご覧ください。

ステータス

「ステータス」画面では、プリンタの状態や、プリンタの一般情報、ネットワーク情報などを確認できます。



1 ステータス更新ボタン

クリックすると、「ステータス」カテゴリのプリンタの状態表示内容が更新されます。

2 オペレータパネルウィンドウ

プリンタの、オペレータパネルの内容が表示されます。

3 ステータスウィンドウボタン（管理者モードのみ）

クリックすると、「ステータスウィンドウ」が表示されます。「ステータスウィンドウ」については、「ステータスウィンドウ」（→ P.140）をご覧ください。

4 トナー残量

トナー残量が表示されます。

5 ドラム使用量

ドラム使用量が表示されます。

6 プリンタ情報

次の情報が表示されます。

項目	説明
プリンタ名	プリンタ名が表示されます。 「プリンタメニュー」カテゴリの「一般プリンタ設定」(→P.147)で設定を変更できます。
IPv4 アドレス	IPv4 アドレスが表示されます。 「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「TCP/IP」(→P.155)で設定を変更できます。
IPv6 アドレス	IPv6 アドレスが表示されます。手動での設定はできません。
MAC アドレス	MAC アドレスが表示されます。
設置場所	設置場所が表示されます。 「プリンタメニュー」カテゴリの「一般プリンタ設定」(→P.147)で設定を変更できます。
装置号機	装置号機が表示されます。
プリンタ管理番号	プリンタの管理番号が表示されます。 「プリンタメニュー」カテゴリの「一般プリンタ設定」(→P.147)で設定を変更できます。
管理者の連絡先	管理者の連絡先が表示されます。 「プリンタメニュー」カテゴリの「一般プリンタ設定」(→P.147)で設定を変更できます。
給紙トレイ	給紙トレイの用紙サイズが表示されます。
カセット 1	カセット 1 の用紙サイズが表示されます。
カセット 2	オプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているとき、カセット 2 の用紙サイズが表示されます。
両面印刷	両面印刷機能の実装状況が表示されます。
RAM 情報	プリンタに搭載されている、すべてのメモリ容量が表示されます。
装置寿命カウント	装置の使用状況が表示されます。

7 バージョン情報

プリンタに組み込まれているファームウェアなどのバージョン情報が表示されます。

項目	説明
ファームウェア	ファームウェアの版数が表示されます。
CU F/W	CU ファームウェアの版数が表示されます。
PU F/W	PU ファームウェアの版数が表示されます。
Network	ネットワークファームウェアの版数が表示されます。
Internet Service	「FUJITSU Printer Internet Service」の版数が表示されます。

8 印刷サービス

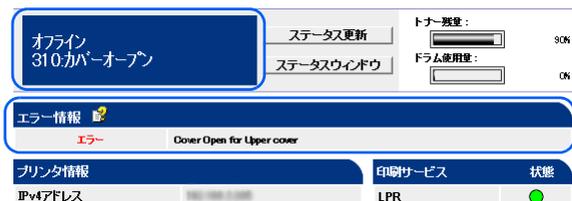
各印刷サービスの状態が表示されます。ランプ点灯（緑色）のときに、サービスを使用できます。

9 設定サービス

各設定サービスの状態が表示されます。ランプ点灯（緑色）のときに、サービスを使用できます。

POINT

- 本製品でエラーが発生しているときは、「オペレータパネルウィンドウ」(→ P.138) 内と、「プリンタ情報」(→ P.139) の上に「エラー情報」が表示されます。



表示される内容については、「エラー情報」(→ P.213) をご覧ください。

ステータスウィンドウ

「ステータスウィンドウ」には、プリンタの状態が表示されます。



1 プリンタ情報

プリンタについて、次の内容が表示されます。

項目	説明
IP アドレス	IP アドレスが表示されます。
設置場所	設置場所が表示されます。
管理番号	プリンタの管理番号が表示されます。

2 オンラインランプ

オペレータパネルのオンラインランプと同様に表示され、右側にデータの処理状況が表示されます。

ランプの状態	説明
点灯時	データを受信できる状態です。
点滅時	受信したデータを処理しています。
消灯時	データを受信できない状態またはデータ受信待ちの状態です。

3 ステータス更新ボタン

クリックすると、表示されている情報が最新の状態に更新されます。

4 エラーランプ

オペレータパネルのエラーランプと同様に表示され、右側にエラー状況が表示されます。

ランプの状態	説明
点灯時	ワーニングが発生しました。印刷はできます。
点滅時	エラーが発生しました。印刷はできません。
消灯時	エラーは発生していません。

給紙回数

「給紙回数」画面では、ネットワーク上にあるプリンタの給紙回数を確認できます。

給紙回数	
総印刷ページ数	197
カセット1給紙回数	179
カセット2給紙回数	1
給紙トレイ給紙回数	1

項目	説明
総印刷ページ数	印刷した総ページ数が表示されます。
カセット1 給紙回数	カセット1 給紙回数が表示されます。
カセット2 給紙回数	カセット2 給紙回数が表示されます。
給紙トレイ給紙回数	給紙トレイ給紙回数が表示されます。

消耗品情報

「消耗品情報」画面では、消耗品に関する詳細な情報を確認できます。

消耗品情報	
トナー残量	
	
90% (カートリッジタイプ: 2.0K)	
ドラム使用量	
	
0%	

項目	説明
トナー残量	トナー残量が表示されます。
ドラム使用量	ドラム使用量が表示されます。

印刷集計 (管理者モードのみ)

印刷修正結果が表示されます。

印刷集計結果	
2016/05/19 14:48	
装置機種ID: ----- プリンタ管理番号:	
用紙: 印刷枚数	
トータルカウント	
A4:	755
トータル:	755
A4/レター換算	
トータル:	755
消耗品交換回数	
トナー:	1
ドラム:	0

項目	説明
トータルカウント	用紙サイズ別の印刷枚数およびトータルの印刷枚数が表示されます。
A4/レター換算	1枚につき、用紙の長さが356mm以下のものは1枚、899mm以下のものは2枚、899mmより長いものは4枚として印刷枚数をカウントします。両面時は×2となります。
消耗品交換回数	トナーとドラムの交換回数が表示されます。

ネットワーク（ユーザーモード）

「ネットワーク」画面では、プリンタのネットワークに関する情報を確認できます。

The screenshot shows the printer's network settings page. It is divided into three main sections, each highlighted with a blue box and a number:

- 1 一般情報 (General Information):** A table with the following data:

プリンタ名	XL-4405-914B29
MACアドレス	XXXXXXXXXX
Network FW バージョン	F.0.03
Internet Service バージョン	F.0.13
Web言語 バージョン	F.0.13
- 2 TCP/IPステータス (TCP/IP Status):** A table with the following data:

DHCP自動取得	手動
IPv4アドレス	XXXXXXXXXX
サブネットマスク	XXXXXXXXXX
ゲートウェイ	XXXXXXXXXX
DNSサーバ(プライマリ)	XXXXXXXXXX
DNSサーバ(セカンダリ)	XXXXXXXXXX
IPv6 Address :	
リンクローカル アドレス	XXXXXXXXXX
グローバル アドレス	XXXXXXXXXX
- 3 サービス (Services):** A table with the following data:

LPR	有効
RAW	有効
IPP	有効
SNMP	有効
Web	有効

1 一般情報

プリンタのネットワークに関する一般情報が表示されます。

「ネットワーク（管理者モード）」（→ P.143）の「一般情報」（→ P.144）をご覧ください。

2 TCP/IP ステータス

プリンタのTCP/IPに関する設定が表示されます。

「ネットワーク（管理者モード）」（→ P.143）の「TCP/IP ステータス」（→ P.145）をご覧ください。

3 サービス

プリンタのサービスに関する設定が表示されます。

「ネットワーク（管理者モード）」（→ P.143）の「メンテナンス」（→ P.146）をご覧ください。

ネットワーク（管理者モード）

「ネットワーク」画面では、プリンタのネットワークに関する詳細な情報を確認できます。

一般情報	
プリンタ名	XL-4406-914B29
MACアドレス	XXXXXXXXXX
Network FW バージョン	F0.03
Internet Service バージョン	F0.13
ファイル (WE/WJ/DF/LD/LD/CA)	F0.13 / F0.13 / F0.04 / F0.04 / F0.04 / 02.00
Ethernetタイプの設定	自動
Ethernetタイプ状態	OK(100Base-TX Full)
ネットワークステータス：	
プリンタ宛パケット受信数	9172
パケット送信数	9730
パケット受信数	34782
送信エラーパケット数	0
不良パケット受信数	0

1

TCP/IP ステータス	
DHCP自動取得	手動
IPv4アドレス	XXXXXXXXXX
サブネットマスク	XXXXXXXXXX
ゲートウェイ	XXXXXXXXXX
Webアドレス	http://XXXXXXXXXX
	http://XL-XXXXXXXXXX
	http://XXXXXXXXXX
	http://XXXXXXXXXX
Webポート番号	80
DNSサーバ(プライマリ)	0.0.0.0
DNSサーバ(セカンダリ)	0.0.0.0
IPv6アドレス	
リンクローカル アドレス	XXXXXXXXXX
グローバル アドレス	XXXXXXXXXX

2

Emailステータス	
Email送信ステータス：	
SMTP送信	無効
SMTPサーバ	
プリンタEmailアドレス	
送信先Emailアドレス	
SMTPポート番号	25
SMTP送信暗号化方式	None
Email送信先：	
Emailアドレス 1	
Emailアドレス 2	
Emailアドレス 3	
Emailアドレス 4	
Emailアドレス 5	
SMTP認証：	
ユーザーID	
Emailコメント：	

3

SNMPステータス	
SNMPバージョン	SNMPv1
SNMP Trap :	
プリンタTrapコミュニティ名	public

4

IPPステータス	
IPP	有効
IPPを使用して印刷するときは、次のいずれかのURIを使用してください。	
	http://[IPアドレス]:631/ipp
管理者からの連絡事項	
認証	None

5

メンテナンス	
Webサービス (ポート番号: 80)	有効
IPPサービス (ポート番号: 631)	有効
LPRサービス	有効
RAWサービス	有効
SNMPサービス	有効
ネットワークの規模	普通

6

1 一般情報

プリンタのネットワークに関する一般情報が表示されます。

次の表の「ユーザーモード」欄が「○」の項目は、「ネットワーク (ユーザーモード)」(→ P.142) でも表示されます。

項目	説明	ユーザーモード
プリンタ名	プリンタ名が表示されます。 「プリンタメニュー」カテゴリの「一般プリンタ設定」(→ P.147) で設定を変更できます。	○
MAC アドレス	MAC アドレスが表示されます。	○
Network FW バージョン	ネットワークファームウェアの版数が表示されます。	○
Internet Service バージョン	「FUJITSU Printer Internet Service」の版数が表示されます。	○
ファイル (WE/WJ/DF/LD/LO/CA)	各ファイルのバージョンが表示されます。	
Ethernet タイプの設定	Ethernet タイプの設定が表示されます。 「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「一般ネットワーク設定」(→ P.154) で設定を変更できます。	
Ethernet タイプ状態	Ethernet タイプ状態が表示されます。	
ネットワークステータス		
プリンタ宛パケット受信数	プリンタ宛パケット受信数が表示されます。	
パケット送信数	パケット送信数を表示します。	
パケット受信数	パケット受信数を表示します。	
送信エラーパケット数	送信エラーパケット数が表示されます。	
不良パケット受信数	不良パケット受信数が表示されます。	

2 TCP/IP ステータス

「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「TCP/IP」(→P.155)で設定を変更できます。

次の表の「ユーザーモード」欄が「○」の項目は、「ネットワーク (ユーザーモード)」(→P.142)でも表示されます。

項目	説明	ユーザーモード
DHCP 自動取得	DHCP による IP アドレス自動取得の状態が表示されます。 ・有効: IP アドレスを DHCP により取得します。 ・無効: IP アドレスを直接設定します。	○
IPv4 アドレス	IPv4 アドレスが表示されます。	○
サブネットマスク	サブネットマスクが表示されます。	○
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスが表示されます。	○
Web アドレス	Web アドレスが表示されます。	
Web ポート番号	Web ポート番号が表示されます。	
DNS サーバ (プライマリ)	DNS サーバ (プライマリ) が表示されます。	
DNS サーバ (セカンダリ)	DNS サーバ (セカンダリ) が表示されます。	
IPv6 アドレス		
リンクローカルアドレス	リンクローカルアドレスが表示されます。	○
グローバルアドレス	グローバルアドレスが表示されます。	○

3 Email ステータス

プリンタからの Email 送信などに関する情報が表示されます。

「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「Email」(→P.157)で設定を変更できます。

項目	説明
Email 送信ステータス	
SMTP 送信	SMTP 送信の有効/無効が表示されます。
SMTP サーバ	SMTP サーバのホスト名または IP アドレスが表示されます。
プリンタ Email アドレス	送信元 (プリンタ) の Email アドレスが表示されます。
送信先 Email アドレス	送信がエラーになったときの返信アドレスが表示されます。
SMTP ポート番号	SMTP サーバのポート番号が表示されます。
SMTP 送信暗号化方式	SMTP 送信暗号化方式が表示されます。
Email 送信先	
Email アドレス 1~5	Email の送信先が表示されます。
SMTP 認証	
ユーザー ID	ユーザー ID が表示されます。
Email コメント	
Email コメント	Email コメントが表示されます。

4 SNMP ステータス

「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「SNMP」(→P.168)で設定を変更できます。

項目	説明
SNMP バージョン	SNMP バージョンが表示されます。
SNMP Trap	
プリンタ Trap コミュニティ名	プリンタ Trap コミュニティ名が表示されます。

5 IPP ステータス

「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「IPP」(→ P.170) で設定を変更できます。

項目	説明
IPP	IPPの有効/無効が表示されます。
IPPを使用して印刷するときは、次のいずれかのURLを使用してください。	IPP印刷を行う場合のURLが表示されます。
管理者からの連絡事項	管理者からの連絡事項が表示されます。
認証	認証の設定が表示されます。

6 メンテナンス

プリンタのサービスの状態などが表示されます。

項目	説明	ユーザーモード
Web サービス (ポート番号 :80)	Web サービスのポート番号と有効/無効が表示されます。 「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「セキュリティ」の「プロトコル ON/OFF」(→ P.173) で設定を変更できます。	○ (有効/無効のみ)
IPP サービス (ポート番号 :631)	IPP サービスのポート番号と有効/無効が表示されます。 「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「セキュリティ」の「プロトコル ON/OFF」(→ P.173) で設定を変更できます。	○ (有効/無効のみ)
LPR サービス	LPR サービスの有効/無効が表示されます。	○
RAW サービス	RAW サービスの有効/無効が表示されます。	○
SNMP サービス	SNMP サービスの有効/無効が表示されます。 「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「セキュリティ」の「プロトコル ON/OFF」(→ P.173) で設定を変更できます。	○
ネットワークの規模	ネットワークの規模が表示されます。 「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「メンテナンス」の「ネットワークの規模」(→ P.180) で設定を変更できます。	

システム情報

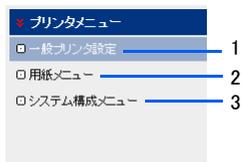
システム情報が表示されます。

システム情報	
装置号機	LD-----
プリンタ管理番号	
ファームウェアバージョン	F00.23_0_4
CU F/W バージョン	F0.23
PU F/W バージョン	00.F0.04
RAM情報	128MB
フラッシュメモリ情報	3215 MB [F65]

項目	説明
装置号機	装置号機が表示されます。
プリンタ管理番号	プリンタ管理番号が表示されます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンが表示されます。
CU F/W バージョン	CU バージョンが表示されます。
PU F/W バージョン	PU バージョンが表示されます。
RAM 情報	RAM 情報が表示されます。
フラッシュメモリ情報	フラッシュメモリ情報が表示されます。

5 「プリンタメニュー」カテゴリ (管理者モードのみ)の詳細

「プリンタメニュー」カテゴリでは、プリンタ、印刷、用紙などの情報を確認、設定できます。



1 一般プリンタ設定

ネットワーク上で確認できる、プリンタの識別情報を設定します。
詳しくは、「一般プリンタ設定」(→P.147)をご覧ください。

2 用紙メニュー

給紙トレイおよびカセット 1～2 の用紙サイズと用紙種類を設定します。
詳しくは、「用紙メニュー」(→P.148)をご覧ください。

3 システム構成メニュー

パワーセーブへの移行時間、エラー発生時の動作タイムアウトなどを設定します。
詳しくは、「システム構成メニュー」(→P.149)をご覧ください。

一般プリンタ設定

「一般プリンタ設定」画面では、プリンタの識別情報を設定できます。

1 一般プリンタ設定

プリンタの識別情報を設定します。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
プリンタ名	プリンタ名を、半角英数字 31 文字以内で設定します。 初期値は、プリンタの機種名 + MAC アドレスの下 6 桁です。
設置場所	設置場所を、半角英数字 255 文字以内で設定します。
プリンタ管理番号	プリンタ管理番号を、半角英数字 32 文字以内で設定します。
管理者の連絡先	管理者の連絡先を、半角英数字 255 文字以内で設定します。

用紙メニュー

「用紙メニュー」画面では、給紙口ごとの用紙サイズや用紙種類、両面最終ページの設定ができます。

カセット	用紙サイズ	用紙種類
給紙トレイ	A4	普通紙
カセット1	A4	普通紙
カセット2	A4	普通紙

印刷に関する設定	
両面最終ページ	白紙スキップ

1 用紙メニュー

給紙口ごとに、用紙サイズと用紙種類を設定できます。「カセット2」は、オプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているとき、表示されます。

設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

2 印刷に関する設定

両面最終ページの動作を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

システム構成メニュー

「システム構成メニュー」画面では、プリンタの動作に関する設定ができます。

The screenshot shows the printer's system configuration menu with the following sections and settings:

- 1 パワーセーブに関する設定**
 - パワーセーブ移行時間: 1分
 - スリープ移行時間: 1分
 - オートパワーオフ移行時間: 4時間
- 2 エラーに関する設定**
 - ジャムリカバリ: オン
- 3 タイムアウトに関する設定**
 - タイムアウト印刷: 40秒
 - ポート開放 ローカル: 40(秒)
 - ポート開放 ネットワーク: 90(秒)
- 4 印刷位置補正**
 - 印刷位置補正: オン
 - 給紙トレイ(機)補正: 0.00 mm
 - 給紙トレイ(籠)補正: 0.00 mm
 - 給紙トレイ(両面印刷機)補正: 0.00 mm
 - 給紙トレイ(両面印刷機)補正: 0.00 mm
 - カセット1(機)補正: 0.00 mm
 - カセット1(籠)補正: 0.00 mm
 - カセット1(両面印刷機)補正: 0.00 mm
 - カセット1(両面印刷機)補正: 0.00 mm
 - カセット2(機)補正: 0.00 mm
 - カセット2(籠)補正: 0.00 mm
 - カセット2(両面印刷機)補正: 0.00 mm
 - カセット2(両面印刷機)補正: 0.00 mm
- 5 印刷品質**
 - 普通紙黒セッティング: 0
 - 印刷濃度: 0
 - SMF設定: 0
 - BC設定: 0
 - 多量制御: オフ
 - 静音制御: オフ
- 6 HEXダンプ**
 - HEXダンプ:
 - ホストPCから受信したデータを16進数に変換して印刷します。Hexダンプモードに移行する場合は、チェックボックスにチェックを入れて、「送信」ボタンを押してください。Hexダンプモードを終了するには電源をOFFしてください。

1 パワーセーブに関する設定

パワーセーブ、スリープ、およびオートパワーオフに移行するまでの時間を設定します。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

2 エラーに関する設定

ジャムリカバリを行うかどうか設定します。「オン」「オフ」から選択できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

「オン」にすると、印刷中に紙詰まりが発生した場合、紙詰まりが発生したページが復旧後に印刷されます。

3 タイムアウトに関する設定

タイムアウトに関する設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
タイムアウト印刷	印刷ジョブの受信中に受信が途絶えた場合に、後続のデータを待つ時間を設定します。 オフ（0 秒）、5 ～ 300（秒）の範囲で設定できます。
ポート開放 ローカル	印刷完了後のローカルポート（USB）の開放時間を設定します。
ポート開放 ネットワーク	印刷完了後の LAN ポートの開放時間を設定します。

4 印刷位置補正

「印刷位置補正」をクリックすると「印刷位置補正」画面が表示されます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

5 印刷品質

印刷品質に関する設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

6 HEX ダンプ

HEX ダンプでは、印刷モードの設定ができます。

プリンタを HEX ダンプモードにする場合に にして、「送信」をクリックします。

HEX ダンプモードを終了するにはプリンタの電源を切ります。HEX ダンプモード時は、受信したデータをすべて 16 進数で印刷します。

6 「管理者設定」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細

「管理者設定」カテゴリでは、ユーザー、ネットワーク、印刷、機器管理に関する設定を確認、変更できます。



1 ユーザー設定 / 編集

IPPでの認証印刷時のユーザーを設定できます。詳しくは、「ユーザー設定 / 編集」(→ P.152)をご覧ください。

2 ネットワークメニュー

ネットワーク上で確認できるプリンタの、識別情報を設定できます。詳しくは、「ネットワークメニュー」(→ P.154)をご覧ください。

3 印刷メニュー

プリンタの印刷に関する設定ができます。詳しくは、「印刷メニュー」(→ P.181)をご覧ください。

4 機器管理

プリンタの電源やUSBなどに関する設定ができます。詳しくは、「機器管理」(→ P.182)をご覧ください。

ユーザー設定 / 編集

「ユーザー設定 / 編集」画面では、IPP での認証印刷時のユーザー名、パスワードおよび印刷（プリント）の有効／無効を設定できます。ユーザーごとのアクセス制御を有効にするには、「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」の「IPP」の「認証」の「セキュリティ設定」（→P.171）において、「アクセス制御」を「有効」にしてください。ユーザー設定のためのボタンとユーザーリストが表示されます。



1 新規作成

(1) 「新規作成」をクリックして「ユーザーの登録」画面を表示させ、(2) ユーザー名およびパスワードを設定し、(3) 「送信」をクリックします。



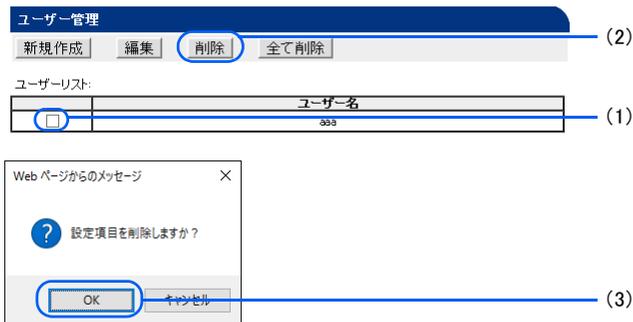
2 編集

(1) 編集したいユーザーを にし、(2) 「編集」をクリックして「ユーザーの登録」画面を表示させ、(3) ユーザー名、パスワードを設定し、(4) 「送信」をクリックします。



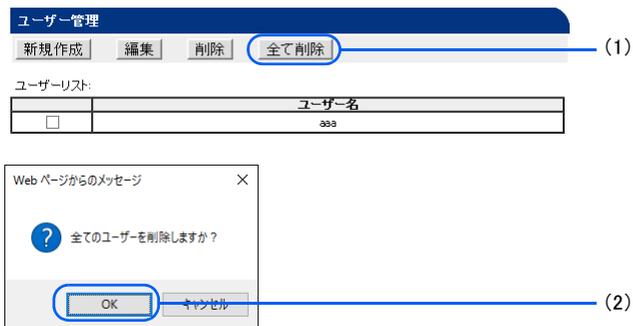
3 削除

(1) 削除したいユーザーを にし、(2) 「削除」をクリックします。確認画面が表示されますので、(3) 「OK」をクリックします。



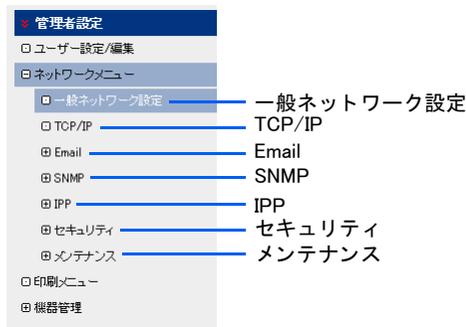
4 全て削除

(1) 「全て削除」をクリックします。確認画面が表示されますので、(2) 「OK」をクリックします。



ネットワークメニュー

ネットワークメニューには、「一般ネットワーク設定」「TCP/IP」「Email」「SNMP」「IPP」「セキュリティ」「メンテナンス」の7つのサブメニューがあります。



一般ネットワーク設定

「一般ネットワーク設定」画面では、Ethernet 接続に関する設定ができます。



1 Ethernet タイプ

Ethernet タイプ状態の確認と接続方法の設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
Ethernet タイプ状態	Ethernet タイプ状態が表示されます。
ギガビットネットワーク	ギガビットネットワークの有効/無効を設定します。
Ethernet タイプの設定	ハブとのリンク方法を設定します。「自動」にすると、すべてのハブに対して接続方法を自動的に選択し、接続を試みます。

2 ARP フィルタリング

ARP フィルタリングの確認と設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
ARP フィルタリング	ARP フィルタリングの有効/無効を設定します。「有効」の場合、ディープスリープ時に不要な ARP パケットをフィルタリングしません。

TCP/IP

「TCP/IP」画面では、TCP/IPに関する設定ができます。

The screenshot shows two sections of the TCP/IP settings page. The top section, titled '現在の設定' (Current Settings), displays fields for IPv4 address, subnet mask, gateway, and IPv6 address. The bottom section, titled '設定変更' (Change Settings), shows step 1 with three radio button options: 'IPアドレスを自動で取得します。(DHCP)', 'IPアドレスを自動で取得します。(BOOTP)', and 'IPv4アドレスを手動で設定します.' (which is selected). Step 2 includes a link to '追加設定その他のTCP/IP設定(DNS)'.

1 現在の設定

現在の TCP/IP に関する設定が表示されます。

各項目については、「装置情報」カテゴリの「ネットワーク」の「TCP/IP ステータス」(→ P.145) をご覧ください。

2 設定変更

IP アドレスなど、TCP/IP に関する設定を行えます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
ステップ 1	IP アドレスの設定方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none">「IP アドレスを自動で取得します。(DHCP)」または「IP アドレスを自動で取得します。(BOOTP)」を <input checked="" type="radio"/> にすると、IP アドレスを自動で取得します。「IPv4 アドレスを手動で設定します。」を <input checked="" type="radio"/> にすると、「IP アドレスの設定」画面が表示されます。設定方法については、「固定 IP アドレスを設定する」(→ P.155) をご覧ください。
ステップ 2	DNS サーバ (プライマリ/セカンダリ) のアドレスを設定する場合は、「(追加設定) その他の TCP/IP 設定」をクリックします。設定方法については、「その他の TCP/IP 設定を変更する」(→ P.156) をご覧ください。

■固定 IP アドレスを設定する

1 「TCP/IP」画面の「IPv4 アドレスを手動で設定します。」を にし、「IPv4 アドレスを手動で設定します。」をクリックします。

This close-up screenshot shows the '設定変更' section with the radio button for 'IPv4 アドレスを手動で設定します.' selected and circled in red. The other options are unselected.

- 2 (1) 「IPv4 アドレスの設定」画面で、IP アドレスなどを入力して、(2) 「OK」をクリックします。

項目	説明
IPv4 アドレス	固定 IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定します。

「TCP/IP」画面に戻ります。

- 3 「TCP/IP」画面で「送信」をクリックします。

固定 IP アドレスが設定されます。

■ その他の TCP/IP 設定を変更する

- 1 「TCP/IP」画面の「(追加設定) その他の TCP/IP 設定」をクリックします。

「その他の TCP/IP 設定の変更」画面が表示されます。

- 2 (1) 必要に応じて、DNS サーバ（プライマリ／セカンダリ）のアドレスを入力して、(2) 「OK」をクリックします。

項目	説明
DNS サーバアドレス (プライマリ)	DNS サーバアドレス (プライマリ) を設定します。
DNS サーバアドレス (セカンダリ)	DNS サーバアドレス (セカンダリ) を設定します。

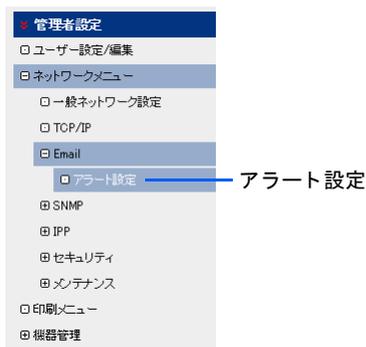
「TCP/IP」画面に戻ります。

- 3 「TCP/IP」画面で「送信」をクリックします。

DNS サーバのアドレスが設定されます。

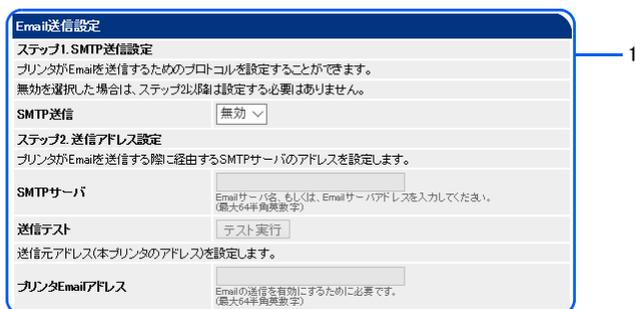
Email

「Email」には、「アラート設定」のサブメニューがあります。



■ アラート設定

「アラート設定」画面では、プリンタから Email を送信するための設定が行えます。



1 Email 送信設定

プリンタから Email を送信するための設定方法については、「Email 送信のための設定をする」(→ P.159) をご覧ください。

「障害通知設定」では、プリンタのステータスが変化したときに送信する Email の宛先、内容、通知方法を設定できます。

障害通知設定
 プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するための設定を行うことができます。
 本機能を使用する場合にはEmailの送信設定を行ってください。(受信設定は必要ありません)

障害通知条件設定
 プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するアドレスを6件設定することができます。

アドレス1:

アドレス2:

アドレス3:

アドレス4:

アドレス5:

(最大78半角英数字)
 例:em1th@abc.co.com

障害通知条件参照
 現在の設定を一覧参照

現在設定されているEmailで通知する条件を、各アドレス毎に参照することができます。
 参照したいアドレスを選択してください。

初期状態 ▼ アドレス1 ▼

送信条件	障害レベル	初期状態		アドレス1		説明
		障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	
消耗品	警告	即時	即時	即時	即時	トナー、イメージドラム
	エラー	即時	即時	即時	即時	
メンテナンスユニット	警告	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	ペリ、定着器
	エラー	即時	即時	即時	即時	
用紙の補充	警告	15分後	15分後	15分後	15分後	用紙、OHP
	エラー	即時	即時	即時	即時	
印刷中の用紙	警告	無効	無効	無効	無効	カバーオープン、紙詰まり
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	
フラッシュメモリ	警告	無効	無効	無効	無効	
	エラー	無効	無効	無効	無効	
印刷の結果	警告	無効	無効	無効	無効	不完全な印刷
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	
インタフェースの異常	警告	無効	無効	無効	無効	ネットワーク、USB
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	
その他	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	

1 障害通知条件設定

プリンタの状態を Email で送信するための、送信先や送信条件を設定できます。
 詳しくは、「障害を Email で通知するよう設定する」(→ P.162)をご覧ください。

2 障害通知条件参照 (一覧)

プリンタの状態通知に関する条件を、一覧で確認できます。
 詳しくは、「障害通知の設定をすべて確認する」(→ P.166)をご覧ください。

3 障害通知条件参照 (アドレスごと)

プリンタの状態通知に関する条件を、送信先ごとに確認したり、初期設定や他の送信先の設定と比較したりできます。

詳しくは、「障害通知の設定をアドレスごとに確認する/比較する」(→ P.167)をご覧ください。

■ Email 送信のための設定をする

1 「Email 送信設定」で (1) 「SMTP 送信」を「有効」にして、(2) 「SMTP サーバ」と (3) 「プリンタ Email アドレス」を入力します。

Email 送信設定

ステップ1. SMTP 送信設定
プリンタがEmailを送信するためのプロトコルを設定することができます。
無効を選択した場合は、ステップ2以降は設定する必要はありません。

SMTP 送信 (1)

ステップ2. 送信アドレス設定
プリンタがEmailを送信する際に経由するSMTPサーバのアドレスを設定します。

SMTP サーバ (2)
Emailサーバ名、もしくは、Emailサーバアドレスを入力してください。
(最大64半角英数字)

送信テスト

送信元アドレス(本プリンタのアドレス)を設定します。

プリンタEmailアドレス (3)
Emailの送信を有効にするために必要です。
(最大64半角英数字)

項目	説明
SMTP サーバ	プリンタが Email を送信するときを経由する SMTP サーバ名または SMTP サーバの IP アドレスを、半角英数字 64 文字以内で設定します。
プリンタ Email アドレス	プリンタから送信する Email の、送信元のメールアドレスを、半角英数字 64 文字以内で設定します。

「SMTP 送信」を有効にすると、「テスト実行」ボタンが有効になり、「ステップ 3」の項目が表示されます。

2 「ステップ3」の「SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。」をクリックします。

「セキュリティ設定」、「付加情報設定」、および「その他」が表示されます。

Email 送信設定

ステップ1. SMTP 送信設定
プリンタがEmailを送信するためのプロトコルを設定することができます。
無効を選択した場合は、ステップ2以降は設定する必要はありません。

SMTP 送信

ステップ2. 送信アドレス設定
プリンタがEmailを送信する際に経由するSMTPサーバのアドレスを設定します。

SMTP サーバ
Emailサーバ名、もしくは、Emailサーバアドレスを入力してください。
(最大64半角英数字)

送信テスト

送信元アドレス(本プリンタのアドレス)を設定します。

プリンタEmailアドレス
Emailの送信を有効にするために必要です。
(最大64半角英数字)

ステップ3. 詳細設定

- ▶ SMTPプロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。
- ▶ セキュリティ設定
- ▶ 付加情報設定
- ▶ その他

3 「ステップ 3」の各項目をクリックし、必要に応じて次の設定を行います。

■ SMTP セキュリティ設定

1. 次の項目を設定します。

SMTPセキュリティ設定

SMTPプロトコルのセキュリティに関する設定を行うことができます。

認証方法	None
SMTP ユーザーID	<input type="text"/> (最大64半角英数字)
SMTP パスワード	<input type="text"/> (最大64半角英数字)
SMTP送信暗号化方式	None
SMTPポート番号	25 (1~65535)
POP3サーバ	<input type="text"/> (最大64半角英数字)
POP ユーザーID	<input type="text"/> (最大64半角英数字)
POP パスワード	<input type="text"/> (最大16半角英数字)
POP暗号化方式	None
POP3ポート番号	110 (1~65535)
APOPサポート	無効

OK キャンセル

項目	説明
認証方法	SMTP 認証の有効/無効を設定します。
SMTP ユーザー ID	SMTP のユーザー ID を設定します。
SMTP パスワード	SMTP のパスワードを設定します。
SMTP 送信暗号化方式	SMTP の送信暗号化方式を設定します。
SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を 1 ~ 65535 の範囲で設定します。
POP3 サーバ	POP サーバ名を設定します。
POP ユーザー ID	POP のユーザー ID を設定します。
POP パスワード	POP のパスワードを設定します。
POP 暗号化方式	POP 暗号化方式を設定します。
POP3 ポート番号	POP3 ポート番号を 1 ~ 65535 の範囲で設定します。
APOP サポート	APOP の有効/無効を設定します。

2. 設定したら「SMTP セキュリティ設定」画面で、「OK」をクリックします。

■ 付加情報設定

1. プリンタから送信される Email 本文の文末に付加する情報を選択します。

付加情報設定

Email送信メッセージの文末に付加する文字列です。

<input checked="" type="checkbox"/> プリンタ モデル	:	XL-4405
<input checked="" type="checkbox"/> ネットワークインターフェース	:	XL-4405
<input checked="" type="checkbox"/> 装置号機	:	LD8Z08271
<input type="checkbox"/> プリンタ管理番号	:	
<input type="checkbox"/> プリンタ名	:	XL-4405-914B29
<input type="checkbox"/> 設置場所	:	
<input checked="" type="checkbox"/> IPアドレス	:	
<input type="checkbox"/> MACアドレス	:	
<input type="checkbox"/> プリンタ URL	:	http://

コメント (最大63半角英数字)

項目	説明
プリンタモデル	プリンタモデルを付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
ネットワークインターフェース	ネットワークインターフェースを付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
装置号機	装置号機を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
プリンタ管理番号	プリンタ管理番号を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
プリンタ名	プリンタ名を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
設置場所	設置場所を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
IP アドレス	IP アドレスを付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
MAC アドレス	MAC アドレスを付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
プリンタ URL	プリンタ URL を付加する場合に <input checked="" type="checkbox"/> にします。
コメント	コメントを付加する場合、半角英数字 63 文字以内で入力します。

2. 設定したら「付加情報設定」画面で、「OK」をクリックします。

■ その他

1. 返信先 Email アドレスを設定します。

その他

送信がエラーになった場合に、エラー通知メールを送信するアドレスを設定します。

返信先Emailアドレス
(最大78半角英数字)

項目	説明
返信先 Email アドレス	プリンタからの Email 送信がエラーになった場合に、エラーを通知する Email アドレスを、半角英数字 78 文字以内で設定します。

2. 設定したら「その他」画面で、「OK」をクリックします。

4 「アラート設定」画面で「送信」をクリックします。

プリンタからの Email 送信設定が完了します。

■ 障害を Email で通知するよう設定する

- 1 (1) 「障害通知設定」の「アドレス n:」に、障害情報通知先の Email アドレスを入力して、(2) 「設定」をクリックします。

障害通知設定

プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するための設定を行うことができます。
本機能を使用する場合はEmailの送信設定を行ってください。(受信設定は必要ありません)

障害通知条件設定

プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するアドレスを5件設定することができます。

アドレス1:

アドレス2:

アドレス3:

アドレス4:

アドレス5:

(最大78半角英数字)
例:iem7h@abc.co.com

「障害通知設定」画面が表示されます。

- 2 (1) 障害の通知方法を選択し、(2) 「ステップ2へ」をクリックします。

障害通知設定(アドレス1:test1@xxx.fujitsu.co.jp)

ステップ1. 障害を通知する方法を選択してください。

2つの障害通知方法から1つを選んでください。
障害通知方法を選択後「ステップ2へ」のボタンを押下してください。

障害通知方法	各モードの説明
<input checked="" type="radio"/> 定期的な通知	一定間隔隔毎に、プリンタの状態をEmailに記録して通知します。
<input checked="" type="radio"/> 障害発生時の通知	プリンタが運用中に障害が発生した場合に、どのような障害が発生したのかをEmailに記録して通知します。

選択した通知方法により、ステップ2の画面が異なります。

3 選択した通知方法により、「定期的な通知」を選択した場合（→ P.163） または「障害発生時の通知」を選択した場合（→ P.164）の設定をします。

■「定期的な通知」を選択した場合

1. 「定期的な通知の設定」画面で次の設定をします。

定期的な通知の設定(アドレス1:11)

障害通知間隔設定
プリンタの状態をEmailで通知する時間間隔を設定してください。
ただし、設定できる時間は1時間刻みで1～24までです。

メール通知間隔 時間(1～24時間 半角数字)

障害通知条件設定
Emailに記載して通知する条件にチェックしてください。
チェックがされていない項目は通知する内容に含まれません。

送信条件	警告	エラー	説明
消耗品	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	イメージドラム、トナーカートリッジ等消耗品に関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)イメージドラム寿命ニアエンド、イメージドラム寿命
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
メンテナンスユニット	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	トナーセンサー、定着器等メンテナンスユニットに関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)定着器寿命ニアエンド、定着器寿命
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
用紙の補充	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	用紙の残り枚数に関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)トレイの用紙が残りわずか、トレイの用紙無し
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
印刷中の用紙	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	印刷中の用紙に関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)用紙サイズ変更要求、用紙進行ジャム
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
フラッシュメモリ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	フラッシュメモリに関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。 例)ディスクオーバーレッシュエラー
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
印刷の結果	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	印刷の結果に関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)無効なデータの受信、メモリ不足
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
インタフェースの異常	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	インタフェースに関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)USB I/Fエラー
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスコールが発生した場合に、Emailに記載されます。

OK 戻る

項目	説明
メール通知間隔	プリンタの状態通知のための Email を送信する間隔を、1～24 時間の範囲で設定します。
障害通知条件設定	通知対象とするエラー種別を <input checked="" type="checkbox"/> にします。

2. 設定したら「OK」をクリックします。
手順 1 の画面に戻ります。手順 4 に進んでください。

■「障害発生時の通知」を選択した場合

1. 「障害発生時の通知の設定」画面で通知対象とするエラー種別を にします。

障害発生時の通知の設定(アドレス1)

障害通知条件設定

Emailに記載して通知する条件にチェックをしてください。
 チェックがされていない項目は通知する内容に含まれません。

送信条件		説明	
消耗品	警告	<input checked="" type="checkbox"/>	イメージドラム、トナーカートリッジ等消耗品に関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)イメージドラム寿命アップ、イメージドラム寿命
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	
メンテナンスユニット	警告	<input checked="" type="checkbox"/>	トナーセンサー、定着器等メンテナンスユニットに関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)定着器寿命アップ、定着器寿命
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	
用紙の補充	警告	<input checked="" type="checkbox"/>	用紙の残り枚数に関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。 例)トレイの用紙が残りわずか、トレイの用紙無し
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	
印刷中の用紙	警告	<input type="checkbox"/>	印刷中の用紙に関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	例)用紙サイズ変更要求、用紙進行ジャム
フラッシュメモリ	警告	<input type="checkbox"/>	フラッシュメモリに関する警告が発生した場合に、Emailに記載されます。 例)ディスクオペレーションエラー
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	
印刷の結果	警告	<input type="checkbox"/>	印刷の結果に関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	例)無効なデータの受信、メモリ不足
インタフェースの異常	警告	<input type="checkbox"/>	インタフェースに関する警告、または、エラーが発生した場合に、Emailに記載されます。
	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	USB/Eエラー
その他	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>	サービスクールが発生した場合に、Emailに記載されます。

OK 戻る

通知対象とするエラー種別を にすると、「詳細設定」画面が表示されます。

2. 選択したエラーを通知する Email 送信の、発信遅延を設定します。
手順 1 で設定した通知先のアドレスごとに設定できます。

詳細設定(消耗品の警告)

ステップ1で設定した各アドレスについて、Emailを通知する条件を設定することができます。
 (ただし、時間最大時間おきで0~48までです。)

発信までの遅延

0 時間 0 分

半角数字
 ※0時間0分の場合は即時メールが発信されます。

OK 閉じる

- ・遅延時間を設定すると、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができません。
 - ・遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生するとすぐに Email が送信されます。
3. 設定したら「OK」をクリックします。
手順 1 の画面に戻ります。手順 4 に進んでください。

4 障害情報通知先のEmailアドレスを複数設定する場合は、手順 1～3を繰り返します。

POINT

他のアドレスに障害通知設定をコピーする場合

複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合は、設定した内容を他の宛先にコピーできます。

1. 「障害通知設定」で、コピー元とするアドレスの「コピー」をクリックします。

障害通知設定

プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するための設定を行うことができます。
本機能を使用する場合はEmailの送信設定を行ってください。(受信設定は必要ありません)

障害通知条件設定

プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するアドレスを5件設定することができます。

アドレス1: 設定 コピー

アドレス2: 設定 コピー

「設定のコピー」画面が表示されます。

2. (1) 選択したアドレスの障害通知設定のコピー先となるアドレスにを付けて、(2) 「コピー」をクリックします。

設定のコピー

障害通知設定内容をEmailアドレスを選択してコピーすることができます。

■ コピー元のEmailアドレス

アドレス2

■ コピー先のEmailアドレス

アドレス1

アドレス3

アドレス4

アドレス5

コピー 閉じる

コピー元のアドレスの障害通知設定の内容が、選択したアドレスにコピーされます。

Email アドレスの設定が終了したら、手順 5 に進みます。

5 障害通知条件の設定内容を確認します。

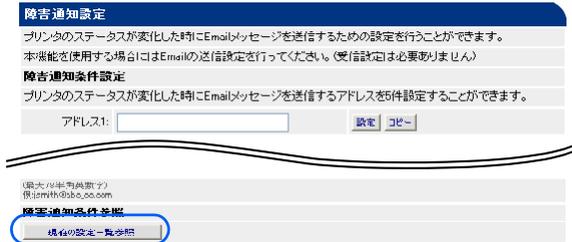
確認方法については、「障害通知の設定をすべて確認する」(→ P.166) または「障害通知の設定をアドレスごとに確認する／比較する」(→ P.167) をご覧ください。

6 「送信」をクリックします。

障害通知の設定が完了します。

■ 障害通知の設定をすべて確認する

1 「障害通知設定」の「現在の設定一覧参照」をクリックします。



次のような画面が表示されます。

1		2		3						
送信条件	障害レベル	初期設定値	アドレス1	アドレス2	アドレス3	アドレス4	アドレス5			
		定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知	定期的な通知		
消耗品	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
メンテナンスユニット	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
用紙の補充	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
印刷中の用紙	警告	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効		
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
フラッシュメモリ	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
印刷の結果	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
インタフェースの異常	警告	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効		
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
その他	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎		
送信条件	障害レベル	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知	障害発生時の通知			
消耗品	警告	即時	即時	即時	即時	即時	即時	即時		
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時	即時		
メンテナンスユニット	警告	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後		
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時	即時		
用紙の補充	警告	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後		
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時	即時		
印刷中の用紙	警告	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効		
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後		
フラッシュメモリ	警告	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効		
印刷の結果	警告	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効		
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後		
インタフェースの異常	警告	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後		
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後		
その他	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後		

No.	説明
1	通知対象となるエラー種別と障害レベルが表示されます。
2	エラー種別ごとのアラーム通知の初期設定が表示されます。
3	「障害情報」画面の「障害通知条件設定」に設定したすべてのアドレスごとに、現在の設定内容が表示されます。
4	該当のアドレスに対して、「定期的な通知」を設定している場合に、設定内容が表示されます。「障害発生時の通知」を設定しているときは、グレーで表示されます。
5	該当のアドレスに対して、「障害発生時の通知」を設定している場合に、設定内容が表示されます。「定期的な通知」を設定しているときは、グレーで表示されます。

■ 障害通知の設定をアドレスごとに確認する／比較する

1 「障害通知設定」の「障害通知条件参照（アドレスごと）」の2つのリストボックスで、設定内容を確認／比較するアドレスを選択します。

初期設定と比較する場合は、一方のリストボックスで「初期状態」を選択します。

リストボックスの下の方に、選択したアドレスまたは初期状態の設定内容が表示されます。

障害通知設定

プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するための設定を行うことができます。
本機能を使用する場合はEmailの送信設定を行ってください。(受信設定は必要ありません)

障害通知条件設定

プリンタのステータスが変化した時にEmailメッセージを送信するアドレスを5件設定することができます。

アドレス1: [設定](#) [コピー](#)

アドレス2: [設定](#) [コピー](#)

アドレス3: [設定](#) [コピー](#)

アドレス4: [設定](#) [コピー](#)

アドレス5: [設定](#) [コピー](#)

(最大79半角英数字)
例: jerry@abc.co.jp

障害通知条件参照

[現在の設定一覧参照](#)

現在設定されているEmailで通知する条件を、各アドレス毎に参照することができます。
参照したいアドレスを選択してください。

初期状態 ▼ アドレス1 ▼

送信条件	障害レベル	初期状態 障害発生時の 通知	アドレス1 障害発生時の 通知	説明
消耗品	警告 エラー	即時 即時	即時 即時	トナー、イメージドラム
メンテナンスユニット	警告 エラー	2時間後 即時	2時間後 即時	ペリト、定着器
用紙の補充	警告 エラー	15分後 即時	15分後 即時	用紙、OHP
印刷中の用紙	警告 エラー	無効 2時間後	無効 2時間後	カバーオープン、紙詰まり
フラッシュメモリ	警告	無効	無効	
印刷の結果	エラー	無効 2時間後	無効 2時間後	不完全な印刷
インタフェースの異常	警告 エラー	無効 2時間後	無効 2時間後	ネットワーク、USB
その他	エラー	2時間後	2時間後	

1 2 3

No.	説明
1	通知対象となるエラー種別と障害レベルが表示されます。
2	該当する障害が発生した場合、いつEmailでの通知が発信されるかが表示されます。表内の設定値をクリックすることで、通知条件設定を変更することができます。
3	送信条件に該当する内容が表示されます。

SNMP

「SNMP」には、「設定」「Trap」の2つのサブメニューがあります。



■ 設定

「設定」画面では、SNMPを利用するときのコミュニティ名を設定できます。



1 SNMP Read コミュニティの変更

SNMPを利用して、プリンタを参照するときのコミュニティ名を設定します。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
新しい SNMP Read コミュニティ	新しい SNMP Read コミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で、入力します。
新しい SNMP Read コミュニティの再入力	「新しい SNMP Read コミュニティ」と同じ文字列を入力します。

2 SNMP Write コミュニティの変更

SNMPを利用して、プリンタの設定をするときのコミュニティ名を設定します。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
新しい SNMP Write コミュニティ	新しい SNMP Write コミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で、入力します。
新しい SNMP Write コミュニティの再入力	「新しい SNMP Write コミュニティ」と同じ文字列を入力します。

■ Trap

「Trap」画面では、プリンタのステータスが変化したときの Trap 発行に関する設定ができます。

SNMP Trap

プリンタサーバーはプリンタのステータスが変化した時にメッセージ(SNMP Trap)を送信するための設定を行うことができます。

Trapはプリンタステータスを監視するために使用しているSNMPネットワークモニタリングユーティリティで受信できます。

プリンタTrap設定

SNMPネットワークモニタリングユーティリティが本プリンタから発信した情報を受信できるように設定します。

ステップ1. プリンタTrapコミュニティ名設定
通常は初期値のまま使用してください。

プリンタTrapコミュニティ名設定 (最大31半角英数字)

ステップ2. プリンタTrapアドレス設定
Trapを通知する対象となる機器のIPアドレス5件を設定することができます。

アドレス1 (半角英数字)例: 192.168.99.99
 アドレス2
 アドレス3
 アドレス4
 アドレス5

ステップ3. プリンタTrap送信条件設定
ステップ2で設定した各アドレスについて、Trapを通知する条件を設定することができます。

送信条件	アドレス1	アドレス2	アドレス3	アドレス4	アドレス5
Trap送信許可	<input type="checkbox"/>				
プリンタ再起動	<input type="checkbox"/>				
不正Trap受信	<input type="checkbox"/>				
オンライン	<input type="checkbox"/>				
オフライン	<input type="checkbox"/>				
用紙なし	<input type="checkbox"/>				
用紙ジャム	<input type="checkbox"/>				
カバーオープン	<input type="checkbox"/>				
プリンタエラー	<input type="checkbox"/>				

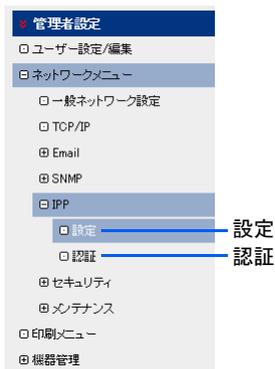
1 プリンタ Trap 設定

プリンタのステータスが変化したときに、メッセージ (SNMP Trap) を発行するための設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
ステップ 1	プリンタ Trap コミュニティ名設定 Trap 発行時のコミュニティ名を、半角英数字 31 文字以内で設定します。通常は初期値のまま使用してください。
ステップ 2	アドレス 1～アドレス 5 Trap 発行先の IP アドレスを設定します。5 件まで設定できます。
ステップ 3	プリンタ Trap 送信条件設定 ステップ 2 で設定したアドレスごとに、通知する Trap の内容を設定します。通知するものを <input checked="" type="checkbox"/> にします。

IPP

「IPP」には、「設定」「認証」の2つのサブメニューがあります。



■ 設定

「設定」画面では、IPPに関する設定ができます。



1 基本的な設定

IPP印刷に関する基本的な設定をします。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
IPP	IPPの有効/無効を設定します。
IPPを使用して印刷するときは、次のいずれかのURIを使用してください。	IPP印刷を行うときに使用できるURIが表示されます。
管理者からの連絡事項	管理者からの連絡事項を、半角英数字127文字以内で入力します。

■ 認証

「認証」画面では、IPP 接続の認証に関する設定ができます。

The screenshot shows three sections of the authentication settings page:

- 1 セキュリティ設定:** Includes the 'アクセス制御' (Access Control) dropdown menu, currently set to '無効' (Disabled).
- 2 認証の設定:** Includes the '認証' (Authentication) dropdown menu (set to 'None'), 'デフォルトユーザー' (Default User) dropdown menu (set to '無効'), and 'デフォルトユーザー名' (Default Username) text field (set to 'guest').
- 3 デフォルトユーザーパスワード変更:** Includes two password input fields: '新しいデフォルトユーザーパスワード' (New Default User Password) and '新しいデフォルトユーザーパスワードの再入力' (Re-enter New Default User Password).

1 セキュリティ設定

IPP 印刷を行うときの、ユーザーごとのアクセス制御に関する設定ができます。

項目	説明
アクセス制御	「有効」に設定し、ユーザー設定することで、ユーザーごとのアクセス制御を行うことができます。「ユーザー設定 / 編集」(→ P.152) をご覧ください。

2 認証の設定

IPP 印刷を行うときの認証に関する設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
認証	IPP 印刷時に認証を行うかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ None : IPP 印刷時に認証を行いません。・ Basic : IPP 印刷時に認証を行います。「Basic」に設定した場合は、プリンタの「プロパティ」ウィンドウの設定が必要です。詳しくは、「パソコンの設定」(→ P.42) をご覧ください。
デフォルトユーザー	デフォルトユーザーの有効、無効を設定します。
デフォルトユーザー名	IPP 印刷を許可するデフォルトユーザー名を半角英数字 32 文字以内で設定します。

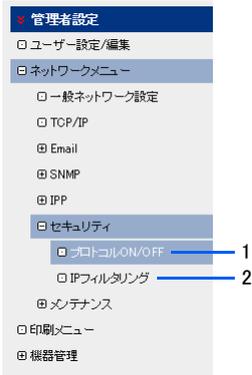
3 デフォルトユーザーパスワード変更

IPP 印刷を行うときのデフォルトユーザーのパスワードに関する設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
新しいデフォルトユーザーパスワード	新しいデフォルトユーザーパスワードを設定します。
新しいデフォルトユーザーパスワードの再入力	新しいデフォルトユーザーパスワードの再入力を設定します。

セキュリティ

「セキュリティ」では、サービスの有効／無効、IP アドレスフィルタリング、管理者パスワードに関する設定を確認、変更できます。



1 プロトコル ON/OFF

サービスの有効／無効や、サービスで使用するポート番号を設定できます。

詳しくは、「プロトコル ON/OFF」(→ P.173) をご覧ください。

2 IP フィルタリング

プリンタにアクセスできるパソコン (IP アドレス) を制限する、IP フィルタリングの設定ができます。

詳しくは、「IP フィルタリング」(→ P.174) をご覧ください。

■ プロトコル ON/OFF

「プロトコル ON/OFF」画面では、サービスとポート番号の設定ができます。

サービス

Web (ポート番号: 80) 有効
無効に設定すると、ブラウザ経由でのアクセスができなくなります。

IPP (ポート番号: 631) 有効

LPR 有効

RAW 有効

SNMP 有効

ポート番号

これらのポート番号は、すでに使用中のものには変更できません。

Web 80 (0-65535)

SMTP 25 (0-65535)
接続するSMTPサーバのポート番号とあわせてください。

1 サービス

次のサービスの有効/無効を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
Web (ポート番号: 80)	「FUJITSU Printer Internet Service」の有効/無効を設定します。 <ul style="list-style-type: none">有効: 「FUJITSU Printer Internet Service」を利用できます。無効: Web ブラウザでプリンタの URL を指定したときに「404 Not Found」と表示され、「FUJITSU Printer Internet Service」を利用できなくなります。「有効」に戻す場合は、プリンタのオペレータパネルから操作する必要があります。オペレータパネルの操作方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」をご覧ください。
IPP (ポート番号: 631)	IPP サービスの有効/無効を設定します。
LPR	LPR サービスの有効/無効を設定します。
RAW	RAW サービスの有効/無効を設定します。
SNMP	SNMP サービスの有効/無効を設定します。

2 ポート番号

次のポート番号の設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
Web	Web のポート番号を設定します。
SMTP	SMTP のポート番号を設定します。

■ IP フィルタリング

「IP フィルタリング」画面では、プリンタを利用するパソコン（IP アドレス）を制限する設定ができます。

重要

- ・フィルタリングできる IP アドレスは、IPv4 アドレスのみです。IPv6 アドレスは指定できません。

IPフィルタリング

ステップ1. IPフィルタリングの設定

IPフィルタリング

(注意)IPフィルタリングを有効にすると、ステップ2で設定した範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。また、IPv6を使用したアクセスができなくなります。

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IPアドレスは、*で区切られた半角の数字を使用してください。(例: 192.168.0.2*)
IPアドレス「0.0.0.0」は無効です。設定できません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
高	10	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アドレス範囲バーの表示/更新 非表示

設定とアドレス範囲バーの色の関係

印刷/設定	色
有効/有効	<input type="checkbox"/>
有効/無効	<input type="checkbox"/>
無効/有効	<input type="checkbox"/>
無効/無効	<input type="checkbox"/>

ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

管理者のIPアドレスをIPフィルタリングの対象外とすることができます。
登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。
パソコンを経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。
したがって、あなたのホストのアドレスと、表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
「設定される管理者のIPアドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなる場合があります。
管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定される管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

登録されている管理者のIPアドレス	0.0.0.0
あなたのホストのIPアドレス	192.168.2.100

(この機能は、IPv4でのみ有効です。)

設定される管理者のIPアドレス

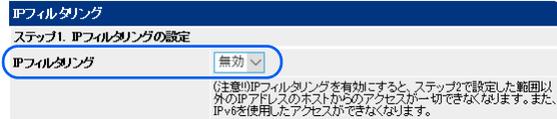
1 IP フィルタリング

プリンタを利用するパソコン（IP アドレス）を制限する、IP フィルタリングの設定をします。
設定方法については、「IP フィルタリングの設定をする」(→P.175)をご覧ください。

■ IP フィルタリングの設定をする

プリンタを利用できるパソコンの IP アドレス範囲を指定し、印刷・設定を許可するかどうかを設定することで、IP アドレスによるプリンタへのアクセスを管理できるようにします。

1 「IP フィルタリング」画面の「IP フィルタリング」で「有効」を選択します。



2 「IP アドレスの範囲を設定します。」でフィルタリングする IP アドレスの範囲とフィルタリングの内容を設定します。

ステップ2. IP アドレスの範囲を設定します。

IP アドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IP アドレスは、*****で区切られた半角の数字を使用してください。(例: 192.168.0.2*)
IP アドレス "0.0.0.0" は無効ですので設定できません。
IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。

また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IP アドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

項目	説明
優先度	IP アドレスの範囲が重なった場合は、優先度が「高」に設定されているアドレス範囲ほど、優先されます。
アドレス範囲の番号	アドレス範囲の番号が表示されます。
IP アドレスの範囲	IP アドレスの範囲を設定します。 例えば 192.168.0.2 から 192.168.0.100 までを設定する場合は、次のように設定します。 ・開始アドレス：192.168.0.2 ・終了アドレス：192.168.0.100
印刷	印刷を許可するかしないかを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> にすると、該当する IP アドレスからの印刷を許可します。 <input type="checkbox"/> にすると、該当する IP アドレスからの印刷を禁止します。
設定	設定を許可するかしないかを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> にすると、該当する IP アドレスからの設定を許可します。 <input type="checkbox"/> にすると、該当する IP アドレスからの設定を禁止します。

設定例については、「アドレス範囲の設定例」(→P.177)をご覧ください。

3 「アドレス範囲バーの表示/更新」をクリックします。

	8	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	高	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

アドレス範囲バーの表示/更新 非表示

設定とアドレス範囲バーの色の関係

印刷	設定	色
有効	有効	青
有効	無効	赤
無効	有効	緑
無効	無効	白

画面左側の「メニューエリア」に、「アドレス範囲バー」が表示されます。

4 設定を行った IP アドレスの範囲が正しいかどうか確認します。

「アドレス範囲バー」に表示されている色分けについては、「アドレス範囲バーの表示 / 更新」の下に表示されている表をご覧ください。

アドレス範囲バー

アドレス範囲バー

以下のバーは、ステップ2で設定した状態を示しています。

10	0.0.0.0
	0.0.0.1
1	192.168.1.0 192.168.1.1
	192.168.1.100 192.168.1.101
2	192.168.2.0 192.168.2.10
	192.168.2.200 192.168.2.201

255.255.255.255

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力し、IPアドレスは、で区切られた半角の数字を使用してください。(例: IPアドレス「0.0.0.0」は無効ですので設定できません。)
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の順に、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレス

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレス	
		開始アドレス	終了アドレス
低	1	192.168.1.1	
	2	192.168.2.10	
	3	0.0.0.0	
	4	0.0.0.0	
	5	0.0.0.0	
	6	0.0.0.0	
	7	0.0.0.0	
	8	0.0.0.0	
	9	0.0.0.0	
高	10	0.0.0.0	

アドレス範囲バーの表示/更新

設定とアドレス範囲バーの色の関係

印刷/設定	色
有効	無効

アドレス範囲バーの見かた

IPアドレスの範囲を修正する場合は、手順2～4を繰り返します。

5 必要に応じて、「設定される管理者 IP アドレス」の値を設定します。

管理者の IP アドレスを、IP フィルタリングの対象外とする場合に、設定します。

ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

管理者のIPアドレスをIPフィルタリングの対象外とすることができます。
登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。
プロキシを經由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。
したがって、あなたのホストのアドレスと、表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
「設定される管理者のIPアドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
管理者のIPアドレスを登録しない場合は、「設定される管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

登録されている管理者のIPアドレス	0.0.0.0
あなたのホストのIPアドレス	192.168.2.100

(この欄は、IPv4でのみ有効です。)

設定される管理者のIPアドレス

POINT

- ・「設定される管理者 IP アドレス」を設定しないと、手順2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。

6 設定を確認し「送信」をクリックします。

IP フィルタリングの設定が完了します。

■ アドレス範囲の設定例

「IP フィルタリングの設定をする」(→ P.175) の手順 2 の設定例について説明します。

□ 192.168.0.0 ~ 192.168.2.128 の IP アドレスからの印刷のみを許可したいとき

- ・「アドレス範囲の番号」の 1 の行で、次のように設定します。

- 開始アドレス : 192.168.0.0
- 終了アドレス : 192.168.2.128
- 「印刷」欄 :
- 「設定」欄 :

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IPアドレスは、で区切られた半角の数字を使用してください。(例: "192.168.0.2")
IPアドレス "0.0.0.0" は無効です。設定できません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度の高い」アドレス範囲の設定が優先されます。
また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ8で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	192.168.0.0	192.168.2.128	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- ・「設定される管理者 IP アドレス」を設定します。

管理者の IP アドレスが「192.168.2.100」の場合は、「設定される管理者 IP アドレス」に「192.168.2.100」と入力します。

ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

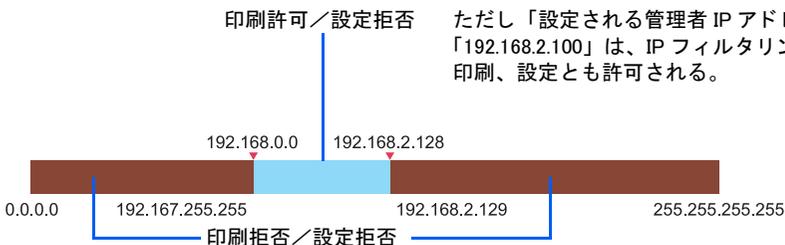
管理者のIPアドレスをIPフィルタリングの対象外とすることができます。
登録できる管理者のIPアドレスは1つだけです。
プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。
したがって、あなたのホストのアドレスと、表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
「設定される管理者のIPアドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなる場合があります。
管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定される管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

登録されている管理者のIPアドレス	0.0.0.0
あなたのホストのIPアドレス	192.168.2.100

(この機能は、IPv4でのみ有効です。)

設定される管理者のIPアドレス

次のようにフィルタリングされます。



□ 192.168.0.0 ~ 192.168.2.128 の IP アドレスからの印刷／設定を拒否し、それ以外の IP アドレスからの印刷のみを許可したいとき

- 「アドレス範囲の番号」の 1 の行で、次のように設定します。

- 開始アドレス : 0.0.0.0
- 終了アドレス : 192.167.255.255
- 「印刷」欄 :
- 「設定」欄 :

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IPアドレスは、で区切られた半角の数字を使用してください。(例: 192.168.0.2)
IPアドレス「0.0.0.0」は無効ですので設定できません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。

また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	0.0.0.0	192.167.255.255	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 「アドレス範囲の番号」の 2 の行で、次のように設定します。

- 開始アドレス : 192.168.2.129
- 終了アドレス : 255.255.255.255
- 「印刷」欄 :
- 「設定」欄 :

ステップ2. IPアドレスの範囲を設定します。

IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
IPアドレスは、で区切られた半角の数字を使用してください。(例: 192.168.0.2)
IPアドレス「0.0.0.0」は無効ですので設定できません。
IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。

また、ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

優先度	アドレス範囲の番号	IPアドレスの範囲		印刷	設定
		開始アドレス	終了アドレス		
低	1	0.0.0.0	192.167.255.255	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	192.168.2.129	255.255.255.255	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 「設定される管理者 IP アドレス」を設定します。

管理者の IP アドレスが「192.168.2.100」の場合は、「設定される管理者 IP アドレス」に「192.168.2.100」と入力します。

ステップ3. 管理者IPアドレスの登録

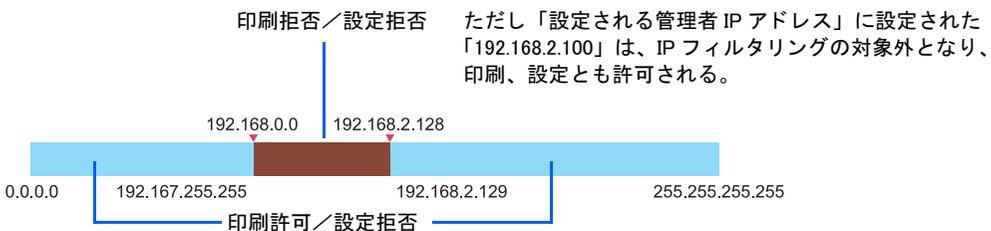
管理者の IP アドレスを IP フィルタリングの対象外とすることができます。
登録できる管理者の IP アドレスは 1 つだけです。
ログイン等を理由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストの IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。

したがって、あなたのホストのアドレスと、表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
「設定される管理者の IP アドレス」に何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなる場合があります。

管理者の IP アドレスを登録したくない場合は、「設定される管理者の IP アドレス」の欄を空欄にしてください。

登録されている管理者の IP アドレス	0.0.0.0
あなたのホストの IP アドレス	192.168.2.100
(この機能は、IPv4でのみ有効です。)	
設定される管理者の IP アドレス	192.168.2.100

次のようにアクセス制御されます。



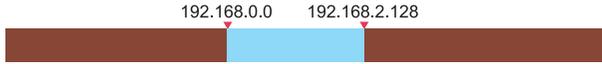
□アドレス範囲の設定で重複したアドレス範囲を設定した場合の例

設定範囲が重複している場合は、優先度が高いほうの設定が有効となります。

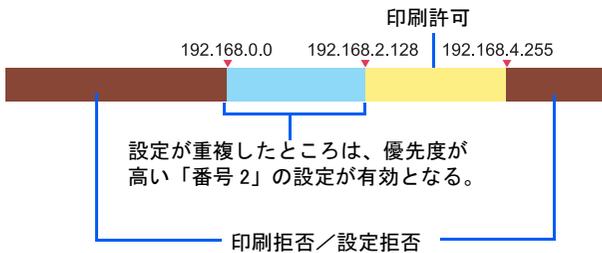
- アドレス範囲の番号 1 の設定 …192.168.0.0 ~ 192.168.4.255 : 印刷許可 / 設定許可 (優先度 : 低)



- アドレス範囲の番号 2 の設定 …192.168.0.0 ~ 192.168.2.128 : 印刷許可 / 設定拒否 (優先度 : 高)

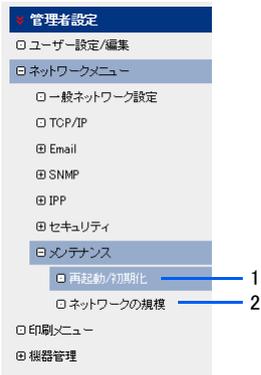


- アドレス範囲 1 と 2 の設定を総計した結果 …192.168.0.0 ~ 192.168.2.128 : 印刷許可 / 設定拒否
192.168.2.129 ~ 192.168.4.255 : 印刷許可 / 設定許可



メンテナンス

「メンテナンス」では、プリンタの再起動や初期化、ネットワークの規模の設定ができます。



1 再起動 / 初期化

プリンタの再起動や初期化ができます。

詳しくは、「再起動 / 初期化」(→ P.180) をご覧ください。

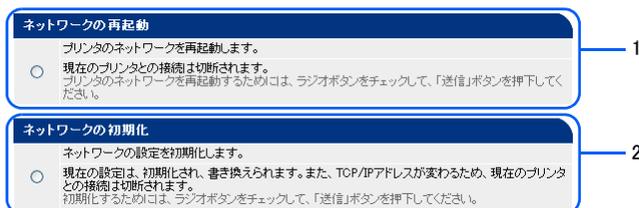
2 ネットワークの規模

ネットワークの規模を設定できます。

詳しくは、「ネットワークの規模」(→ P.180) をご覧ください。

■再起動 / 初期化

「再起動 / 初期化」画面では、プリンタまたはプリンタのネットワークのみの再起動や初期化ができます。



1 ネットワークの再起動

プリンタのネットワークを再起動する場合は、「プリンタのネットワークを再起動します。」を

●にし、「送信」をクリックします。

2 ネットワークの初期化

プリンタのネットワークの設定を初期化する場合は、「ネットワークの設定を初期化します。」

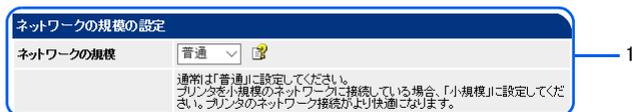
を●にし、「送信」をクリックします。

👉重要

- ・「ネットワークの再起動」を行った場合は、再起動が完了するまで「FUJITSU Printer Internet Service」は利用できません。
- ・「ネットワークの初期化」を行った場合は、プリンタの IP アドレスなどを再設定するまで「FUJITSU Printer Internet Service」は利用できません。

■ネットワークの規模

「ネットワークの規模」画面では、ネットワークの規模の設定ができます。



1 ネットワークの規模の設定

ネットワークの規模を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
ネットワークの規模	プリンタが接続されているネットワークの規模により「普通」または「小規模」を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・普通：通常は、この設定を使用してください。スパニングツリー機能をもつ大規模なネットワークにも対応します。ただし、コンピューターが 2、3 台の小規模なネットワークに接続するとプリンタの起動時間が長くなります。・小規模：コンピューターが 2、3 台の小規模ネットワークから大型のネットワークまで対応します。ただし、スパニングツリー機能をもつハブに接続した場合に効率よく動作しない場合があります。

印刷メニュー

「印刷メニュー」画面では、印刷に関する設定ができます。

1 プリンタ構成メニュー

エミュレーションの設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
エミュレーション	エミュレーションを設定します。

2 印刷に関する設定

印刷に関する設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
コピー枚数	コピー枚数を設定します。
両面印刷	両面印刷をするかどうかを設定します。

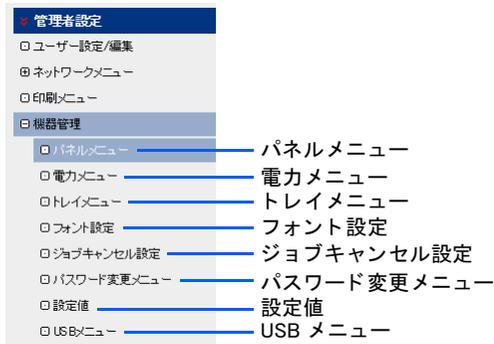
3 用紙に関する設定

用紙に関する設定ができます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
用紙長さチェック	印刷データ内で指定されている用紙サイズと、給紙トレイにセットされている用紙サイズが異なっている場合に、警告を出して印刷を一時停止するかどうかを選択することができます。
A4/レター置き換え	A4/レター置き換えを設定します。

機器管理

機器管理には、「パネルメニュー」「電力メニュー」「トレイメニュー」「フォント設定」「ジョブキャンセル設定」「パスワード変更メニュー」「設定値」「USBメニュー」の8のサブメニューがあります。



パネルメニュー

「パネルメニュー」画面では、パネルに関する設定ができます。



1 パネルメニュー

パネルの設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
ニアライフ時のステータス	ニアライフ時のステータスを設定します。
ニアライフ時のLED	ニアライフ時のLEDを設定します。

電力メニュー

「電力メニュー」画面では、電力に関する設定ができます。



1 パワーセーブ設定

電力の設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
オートパワーオフ	オートパワーオフの条件を設定します。
電源復旧時の電力供給	電源復旧時の電力供給方法を設定します。

トレイメニュー

「トレイメニュー」画面では、トレイに関する設定ができます。



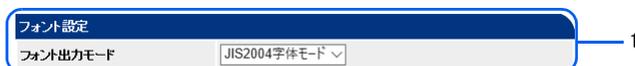
1 トレイメニュー

トレイの設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
ユーザ定義サイズ	表示単位を設定します。
デフォルト用紙サイズ	デフォルト用紙サイズを設定します。

フォント設定

「フォント設定」画面では、フォントに関する設定ができます。



1 フォント設定

フォントの設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
フォント出力モード	フォント出力モードを設定します。

ジョブキャンセル設定

「ジョブキャンセル設定」画面では、ジョブキャンセルに関する設定ができます。



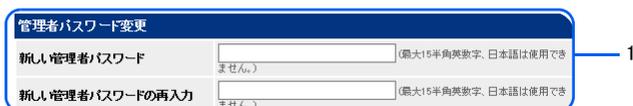
1 ジョブキャンセル設定

ジョブキャンセルの設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されません。

項目	説明
キャンセルボタンの動作	キャンセルボタンの動作を設定します。
問い合わせの表示	問い合わせの表示を設定します。
フォーカスの位置	フォーカスの位置を設定します。
表示タイムアウト	表示タイムアウトを設定します。

パスワード変更メニュー

「パスワード変更メニュー」画面では、管理者のパスワードを変更できます。



1 管理者パスワード変更

管理者パスワードを変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
新しい管理者パスワード	新しい管理者パスワードを、半角英数字 15 文字以内で入力します。
新しい管理者パスワードの再入力	新しい管理者パスワードと同じ文字列を入力します。

設定値

「設定値」画面では、設定値に関する設定ができます。



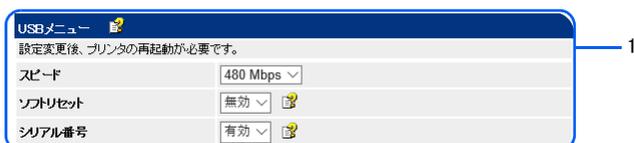
1 設定値

設定値をご購入時（出荷時）に戻すことができます。一部戻らない設定値があります。

項目	説明
出荷時に戻す	設定値をご購入時（出荷時）に戻します。

USB メニュー

「USB メニュー」画面では、USB に関する設定ができます。



1 USB メニュー

USB の設定を変更できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
スピード	USB のスピードを設定します。
ソフトリセット	USB のソフトリセットの動作を設定します。
シリアル番号	USB のシリアル番号の扱いを設定します。

7 「ジョブリスト」カテゴリ（管理者モードのみ）の詳細

「ジョブリスト」カテゴリでは、印刷ジョブの状態の確認ができます。



ジョブリスト

「ジョブリスト」画面では、デバイスが受信している印刷ジョブの一覧を表示することができます。また、必要であれば、特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。

ジョブリスト				
プリンタが受信している印刷ジョブの一覧を表示することができます。また、必要であれば、特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。				
	番号	時刻	タイプ	状態
<input type="checkbox"/>	01	2016/5/13 21:22	PCプリント	印刷中

ジョブリストの詳細情報表示

- 1 「ジョブリスト」画面で、詳細情報を表示したいジョブのタイプ部分をクリックします。

ジョブリスト				
プリンタが受信している印刷ジョブの一覧を表示することができます。また、必要であれば、特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。				
	番号	時刻	タイプ	状態
<input type="checkbox"/>	01	2016/5/13 21:22	PCプリント	印刷中

表示したいジョブの詳細情報画面が表示されます。

詳細情報(ジョブ番号:01)	
ドキュメント名	テスト ページ
コンピュータ名	XL-ADMIN-PC
ユーザー名	xl-admin
印刷済み回数	0
送信ポート	FJLP R00

ジョブの削除

- 1 「ジョブリスト」画面で、削除したいジョブにチェックを付け、「ジョブキャンセル」をクリックします。

ジョブリスト
プリンタが実行している印刷ジョブの一覧を表示することができます。また、必要であれば、特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。

	番号	時刻	タイプ	状態
<input checked="" type="checkbox"/>	01	2016/5/13 21:22	PCプリント	印刷中

ジョブキャンセル 更新 選択したジョブをキャンセルする場合には「ジョブキャンセル」を押下してください。最新の情報に更新する場合には「更新」を押下してください。

ジョブリストの更新

- 1 「ジョブリスト」画面で、「更新」をクリックします。

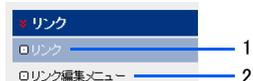
ジョブリスト
プリンタが実行している印刷ジョブの一覧を表示することができます。また、必要であれば、特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。

	番号	時刻	タイプ	状態
<input checked="" type="checkbox"/>	01	2016/5/13 21:22	PCプリント	印刷中

ジョブキャンセル 更新 選択したジョブをキャンセルする場合には「ジョブキャンセル」を押下してください。最新の情報に更新する場合には「更新」を押下してください。

8 「リンク」カテゴリの詳細

「リンク」カテゴリでは、サポート情報などのページへのリンクを表示、設定できます。



1 リンク

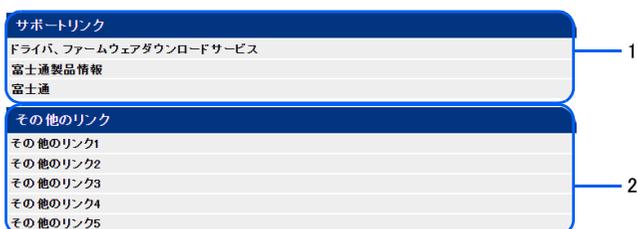
サポート情報や、その他の情報へのリンクが表示されます。
詳しくは、「リンク」(→P.187)をご覧ください。

2 リンク編集メニュー（管理者モードのみ）

「リンク」画面に表示されるリンク先を設定できます。
詳しくは、「リンク編集メニュー（管理者モードのみ）」(→P.188)をご覧ください。

リンク

「リンク」画面では、サポート情報やその他の情報へのリンクが表示されます。



1 サポートリンク

プリンタのサポート情報などへのリンクが表示されます。クリックすると、設定されているリンク先のページが表示されます。
表示されるリンク先は、「リンク編集メニュー」の「サポートリンク」(→P.188)で設定できます。

2 その他のリンク

管理者が設定したリンク先が表示されます。クリックすると、設定されているリンク先のページが表示されます。
表示されるリンク先は、「リンク編集メニュー」の「その他のリンク」(→P.188)で設定できます。

リンク編集メニュー（管理者モードのみ）

「リンク編集メニュー」画面では、「リンク」画面に表示されるリンク先を設定できます。

リンク編集メニュー

※リンク編集メニューは、以下の項目に対して、任意のURLをリンク先に設定することができます。
URL記入例: <http://www.abc.co.com/>

サポートリンク	
	URL(最大255半角英数字)
ドライバ、ファームウェアダウンロードサービス	<input type="text" value="https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_"/>
富士通製品情報	<input type="text" value="https://jp.fujitsu.com/platform/pc/prod/"/>
富士通	<input type="text" value="https://global.fujitsu/ja-jp"/>

その他のリンク

	タイトル(最大40半角英数字)	URL(最大255半角英数字)
その他のリンク1	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その他のリンク2	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その他のリンク3	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その他のリンク4	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その他のリンク5	<input type="text"/>	<input type="text"/>

1 サポートリンク

「リンク」画面の「サポートリンク」（→ P.187）に表示されるリンク先の URL を、半角英数字 255 文字以内で設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

2 その他のリンク

「リンク」画面の「その他のリンク」（→ P.187）に表示されるリンク先のタイトルと URL を設定できます。設定を変更後、「送信」をクリックすると反映されます。

項目	説明
タイトル	リンク先のタイトルを、半角英数字 1 ～ 40 文字で設定します。
URL	リンク先の URL を、半角英数字 255 文字以内で設定します。

8

第 8 章

こんなときには

この章では、プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項について説明します。

- 1 ソフトウェアに関するトラブルシューティング 190
- 2 ソフトウェアに関する留意事項 217
- 3 Citrix 製品および Windows ターミナルサービス環境での利用について 218

1 ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて現象と対処方法を説明します。

ハードウェアに関する、次のような問題についての対処方法は『ハードウェアガイド』の「こんなときには」をご覧ください。

- ・紙詰まり
- ・オペレータパネルからの印刷設定ができない
- ・印刷結果が汚い
- ・異常音、起動しないなどの故障

セットアップ時のトラブルシューティング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

プリンタドライバのインストール中に警告ウィンドウが表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告ウィンドウが表示されることがあります。ここでは、注意が必要な次の現象（メッセージ）について説明します。

■「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

対処：

製造元とモデルの選択ウィンドウで、「ディスク使用」をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとする则表示されるメッセージです。

インストールをキャンセルして、プリンタ添付の CD-ROM からプリンタドライバをインストールし直すことをお勧めします。

「ネットワークを利用しないプリンタの接続」(→ P.45)

「ネットワークを利用したプリンタの接続」(→ P.15)

■「バージョンの競合」または「ファイルの上書き確認」や、「このコンピュータには、より新しいバージョンのドライバが既にインストールされています。」というメッセージが表示された。

対処：

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。「はい」をクリックして、現在のファイルをそのまま使ってください。

■「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

対処：

クライアント OS (Windows) 用のプリンタドライバが、プリントサーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。

いったんインストールを中断し、サーバに追加（または代替）ドライバをインストールしてからクライアントでネットワークインストールを行うか、クライアント側で◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」からプリンタドライバをインストールしてください。

サーバ側に追加（または代替）ドライバをインストールする方法、およびクライアント側でのプリンタドライバのインストール方法については、「プリンタ共有の設定」（→ P.51）をご覧ください。

■「Norton Internet Security」で「低危険度」の警告メッセージが表示された。

対処：

ウィンドウを閉じてインストールを継続してください。プリンタドライバのインストールに問題はありません。

■「Windows ファイアウォールがインストールされています。」というウィンドウが表示された。

対処：

「はい」をクリックして、インストールを継続してください。

USB インターフェースのときにプリンタが検出されない

■最初にプリンタとパソコンを USB インターフェースで接続したところ、「デバイスドライバは正しくインストールされませんでした」と表示された

プリンタドライバをインストールする前にプリンタとパソコンを接続していると「デバイスドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした」というメッセージが表示されます。その場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールし直してください。

1 管理者権限をもったユーザーでログオンします。

2 ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

・「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

・自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「XLSTART.EXE の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「USB でプリンタを使用する」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

- 4 「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示された場合には、「このドライバー ソフトウェアをインストールします」をクリックします。
- 5 インストール処理が完了するまで（コマンドプロンプトの画面が閉じるまで）待ちます。
- 6 プラグアンドプレイの準備が完了したことを示すメッセージが表示されます。
- 7 「デバイスマネージャー」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  を右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

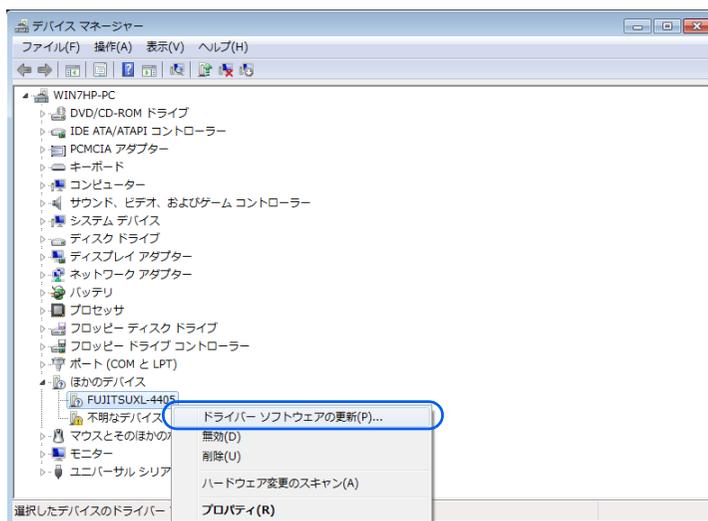
■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/
Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
4. 「デバイスとプリンター」フォルダーの何も無いところを右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

- 8 「ほかのデバイス」の下にある「FUJITSU XL-4405」を選び、右クリックでメニューを表示して、「ドライバー ソフトウェアの更新」をクリックします。

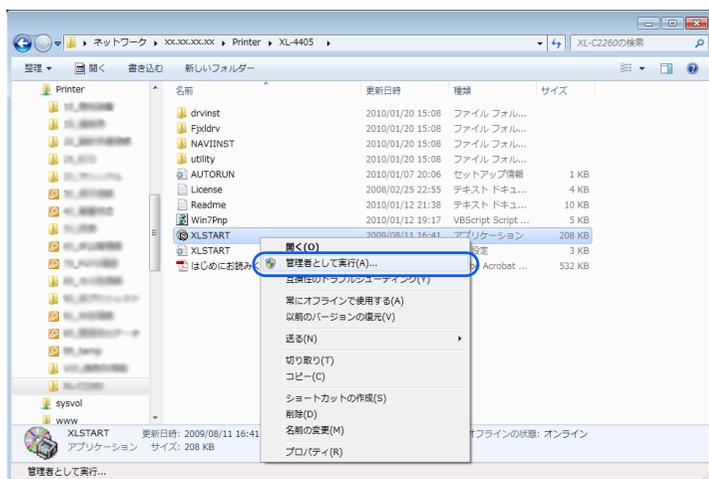


- 9 「ドライバー ソフトウェアの更新」ウィンドウで、「ドライバー ソフトウェアの最新版を自動検索します」をクリックします。
- 10 プリンタドライバのインストールが完了したら、「閉じる」をクリックします。
- 11 「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンタアイコンが追加されていれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

- ネットワークの共有サーバ上に置いてあるプリンタドライバから直接セットアップを起動した場合に、セットアップメニューから [USB でプリンタを使用する] をクリックすると、「スクリプトの読み込みに失敗しました(ログオン失敗)」というエラーが出る場合がある。

サーバ上のファイルへのアクセス権限が不足している場合などに、セットアップの起動に失敗することがあります。この場合には、次のいずれかの方法で再度セットアップを起動してください。

- ・ 一度ローカルのパソコン上にプリンタドライバをコピーしてから、セットアップを起動する。
- ・ セットアップを起動するときに、アイコンを右クリックしてメニューを表示し、「管理者として実行」を選択してセットアップを起動する。



- USB インターフェイスでプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない。

対処 1:

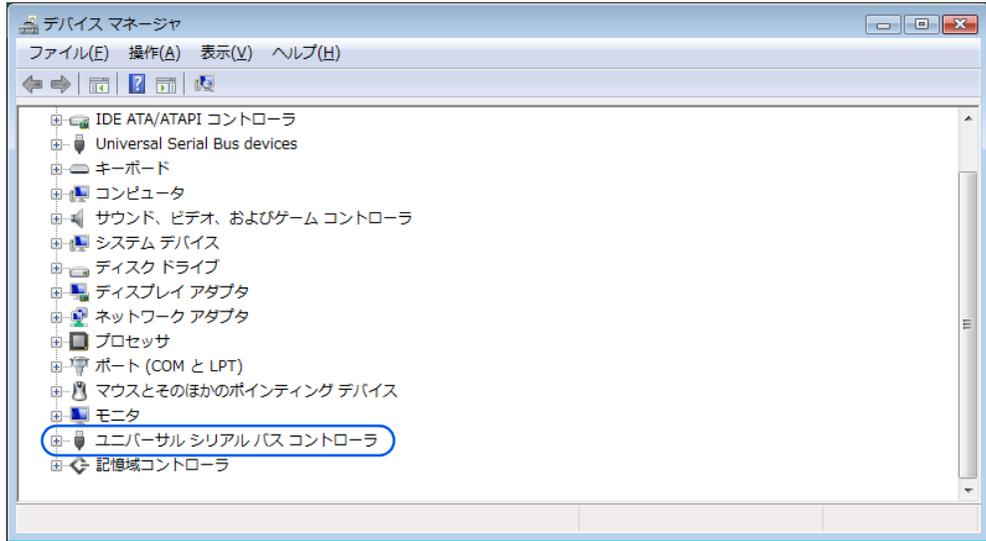
次の点を確認してください。

- ・ プリンタの電源は入っていますか
プリンタの電源が入っていない場合は、『ハードウェアガイド』をご覧になり、プリンタの電源を入れてください。
- ・ プリンタ USB ケーブルの規格は合っていますか
USB 1.1 または 2.0 に準拠したケーブルを使用してください。プリンタ USB ケーブルの規格については、『ハードウェアガイド』の「付録」をご覧ください。
- ・ プリンタ USB ケーブルは正しく接続されていますか
プリンタ USB ケーブルが正しく接続されているか、確認してください。プリンタ USB ケーブルの接続方法については、『ハードウェアガイド』の「プリンタを設置・接続する」をご覧ください。

- ・ パソコンは USB に対応していますか

デバイスマネージャーで USB コントローラーが表示されるか確認してください。

お使いのパソコンが USB に対応している場合は、「デバイスマネージャー」ウィンドウに USB のホストコントローラーと「USB ルートハブ」が表示されます。



1. 「デバイスマネージャー」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  を右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
 2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
 3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
 4. 「デバイスとプリンター」フォルダーの何も無いところを右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。
2. 「デバイスマネージャー」ウィンドウで、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の下を確認します。

対処 2 :

パソコン上のポート (USB など) を無効に設定するアプリケーション (「Portshutter」など) を使用して、印刷するポートを無効にする (遮断する) 設定にしていますか。印刷するポートが無効 (遮断) 設定の場合は印刷ができませんので、設定を解除してください。

ケーブルを接続してもプリンタが作成されない

対処 1：

■「USB インターフェースで接続する」(→ P.47) をご覧になり、「ケーブルの接続」ウィンドウが表示され USB ケーブルを接続したら、次の手順を行ってください。

1 「デバイスマネージャー」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  を右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/
Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

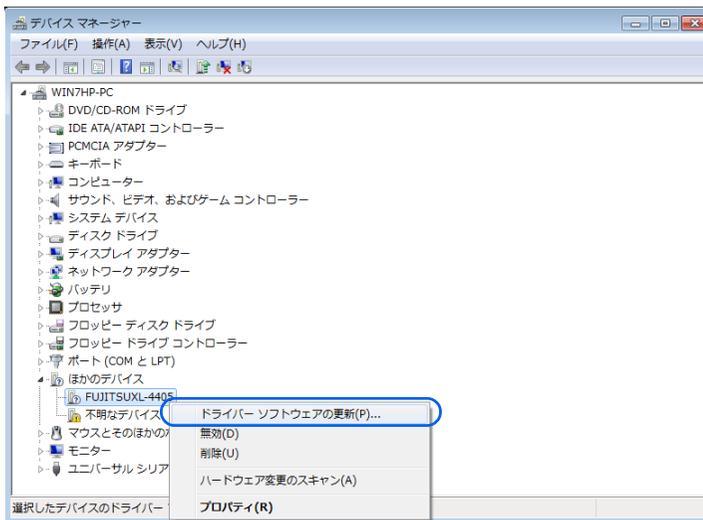
1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。

2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。

3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

4. 「デバイスとプリンター」フォルダーの何も無いところを右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

2 「ほかのデバイス」の下にある「FUJITSU XL-4405」を選び、右クリックでメニューを表示して、「ドライバー ソフトウェアの更新」をクリックします。



3 「ドライバー ソフトウェアの更新」ウィンドウで、「ドライバー ソフトウェアの最新版を自動検索します」をクリックします。

4 プリンタドライバのインストールが完了したら、「閉じる」をクリックします。

5 「インストール完了」ウィンドウが表示されたら、「完了」をクリックします。

対処 2 :

■ 次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

1 次の手順で「プリンターの追加」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

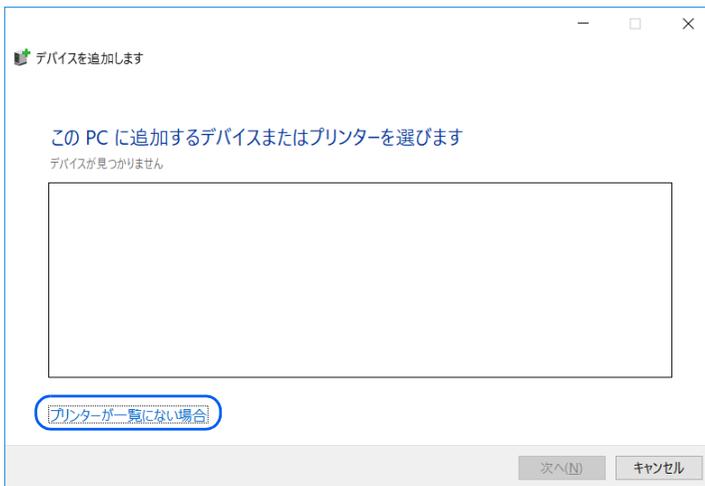
■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
3. 「プリンターの追加」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
4. 「プリンターの追加」をクリックします。

2 「プリンターが一覧にない場合」または「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。



- 3 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択し、「次へ」をクリックします。

← プリンターの追加

その他のオプションでプリンターを検索

少し古いプリンターを検索する(B)

共有プリンターを名前を選択する(S)

参照(B)...

例: \\<コンピュータ名>\<プリンター名> または
http://<コンピュータ名>/printers/<プリンター名>/printer

TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンターを追加する(I)

Bluetooth、ワイヤレス、またはネットワーク検出可能プリンターを追加する(L)

ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する(O)

次へ(N) キャンセル

- 4 「既存のポートを使用」をクリックし、新しく作成された USB ポートを選択して、「次へ」をクリックします。

← プリンターの追加

プリンター ポートの選択

プリンター ポートによってコンピュータがプリンターと情報を交換できるようになります。

既存のポートを使用(L): USB001 (USB の仮想プリンター ポート)

新しいポートの作成(O):

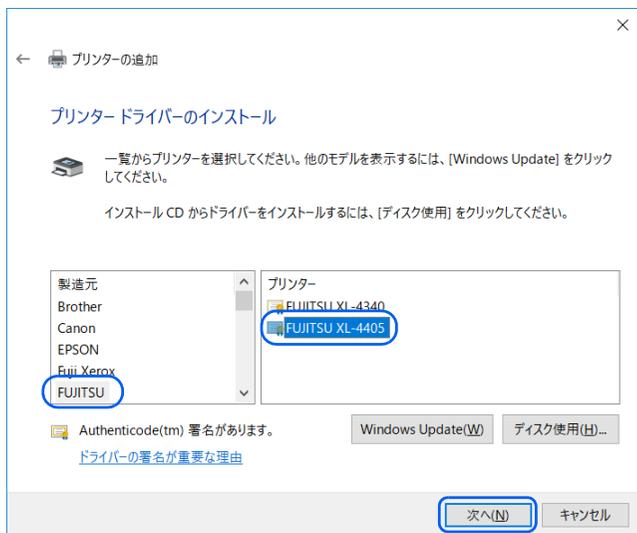
ポートの種類: Local Port

次へ(N) キャンセル

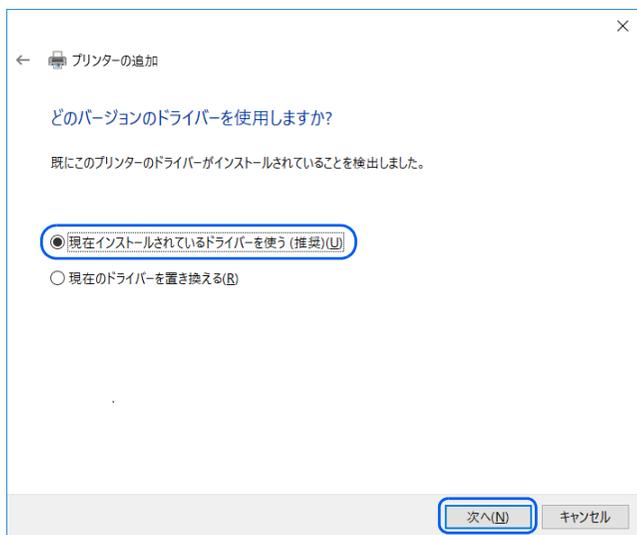
POINT

- ・ USB ポートは「USB + ポート番号（数字 3 桁）」で表されます。
通常、新しく作成される USB ポートは、最も大きいポート番号となります。

5 一覧から「FUJITSU XL-4405」を選択して、「次へ」をクリックします。



6 「現在インストールされているドライバーを使う」を選択して、「次へ」をクリックします。



7 プリンター名を入力し、「次へ」をクリックします。

← プリンターの追加

プリンター名を入力してください

プリンター名(P):

このプリンターは、FUJITSU XL-4405 のドライバーを使ってインストールされます。

次へ(N) キャンセル

POINT

- ・ 入力したプリンター名は、作成されるプリンタアイコン名として表示されます。
プリンター名は、プリンターのプロパティから編集可能です。

8 (1) 共有する場合は、「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」をクリックし、(2) 「共有名」、「場所」、「コメント」を入力し、(3) 「次へ」をクリックします。

← プリンターの追加

プリンター共有

このプリンターを共有するには、共有名を作成する必要があります。推奨されている名前を使用するか、または新しく名前を入力してください。共有名はほかのネットワークユーザーによって参照されます。

このプリンターを共有しない(O)

このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする(S)

共有名(H):

場所(L):

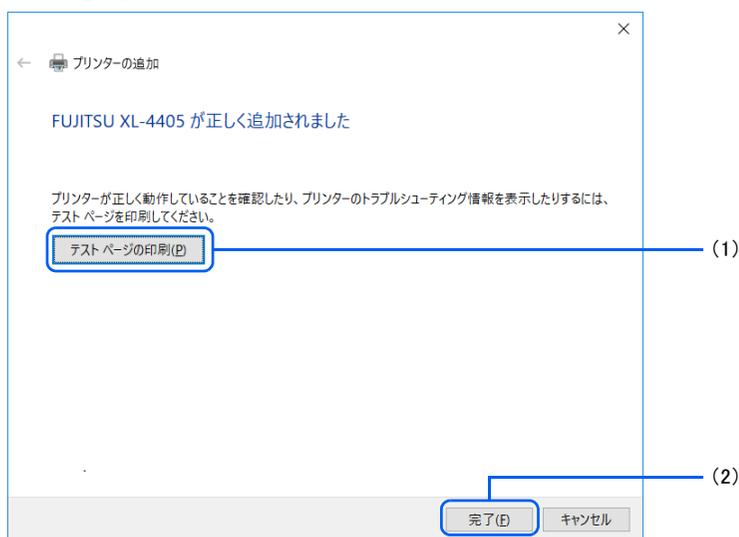
コメント(C):

次へ(N) キャンセル

POINT

- ・ 「場所」、「コメント」は空白でも問題ありません。
「共有名」、「場所」、「コメント」は、プリンターのプロパティから編集可能です。

- 9 (1) テストページを印刷する場合は、「テストページの印刷」をクリックし、(2) 「完了」をクリックします。



以上で、プリンタードライバのインストールは完了です。

プリンタドライバを更新した後、プリンタの「印刷設定」が保存できなくなった

- すでにインストール済みのプリンタドライバを新しいバージョンのプリンタドライバに更新すると、それ以降プリンタの「印刷設定」を変更しても、変更内容が保存されずに、初期値に戻ってしまう。

この現象は、プリンタドライバの更新を次の方法で行った場合に発生することがあります。

- ・プリンタドライバの「詳細設定」ウィンドウの「ドライバ」を別のドライバに変更した。
- ・プリンタドライバの「詳細設定」ウィンドウの「新しいドライバ」でドライバの更新を行った。

対処：

「印刷設定」が保存されなくなったプリンタのプリンタドライバを更新し直してください。更新方法については、「更新する場合」(→P.91)をご覧ください。

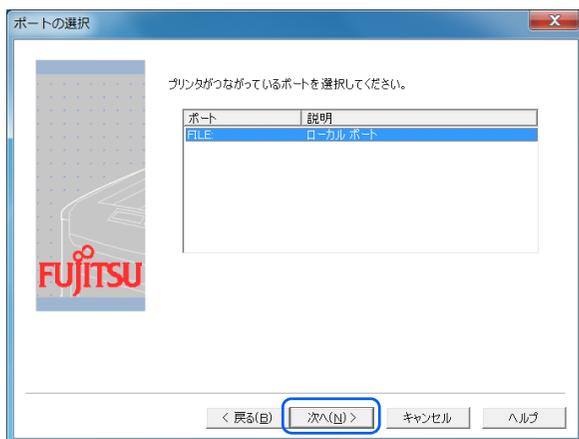
「ポートの選択」ウィンドウで「USB: UniversalSerialBus」が存在しない

- プリンタドライバのインストール時、「ポートの選択」ウィンドウで「USB: UniversalSerialBus」が存在しない。

対処：

次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

- 1 「FILE」を選択し、「次へ」をクリックします。



- 2 「プリンタ名の入力」ウィンドウが表示されたら、プリンタ名の入力を行い、「次へ」をクリックします。



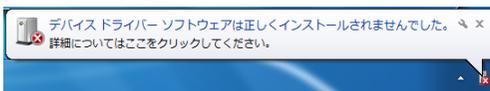
ファイルのコピーが行われます。

- 3 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認して、「完了」をクリックします。



- 4 プリンタとパソコンを、プリンタ USB ケーブルで接続してからプリンタの電源を入れます。

USBインターフェースで接続した場合に、「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」というメッセージが表示された場合は、「USBDevice のデバイスドライバーソフトウェアが見つからなかった」(→ P.203)をご覧ください。



「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンタアイコンが2つ作成されます。

- 5 プリンタアイコンを右クリックし、「プリンタのプロパティ」から「ポート」タブを開き、プリンタポートが「FILE」に設定されている方のプリンタアイコンを削除します。

「デバイスとプリンター」フォルダーのプリンタアイコンに ⚠ が付いている場合は、「USBDevice のデバイスドライバーソフトウェアが見つからなかった」(→ P.203)をご覧ください。



以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。

USBDevice のデバイスドライバーソフトウェアが見つからなかった

- プリンタとパソコンを接続したときに「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」というメッセージが表示される。



対処：

次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

- 1 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- 2 ◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。
「FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。
- 3 メニューから「終了」をクリックします。
- 4 「デバイスマネージャー」ウィンドウを表示します。

■ Windows 11 の場合

1.  を右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

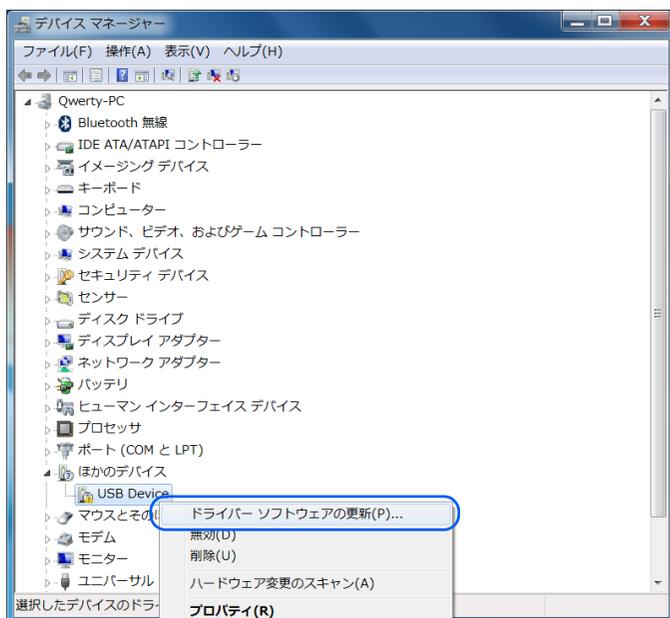
■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/ Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

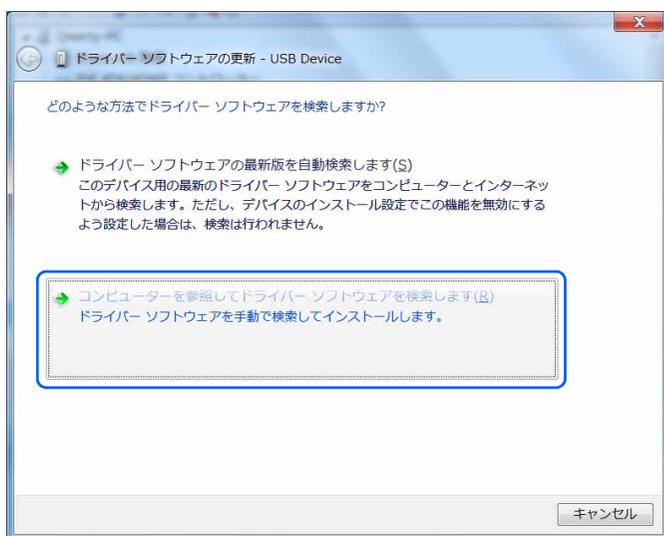
■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。
4. 「デバイスとプリンター」フォルダーの何も無いところを右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックします。

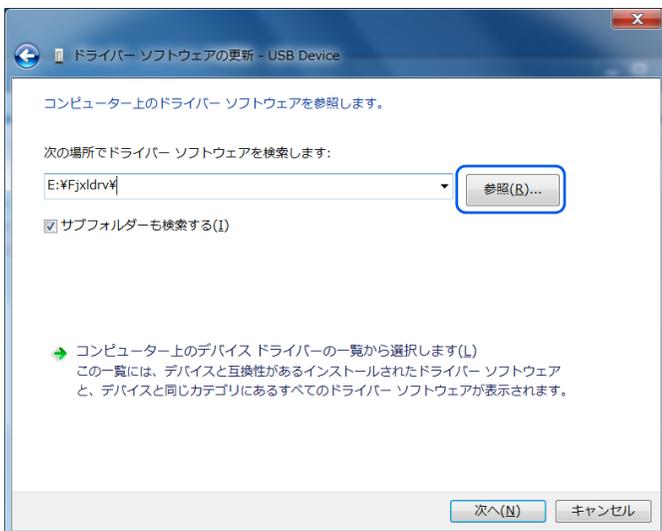
- 5 「ほかのデバイス」の下にある「USB Device」を選び、右クリックし表示されるメニューから「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックします。



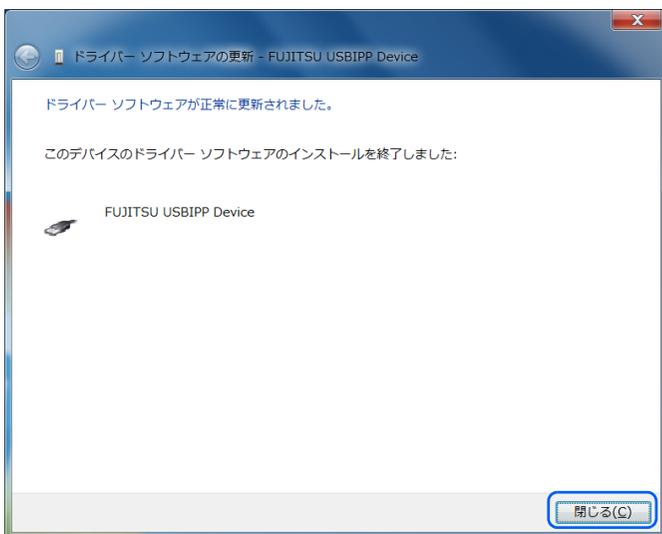
- 6 「ドライバーソフトウェアの更新」ウィンドウで、「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックします。



7 「参照」をクリックします。



- 8 プリンタドライバが格納されているフォルダー「E:¥Fjxldr¥」（CD-ROM ドライブが E: の場合）を選択し、「OK」をクリックします。
- 9 「次の場所でドライバーソフトウェアを検索します」に選択したフォルダーが入力されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 10 「閉じる」をクリックします。



「デバイスとプリンター」フォルダーのプリンタアイコンに  がなくなれば、プリンタドライバのインストールは完了です。

11 Windows を再起動します。

以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。

運用時のトラブルシューティング

プリンタの運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

ネットワーク上のプリンタが検出されないまたは印刷できない

■ ネットワークに接続できない。

対処 1：

LAN ケーブルやネットワークの状態を確認してください。

- ・ LAN ケーブルが抜けているまたは抜けかかっていますか。
プリンタの電源を切り、LAN ケーブルを差し込み直してください。
- ・ LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
プリンタの電源を入れてから LAN ケーブルを接続すると、ネットワークで確認できないことがあります。
プリンタの電源を切り、LAN ケーブルを接続してから電源を入れ直してください。
- ・ LAN ケーブルの種類は正しいですか。
ツイストペアケーブルを使用してください。
100Mbps で使用する場合は、カテゴリ 5 またはエンハンストカテゴリ 5 のツイストペアケーブルを使用してください。
- ・ 他のネットワーク機器が同じ IP アドレスになっていませんか。
プリンタが IP アドレスを自動取得していても、同一ネットワーク内の他のネットワーク機器が同じ IP アドレスを手動設定していると、正しくネットワークに接続できません。設定内容の一覧や他のネットワーク機器を確認し、IP アドレスを正しく設定してください。
設定内容の一覧印刷、IP アドレスの変更方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」をご覧ください。

対処 2：

プリンタの設定を確認してください。

- ・ IP アドレスなどのネットワーク環境の設定は正しいですか。
IP アドレスなどが変更されている可能性もあります。オペレータパネルを操作し、「インフォメーションメニュー」→「セッテイ ノ イチランインサツ」で、設定内容の一覧を印刷し、次の項目を確認してください。
「IPv4 アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」は正しく設定されていますか。
また、ネットワーク環境を移動した場合、ネットワーク機能の初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。設定が異なっている場合は、正しく設定してください。
設定内容の一覧印刷、IP アドレスの変更方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」をご覧ください。
- ・ プリンタの Ethernet タイプは正しいですか。
 1. オペレータパネルの「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「Ethernet タイプ」を「ジドウ」にして LAN ケーブルとハブユニットを接続します。
 2. オペレータパネルを操作し、「インフォメーション メニュー」→「ネットワーク」でネットワーク情報を印刷します。
 3. Network Information の「General Information」→「Hub Link Status」が「OK(***)」になっていることを確認します。
「LINK FAIL」の場合は、手順 4 に進んでください。
 4. オペレータパネルの管理者用メニューの「ネットワークメニュー」→「Ethernet タイプ」をハブユニットの Ethernet タイプに合わせて設定し直します。
 5. 手順 2～3 を行い、プリンタの Ethernet タイプを正しく設定します。

- ・ IP フィルタリングによる印刷制限の設定は正しいですか。
「FUJITSU Printer Internet Service」の「管理者設定」カテゴリ→「ネットワークメニュー」→「セキュリティ」→「IP フィルタリング」で設定を確認してください。
IP フィルタリングの設定については、「IP フィルタリング」(→P.174)をご覧ください。

■ネットワーク障害が発生しネットワークに接続できない。

対処：

プリンタの Ethernet タイプが正しいか確認してください。

プリンタの Ethernet タイプの設定がハブユニットの規格と一致しない場合、ネットワーク障害の原因となります。ハブユニットの規格を調べたうえで、次のように対処してください。

- 1 LAN ケーブルを抜きます。
- 2 オペレータパネルの「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「Ethernet タイプ」をハブユニットの Ethernet タイプに合わせて設定し直します。
- 3 プリンタの電源を切ります。
- 4 LAN ケーブルを接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

■IP アドレスが電源を入れるたびに変わってしまう。

対処：

プリンタの IP アドレスを DHCP サーバから自動取得するように設定されていませんか。プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、プリンタの IP アドレスがいつも同じとは限りません。

- ・ プリンタに、固定の IP アドレスを手動で設定する場合は、オペレータパネルの「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「DHCP ジドウシユトク」を「シユドウ」に設定してから、「IP アドレス」で IP アドレスを入力してください。
IP アドレスの設定方法は、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」→「代表的な設定項目とその操作方法」をご覧ください。
- ・ 「FUJITSU LPR ユーティリティ」の「自動的に IP アドレスを再設定する」の設定を にしてください。
「自動的に IP アドレスを再設定する」については、「IP アドレスの自動再設定」(→P.116)をご覧ください。

印刷できない

■テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷ができない。

対処 1：

プリンタの状態およびケーブル接続を確認してください。

- ・ プリンタの電源が入っていますか。
- ・ ケーブル類が正しく接続されていますか。
- ・ プリンタがエラー状態になっていませんか。
プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、印刷可能状態に戻してください。
- ・ プリンタ切替器を使用していませんか。
プリンタとの通信が異常となったり、プリンタの故障の原因となったりするおそれがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

対処 2 :

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

1 次の手順で「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダーを開きます。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」 の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」 をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」 の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」 をクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」 をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」 をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」 をクリックします。
2. 「Windows システムツール」 の「コントロールパネル」 をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」 をクリックします。

2 フォルダー内の、該当するプリンタをダブルクリックします。

3 表示されるウィンドウのタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか、確認します。

停止状態のときは、「プリンタ」メニュー、および「ドキュメント」メニューの「一時停止」を解除します。

■ RAW 印刷ができない。

対処 :

オペレータパネルを操作し、「カンリシャヨウ メニュー」 → 「ネットワーク メニュー」 → 「SNMP」が「ユウコウ」になっているか確認してください。「ムコウ」の場合は「ユウコウ」に変更してください。

設定方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」をご覧ください。

■ IPP 印刷ができない、あるいはアクセス拒否になる。

対処：

「FUJITSU Printer Internet Service」の設定を確認してください。

- ・「管理者設定」カテゴリ→「ネットワークメニュー」→「セキュリティ」→「プロトコル ON/OFF」→「サービス」の「IPP」が「有効」になっているか確認してください。「無効」の場合は「有効」に変更してください。

設定方法については、「プロトコル ON/OFF」(→ P.173) をご覧ください。

- ・「管理者設定」カテゴリ→「ネットワークメニュー」→「IPP」→「設定」→「IPP 設定」の「IPP」が「有効」になっているか確認してください。

設定方法については、「設定」(→ P.170) をご覧ください。

- ・「管理者設定」カテゴリ→「ネットワークメニュー」→「IPP」→「認証」は正しく設定されていますか。設定内容を確認し、正しく設定してください。

設定方法については、「認証」(→ P.171) をご覧ください。

IPP 印刷のための設定方法については、「OS 標準のインストーラでインストールする (IPP 印刷)」(→ P.36) をご覧ください。

印刷が開始されるまでに時間がかかる

■最初の 1 ページ目が印刷されるまでに数 10 秒以上かかる。

対処：

プリンタが節電状態になっていた場合は、定着器の温度が上がるまで準備中となります。節電状態に入るまでの時間を必要に応じて変更してください。

印刷結果がプリンタドライバの設定と異なる

■アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と異なっている。

対処：

アプリケーションによっては、データ保存時に印刷に関する設定 (プリンタドライバの設定を含む) を保存します。

このため、アプリケーション側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。このような場合は、「印刷設定」で設定を変更しても反映されません。

印刷する文書を表示したアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを表示して、設定を変更してください。

なお、プリンタドライバの設定内容については、「プリンタドライバで設定できる内容」(→ P.66) をご覧ください。

プリンタの設定情報を取得できない

■プリンタドライバの「デバイスオプション」タブ画面の「プリンタの情報を取得する」をクリックしても、プリンタの設定情報が取得できない。または、「プリンタの情報を取得する」が選択できない。

対処：

- ・オペレータパネルを操作し、「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「SNMP」が「ユウコウ」になっているか確認してください。「ムコウ」の場合は「ユウコウ」に変更してください。
設定方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」をご覧ください。
- ・「Network Extension」がインストールされているか確認してください。
「Network Extension」がインストールされていないと「プリンタの情報を取得する」は選択できません。
「Network Extension」のインストール方法については、「プリンタ情報の管理（Network Extension）」（→P.118）をご覧ください。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」使用時のトラブルシューティング

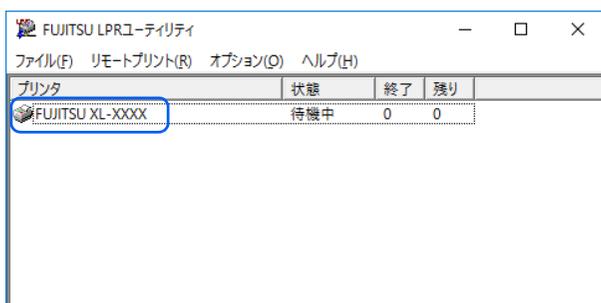
「FUJITSU LPR ユーティリティ」使用時のトラブル

■「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメインウィンドウの「状態」欄が「未接続」になり印刷ができない。

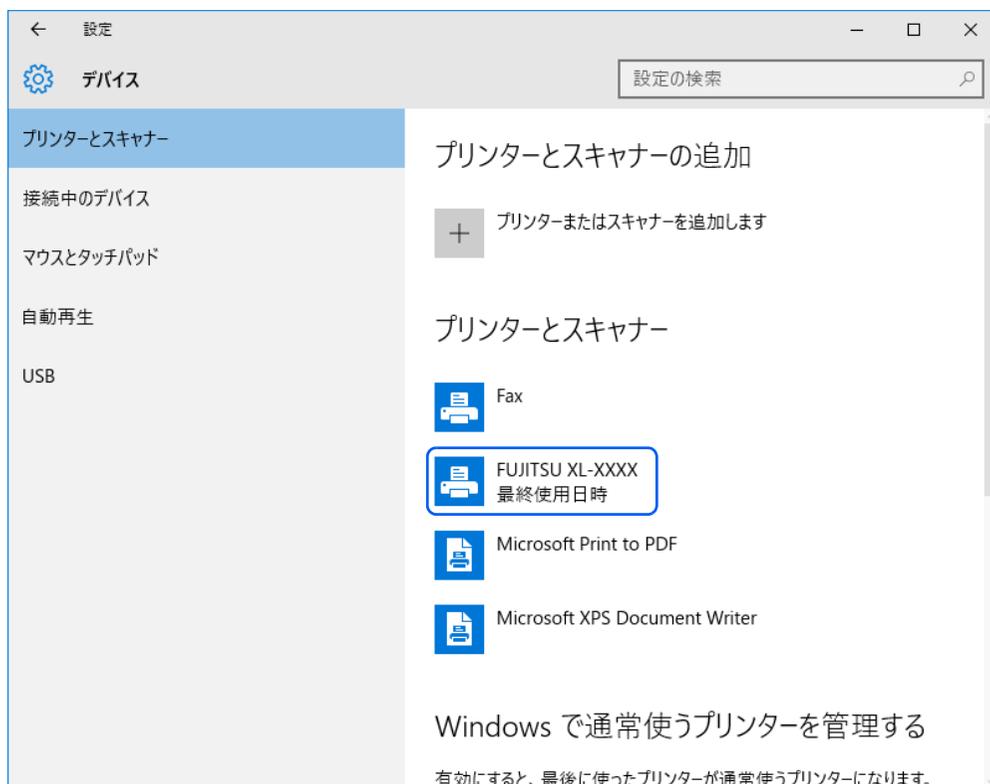
対処：

次の点を確認してください。

- ・登録プリンタのIPアドレスは正しく設定されていますか。
メインウィンドウで、使用しているプリンタを選択してから「リモートプリントメニュー」→「プリンタの再設定」の順に選択し、「IPアドレス」が正しく設定されているか確認してください。
- ・メインウィンドウの「プリンタ」欄の名称と、→（設定）→「デバイス」のプリンタの名称が一致していますか。
メインウィンドウの「プリンタ」欄の名称



「デバイス」 ウィンドウのプリンターの名称



メインウィンドウの「プリンタ」欄の名称と「デバイス」ウィンドウのプリンターの名称が一致していない場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」で登録プリンタを削除（→ P.111）し、再度プリンタの登録（→ P.105）を行ってください。

- ・ → (設定) → 「デバイス」ウィンドウからプリンタが削除されていませんか。プリンタが削除されている場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」のプリンタも削除し、設定し直してください。

プリンタの設定方法については、「プリンタの登録」（→ P.105）をご覧ください。

「FUJITSU LPR ユーティリティ」については、「FUJITSU LPR ユーティリティ」の機能」（→ P.107）をご覧ください。

■ IP アドレスの検索／設定ができない。

ジョブの自動転送ができない。

プリンタのステータスが表示できない。

対処：

オペレータパネルを操作し、「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「SNMP」が「ユウコウ」になっているか確認してください。「ムコウ」の場合は「ユウコウ」に変更してください。

設定方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」をご覧ください。

「FUJITSU Printer Internet Service」 使用時のトラブルシューティング

「FUJITSU Printer Internet Service」 使用時のトラブル

■「FUJITSU Printer Internet Service」に接続できない。

対処：

次の点を確認してください。

- ・プリンタに電源が入っていますか。
- ・LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
- ・Web ブラウザに入力した URL は正しいですか。

「FUJITSU Printer Internet Service」を表示するときの URL は「http://」 + 「プリンタの IP アドレス」または「http://」 + 「ホスト名 + ドメイン名」を指定します。

プリンタの URL に指定した IPP プリンタ名（「/」以降）は指定しないでください。

また、設定の一覧を印刷し、次の点も確認してください。

- ・プリンタに IP アドレスが正しく設定されていますか。
URL に「ホスト名 + ドメイン名」を指定した場合は、DNS サーバの設定も正しいか確認してください。
- ・TCP/IP 設定は「ユウコウ」になっていますか。
「ムコウ」の場合は、プリンタのオペレータパネルを操作し、「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「TCP/IP」を「ユウコウ」に変更してください。
- ・Web 設定は有効になっていますか。
オペレータパネルを操作し、「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「Web」が「ユウコウ」になっているか確認してください。「ムコウ」の場合は「ユウコウ」に変更してください。

設定方法については、『ハードウェアガイド』の「オペレータパネルの操作」をご覧ください。

■「ステータス更新」が機能しない。

各カテゴリでメニューの項目を選択しても、情報の画面が更新されない。

対処：

- ・Web ブラウザで、表示を更新してください。
また、使用しているパソコンの OS や Web ブラウザが適切かどうかを確認してください。
- ・Web ブラウザが JavaScript の使用を禁止する設定になっていないか確認してください。
- ・設定の変更後、「送信」をクリックする前に他のカテゴリやメニューをクリックしていませんか。
設定を変更した場合は、その画面で「送信」をクリックしてください。また、設定中に他のカテゴリやメニューに切り替えると切り替え前の設定値は反映されませんのでご注意ください。設定の変更については、「設定の変更（管理者モードのみ）」（→ P.129）をご覧ください。

■パスワードを忘れて、設定を変更できない。

対処：

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、オペレータパネルで「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「ネットワーク ショキカ」を実行し、初期化を行ってください。

ただし、この場合「ネットワーク メニュー」がご購入時の状態に初期化されます。「ネットワーク ショキカ」を実行する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

メールに関するトラブル

■メールがエラーとなり送信できない。

対処：

次の点を確認してください。

- ・ SMTP サーバが正常に作動していますか。
ネットワーク管理者に確認してください。
- ・ SMTP サーバの IP アドレスが正しく入力されていますか。
「FUJITSU Printer Internet Service」で正しい IP アドレスを入力してください。
- ・ 送信する通知項目が正しく設定されていますか。
「FUJITSU Printer Internet Service」で、メールで通知したい項目をチェックしてください。
- ・ 送信先メールアドレスが正しく入力されていますか。
「FUJITSU Printer Internet Service」で、正しい送信先を指定してください。

「FUJITSU Printer Internet Service」のメールに関する設定については、「Email」（→ P.157）をご覧ください。

エラー情報

「FUJITSU Printer Internet Service」利用時に表示されるメッセージについて説明します。トップページにおけるエラー情報、およびステータスウィンドウにおける表示メッセージは、エラーと警告に分けられます（本情報は、E-Mail サービスで通知されるステータス情報と同一です）。

トップページのエラー情報

- ・ エラー発生時：赤色のメッセージを表示
- ・ 警告発生時：黄色のメッセージを表示

ステータスウィンドウの表示メッセージ（管理者モード）

ステータスウィンドウでは下記のとおりエラーランプが点滅します。点滅しているランプをクリックするとメッセージが表示されます。

- ・ エラー発生時：エラーランプが点灯
- ・ 警告発生時：エラーランプが点滅

これらのメッセージは英語で表示されますが、内容は次の表のとおりです。また、メッセージは優先度の高いものから表示されますので、優先度の低いメッセージは、優先度の高いメッセージの発生要因が解除されるまで表示されないことがあります。

優先度は次の表の順に従います。

対処方法については、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

種別	表示メッセージ	メッセージの意味と対処
エラー	Service Call Required	プリンタに異常が発生しています。プリンタの電源を切り、入れ直してください。それでも復旧しない場合は、富士通ハードウェア修理相談センターへご連絡ください。
エラー	Cover Open for Upper Cover	プリンタのトップカバーが開いています。印刷するときは、トップカバーを閉じてください。
エラー	Cover Open for Rear Cover	プリンタのリアカバーが開いています。印刷するときは、リアカバーを閉じてください。
エラー	Drum Missing	ドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。ドラムカートリッジを取り付け直してください。
エラー	Improper Toner Lock Lever Position	トナーカートリッジのロックレバーの位置が正しくありません。トナーカートリッジを取り付け直してください。
エラー	Paper Jam for Duplex Unit	転写ユニット付近での紙詰まりです。トップカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。
エラー	Faceup Stacker Error	印刷中に、フェイスアップスタッカが操作されたため印刷を停止しました。フェイスアップスタッカを閉じて、トップカバーを開閉してください。
エラー	Paper Feed Jam	用紙排出部、定着器付近での紙詰まりです。トップカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。
エラー	Paper Input Jam for MP Tray	給紙トレイの用紙給紙口付近での紙詰まりです。トップカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。
エラー	Paper Size Error for MP Tray Paper Size Error for Cassette1 Paper Size Error for Cassette2	給紙トレイ、給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）にセットされている用紙のサイズが、プリンタドライバ側の設定値と異なっています。 用紙の排出途中で本メッセージが表示され、プリンタ内に用紙が残っている場合は、用紙を取り除いてから「sss」に表示されているサイズの用紙をセットしてください。 用紙が排出された場合は、「sss」に表示されているサイズの用紙をセットし、トップカバーを開閉してください。
エラー	Toner Sensor Error	トップカバーを開閉してみて、メッセージが消える場合は問題ありません。メッセージが消えない場合は、トナーセンサーに異常が発生しています。ドラムカートリッジが正しく取り付けられているか、確認してください。
エラー	Toner Not Installed	トナーカートリッジが取り付けられていないまたはトナーカートリッジが不良です。 トナーカートリッジを取り付け、それでもエラーとなる場合は、サプライ品のトナーカートリッジに交換してください。
エラー	Incompatible Toner	使用できないトナーカートリッジが取り付けられています。弊社が推奨するトナーカートリッジに交換してください。

種別	表示メッセージ	メッセージの意味と対処
エラー	Toner Out	トナーカートリッジの交換時期です。新しいトナーカートリッジと交換してください。 トップカバーを開閉してメッセージが消える場合は、そのまま使用してください。
エラー	Memory Over Flow	メモリ不足です。オンラインスイッチを押してエラーを解除し、解像度を下げしてから印刷してください。
エラー	Paper Cassette Open for Cassette1	カセット 1 (標準の給紙カセット) が正しく取り付けられていません。カセット 1 を取り付けてください。
エラー	Receiving Data Timeout	印刷データの受信タイムアウトが発生しました。
エラー	Paper Out for MP Tray	給紙トレイの用紙がありません。給紙トレイに用紙をセットしてください。
エラー	Paper Out for Cassette1	カセット 1 (標準の給紙カセット) の用紙がありません。カセット 1 に用紙をセットしてください。
エラー	Paper Out for Cassette2	カセット 2 (オプションの拡張給紙ユニット) の用紙がありません。カセット 2 に用紙をセットしてください。
エラー	Faceup Stacker Open	フェイスアップスタッカが開いています。フェイスアップスタッカを閉じてください。両面印刷時に発生します。フェイスアップスタッカを閉じてください。
エラー	Size or Media Mismatch for Cassette1	カセット 1 (標準の給紙カセット) の用紙サイズおよび用紙種類の設定値が、プリンタドライバ側とオペレータパネル側で一致していません。リセットスイッチを押してジョブをキャンセルするか、プリンタドライバで指定した用紙をセットしてオンラインスイッチを押してください。エラーの解除後、プリンタドライバ側とオペレータパネル側の用紙サイズの設定値を見直してください。
エラー	Size or Media Mismatch for Cassette2	カセット 2 (オプションの拡張給紙ユニット) の用紙サイズおよび用紙種類の設定値が、プリンタドライバ側とオペレータパネル側で一致していません。リセットスイッチを押してジョブをキャンセルするか、プリンタドライバで指定した用紙をセットしてオンラインスイッチを押してください。エラーの解除後、プリンタドライバ側とオペレータパネル側の用紙サイズの設定値を見直してください。
エラー	Paper Request for MP Tray	給紙トレイに用紙をセットしてください。
ワーニング	Invalid Data	無効なデータを受信しました。
ワーニング	Storage Error	フラッシュメモリアクセスエラーが発生しています。
ワーニング	Collate Fail:Too Many Pages	部単位印刷でメモリがいっぱいになりました。
ワーニング	Drum Life Error	ドラムカートリッジの交換時期です。新しいドラムカートリッジと交換してください。 トップカバーを開閉してメッセージが消える場合は、そのまま使用してください。
ワーニング	Toner Not Installed Warning	トナーカートリッジが装着されていません。トナーカートリッジを取り付けてください。

種別	表示メッセージ	メッセージの意味と対処
ワーニング	Toner Out	トナーカートリッジの交換時期です。新しいトナーカートリッジと交換してください。 トップカバーを開閉してメッセージが消える場合は、そのまま使用してください。
ワーニング	Toner Sensor Warning	トナーセンサーに異常が発生しています。ドラムカートリッジを取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、プリンタの電源を切り、入れ直してください。
ワーニング	Drum Life Warning	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを準備してください。
ワーニング	Toner Low	トナーが残り少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。
ワーニング	Printer Life Error	本製品が寿命に達しました。
ワーニング	200K KIT LIFE	200K 交換キットの交換時期です。

2 ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本製品添付のソフトウェアをご使用になる場合の留意事項について説明します。

Windows をアップグレードする場合

Windows をアップグレードする場合、XLプリンタドライバおよびXLプリンタ関連ソフトウェアをあらかじめ削除（アンインストール）してください。そしてアップグレード完了後、各ソフトウェアを再インストールしてください。

削除（アンインストール）を行わずに Windows をアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処方法は、次のとおりです。

■ プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、Windows 添付のドライバに置き換わる、およびアップグレード前のドライバが登録されたままになることがあります。

この状態では、XL-4405 プリンタドライバが提供している機能が使用できないまたは正しく印刷が行えないなどの現象が発生する場合があります。

プリンタドライバを削除し、インストールし直してください。

プリンタドライバの削除については、「削除する場合」（→ P.91）をご覧ください。

プリンタドライバのインストール方法については、次の項目をご覧ください。

- ・「ネットワークを利用したプリンタの接続」（→ P.15）
- ・「ネットワークを利用しないプリンタの接続」（→ P.45）

その他の留意事項

インストール、アンインストール時の注意事項

◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」に格納されている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログオンしてください。

一般ユーザーでログオンした場合は、正しくインストールまたはアンインストールできないことがあります。

一般ユーザーでインストールまたはアンインストールして正常に動作しなくなった場合は、管理者権限でログオンし、同一フォルダーに上書きインストール後、再度操作してください。

クラスタ環境について

クラスタ環境での動作は保証していません。

3 Citrix 製品および Windows ターミナルサービス環境での利用について

XL-4405 プリンタドライバは、「Citrix XenDesktop」「Citrix Presentation Server」(MetaFrame)、および Windows ターミナルサービス環境下で使用できます。

動作確認環境などは随時更新されます。最新の情報については、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) をご覧ください。
なお、上記 URL は、このマニュアル発行時点のものであります。

プリンタ接続形態

プリンタマッピングにより自動作成されるプリンタへ印刷を行う環境での利用が可能です。この場合、あらかじめクライアント環境の端末にプリンタケーブルや、ネットワークで直接接続されたプリンタを定義しておく必要があります。

その他の留意事項

マッピングプリンタへの印刷中止操作は、ターミナルウィンドウではなくクライアント端末にインストールしているプリンタの印刷キューから行ってください。

9

第9章 用語解説

この章では、用語の解説をします。

1 用語解説	220
--------------	-----

1 用語解説

本製品に関連する用語またはこのマニュアル内に登場する用語の意味について説明します。

■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後はサーバにIPアドレスを戻します。

■ DNS (Domain Name System)

ホスト名からIPアドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

■ EMF (Enhanced Meta File)

プリンタに依存しない中間データ形式です。この形式は印刷データよりサイズが小さいため、印刷を実行してから処理がアプリケーションに戻るまでの時間を短縮できます。

■ HTTP (HyperText Transfer Protocol)

インターネット上のWWWサーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。

HTML (HyperText Markup Language) 文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。IETF (Internet Engineering Task Force) によってRFCとして規格化されています。XLシリーズのIPP対応機種では、HTTP/1.1をサポートしています。

■ IPP (Internet Printing Protocol)

RFCとして規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコルHTTP (HyperText Transfer Protocol) を使用しており、LANを超えた環境でもアクセスできることが特長です。

■ LPR (Line Printer Remote)

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windowsでは、UNIX用印刷サービスまたはTCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。

■ MIB (Management Information Base)

SNMPでは、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視、管理するための動作状況に関するデータをMIB (Management Information Base : 管理情報ベース) といいます。

本製品はMIB-IIおよびPrinterMIBをサポートしています。◎「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」にはPrinterMIBに対応したASN.1形式の「XLprtmb.my」が「MIB」ディレクトリに格納されています。これをSNMP管理ソフトにインストールして使用してください。

■ RAW 印刷

Windowsに実装されている標準TCP/IPポートモニターにおけるRAWプロトコル印刷をサポートします。

■ RFC (Request For Comments)

インターネットの研究開発機関 IETF (Internet Engineering Task Force) がとりまとめている文書群を指します。一般的には TCP/IP の規格書として知られています。

■ SNMP (Simple Network Management Protocol)

SNMP とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。

ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理ソフトから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB (Management Information Base : 管理情報ベース) を読み込んだり、逆にそれを設定したりすることで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・ SNMP メッセージ

SNMP によるエージェントの管理は次の 5 種類のメッセージを使って行われます。

なお、本製品では SetRequest はサポートしていません。

メッセージ種別	説明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ→エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント→マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント→マネージャ

■ プロキシサーバ (Proxy Server)

インターネットとの接続時にセキュリティを確保するために設置されるサーバで、ネットワーク内のコンピューターを代理して外部へのアクセスを行う機能を持ちます。

ファイアウォールによって外部から守られたネットワーク環境においては、ネットワーク内部から外部へのアクセスを行えないという問題があります。この問題を解決するために、プロキシサーバは、外部へのアクセス要求を受け付け、その作業を代理で行います。この処理によって、内部から外部へのアクセスが行えるようになると共に、ネットワーク内部のセキュリティを確保することが可能となっています。

また、セキュリティ機能以外にもプロキシサーバの中には、WWW アクセス時の HTML データをキャッシュする機能をサポートするものもあり、同じ WWW サーバへアクセスがあった場合はキャッシュしているデータを返すことで、WWW アクセスを高速に行うことができます。

ページプリンタ XL-4405
ソフトウェアガイド

B5WY-1771-03 Z0-00

発行日 2025年4月
発行責任 富士通株式会社

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。